

名取市
地域福祉に関するアンケート調査
報告書

平成 31 年 1 月

名取市 健康福祉部 社会福祉課

目 次

第1章 調査の概要	1
1. 調査目的	1
2. 調査設計	1
3. 回収結果	1
4. 報告書の見方	1
第2章 調査結果の分析（市民）	2
1. 回答者の属性	2
(1) 居住地区	2
(2) 性別	3
(3) 年齢	4
(4) 世帯構成	5
(5) 住居の種類	7
(6) 職業	9
(7) 名取市での居住年数	11
(8) 同居家族の中にいる人	13
(9) 世帯全体の年収（給与や事業の売上、年金や各種給付金、手当、仕送り等含む）	15
(10) 経済状況	17
2. ご近所とのつきあいや地域活動などについて	20
(1) 住民が助け合いの活動を行う「地域」の範囲	20
(2) 近所づきあいの程度	22
(3) 近所づきあいの考え方	24
(4) 居住地域での満足度	26
(5) 居住地域での重要度	27
(6) 町内会や自治会への加入状況	28
(7) 町内会行事などの地域活動への参加	30
(8) 地域の役割や人が協力して取り組むにあたって必要なこと	32
(9) 地域の役割や人が協力して取り組むことで、自分ができると思うこと	34
(10) 活動に参加するうえで、支障になること	36
(11) 名取市への定住意向	38
3. 地域福祉の考え方について	40
(1) 地域福祉の考え方への共感度	40
(2) 「地域共生社会の実現」という考えへの共感度	41
4. 福祉への関心について	43
(1) 「福祉」への関心度	43
(2) 関心がある福祉の分野	45
(3) 心がけていること	47
5. ボランティア活動について	49
(1) ボランティアや助け合い活動の参加状況	49

(2) 現在取り組んでいる、または取り組んだことがあるボランティア活動や助け合い活動 ..	51
(3) ボランティア活動の今後の参加意向	53
(4) 取り組んでみたいボランティア活動や助け合い活動	55
(5) ボランティア活動が行いやすくなると思う支援	57
6. 社会福祉協議会について	59
(1) 名取市社会福祉協議会の認知度	59
(2) 社会福祉協議会に期待する役割	61
7. 民生委員・児童委員や各種制度について	63
(1) 民生委員・児童委員の存在や活動内容の認知度	63
(2) 地域の民生委員・児童委員の個人認知度	65
(3) 日常生活自立支援事業の認知度	67
(4) 成年後見制度の認知度	69
(5) 生活困窮者自立支援法の認知度	71
8. 生活上の悩みや手助け等について	73
(1) 日々の生活での悩みや不安	73
(2) 生活上の問題について相談や手助けを頼みたい意向	75
(3) 福祉サービスに関する情報の入手先	77
9. 今後の福祉行政のあり方について	79
(1) 行政が行っている福祉サービスの水準	79
(2) 充実していないと考える福祉サービス	81
(3) 助け合えるまちとしての理想像	83
(4) 住民と行政とのあるべき関係	85
10. 自由意見	87
第3章 調査結果の分析（団体）	88
1. 回答者の属性	88
(1) 団体の種別	88
(2) 会員数	88
(3) 活動年数	89
(4) 活動エリア	89
2. 団体の活動について	90
(1) 対象者	90
(2) 活動頻度	91
(3) 活動内容	92
(4) 活動に必要な情報の入手先	93
(5) 情報や活動内容の発信の仕方	94
(6) 活動している中で困っていること	95
3. 地域福祉について	96
(1) 地域福祉の観点での課題	96
(2) 地域福祉の観点での課題の解決に向けての取り組み	97
(3) 活性化するため協力できること	98
(4) 地域の役割や人が協力して取り組むにあたって必要なこと	99

(5) ボランティア活動の輪を広げるために重要なこと	100
4. 他の関係機関等との連携について	101
(1) 連携している地域の他の団体・機関	101
(2) コミュニティソーシャルワーカーの認知度	102
(3) コミュニティソーシャルワーカーとの関わりの必要性	103
(4) コミュニティソーシャルワーカーに希望する連携の仕方	104
5. 今後の福祉行政のあり方について	105
(1) 行政が行っている福祉サービスの水準	105
(2) 充実していないと考える福祉サービス	106
(3) 助け合えるまちとしての理想像	107
(4) 住民と行政とのあるべき関係	108
(5) 住民の活動を推進するうえで、行政に期待すること	109
6. 自由意見	110
第4章 市民と団体の違いについて	111
1. 地域福祉のために必要なこと・できることについて	111
2. ボランティア活動の参加意向と団体が困っていることについて	112
3. 取り組んでみたいボランティア活動や助け合い活動と参加に必要な支援について	112
4. 社会福祉協議会や行政に期待する役割について	113
5. 必要な情報の入手先について	114
6. 行政が行っている福祉サービス水準の評価について	114
7. 助け合えるまちとしての理想像について	115
8. 住民と行政とのあるべき関係について	116
9. 共通の課題について	116
資料	117
市民調査票	117
団体調査票	133

第1章 調査の概要

1. 調査目的

本調査は、市民及び市内で活動している団体の現状や考え、意見などをお聞きし、「名取市地域福祉計画」及び「地域福祉活動計画」の計画策定のための基礎資料とすることを目的として実施した。

2. 調査設計

調査対象	① 市民調査：名取市内に居住する18歳以上の男女2,000人 ② 団体調査：名取市において福祉活動に従事する団体・事業者54団体
抽出方法	① 市民調査：無作為抽出 ② 団体調査：民生委員児童委員協議会（2団体）、地区福祉委員会（8団体）・障がい者関係団体（2団体）・子ども関係団体（5団体）・行政区長会（11団体）・地域おこし団体（3団体）・高齢者団体（2団体）・ボランティア団体（14団体）・その他（7団体）
調査方法	郵送配付－郵送回収
調査期間	平成30年10月12日～平成29年10月31日 （平成30年11月9日までの回収票を有効とした）
企画実施	名取市 健康福祉部 社会福祉課
集計・分析	株式会社サーベイリサーチセンター東北事務所

3. 回収結果

	配布数	有効回収数	回収率
① 市民調査	2,000人	769人	38.5%
② 団体調査	54団体	45団体	83.3%

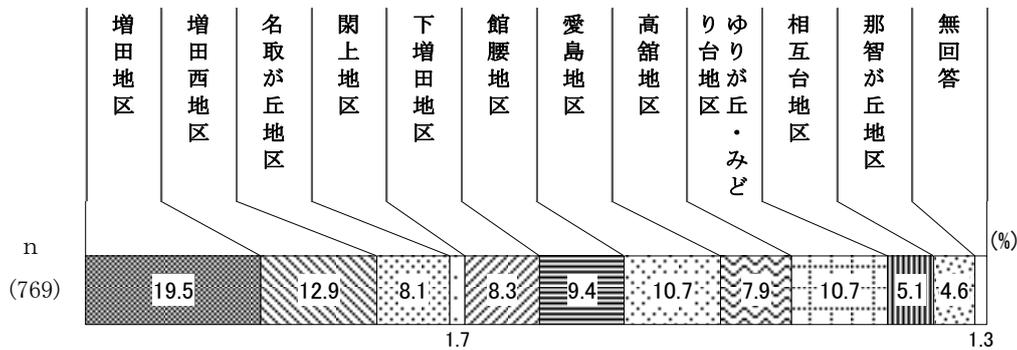
4. 報告書の見方

- ◆ 調査数（n=Number of cases）とは、回答者総数あるいは分類別の回答者数のことである。
- ◆ 回答の構成比は百分率であらわし、小数点第2位を四捨五入して算出している。
- ◆ 回答者が2つ以上の回答をすることができる多肢選択式の質問においては、すべての選択肢の比率を合計すると100%を超える。
- ◆ 調査票における設問及び選択肢の語句等を一部簡略化している場合がある。

第2章 調査結果の分析（市民）

1. 回答者の属性

（1）居住地区

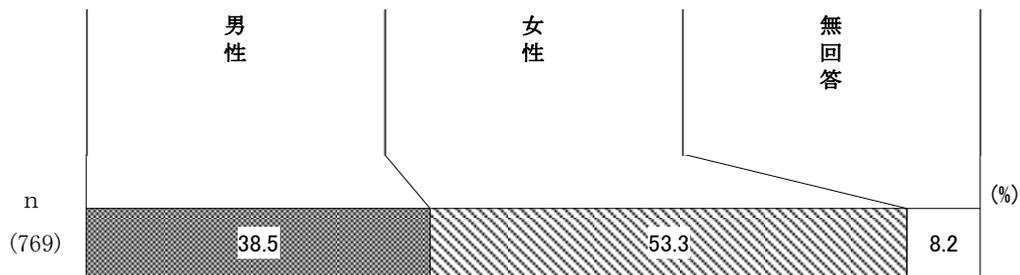


居住地区については、「増田地区」19.5%が最も多く、以下「増田西地区」12.9%、「愛島地区」「ゆりが丘・みどり台地区」ともに10.7%、「館腰地区」9.4%となっている。

【性・年齢（6区分）・世帯構成別】

	調査数	増田地区	増田西地区	名取が丘地区	閑上地区	下増田地区	館腰地区	愛島地区	高館地区	ゆりが丘・みどり台地区	相互台地区	那智が丘地区	無回答
全体	769	150	99	62	13	64	72	82	61	82	39	35	10
	100.0	19.5	12.9	8.1	1.7	8.3	9.4	10.7	7.9	10.7	5.1	4.6	1.3
性別													
男性	296	51	39	28	5	27	26	28	28	35	18	10	1
	100.0	17.2	13.2	9.5	1.7	9.1	8.8	9.5	9.5	11.8	6.1	3.4	0.3
女性	410	89	55	28	7	29	42	46	28	42	19	23	2
	100.0	21.7	13.4	6.8	1.7	7.1	10.2	11.2	6.8	10.2	4.6	5.6	0.5
年齢（6区分）													
10～20代	68	11	6	10	1	7	5	7	8	7	5	1	-
	100.0	16.2	8.8	14.7	1.5	10.3	7.4	10.3	11.8	10.3	7.4	1.5	-
30代	115	22	15	6	-	8	17	11	9	11	7	9	-
	100.0	19.1	13.0	5.2	-	7.0	14.8	9.6	7.8	9.6	6.1	7.8	-
40代	141	33	20	9	2	14	14	13	11	16	5	4	-
	100.0	23.4	14.2	6.4	1.4	9.9	9.9	9.2	7.8	11.3	3.5	2.8	-
50代	132	26	17	8	4	7	14	13	9	15	9	9	1
	100.0	19.7	12.9	6.1	3.0	5.3	10.6	9.8	6.8	11.4	6.8	6.8	0.8
60代	169	33	23	14	4	12	8	22	14	21	9	8	1
	100.0	19.5	13.6	8.3	2.4	7.1	4.7	13.0	8.3	12.4	5.3	4.7	0.6
70代以上	134	24	18	14	2	16	13	16	9	12	4	4	2
	100.0	17.9	13.4	10.4	1.5	11.9	9.7	11.9	6.7	9.0	3.0	3.0	1.5
世帯構成													
単身世帯	35	6	6	3	2	-	6	3	3	2	1	-	3
	100.0	17.1	17.1	8.6	5.7	-	17.1	8.6	8.6	5.7	2.9	-	8.6
夫婦のみ（一世代世帯）	194	39	32	19	3	12	17	22	6	24	10	10	-
	100.0	20.1	16.5	9.8	1.5	6.2	8.8	11.3	3.1	12.4	5.2	5.2	-
親と子（二世帯世帯）	413	74	49	36	6	38	39	44	33	51	21	21	1
	100.0	17.9	11.9	8.7	1.5	9.2	9.4	10.7	8.0	12.3	5.1	5.1	0.2
親と子と孫（三世帯世帯）	103	26	9	3	-	12	9	12	17	5	6	4	-
	100.0	25.2	8.7	2.9	-	11.7	8.7	11.7	16.5	4.9	5.8	3.9	-
その他	13	3	2	1	2	1	1	1	2	-	-	-	-
	100.0	23.1	15.4	7.7	15.4	7.7	7.7	7.7	15.4	-	-	-	-

(2) 性別

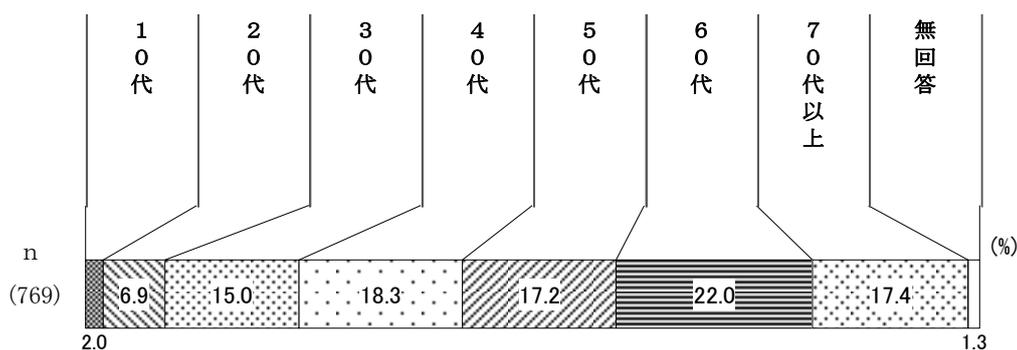


性別については、「女性」53.3%が「男性」38.5%を上回っている。

【年齢（6区分）・世帯構成・居住地区別】

	調査数	男性	女性	無回答
上段：件数 下段：%				
全 体	769 100.0	296 38.5	410 53.3	63 8.2
年齢（6区分）				
10～20代	68 100.0	25 36.8	38 55.9	5 7.4
30代	115 100.0	42 36.5	66 57.4	7 6.1
40代	141 100.0	51 36.2	84 59.6	6 4.3
50代	132 100.0	52 39.4	77 58.3	3 2.3
60代	169 100.0	72 42.6	79 46.7	18 10.7
70代以上	134 100.0	53 39.6	63 47.0	18 13.4
世帯構成				
単身世帯	35 100.0	12 34.3	18 51.4	5 14.3
夫婦のみ（一世帯世帯）	194 100.0	79 40.7	96 49.5	19 9.8
親と子（二世帯世帯）	413 100.0	168 40.7	221 53.5	24 5.8
親と子と孫（三世帯世帯）	103 100.0	34 33.0	62 60.2	7 6.8
その他	13 100.0	2 15.4	11 84.6	-
居住地区				
増田地区	150 100.0	51 34.0	89 59.3	10 6.7
増田西地区	99 100.0	39 39.4	55 55.6	5 5.1
名取が丘地区	62 100.0	28 45.2	28 45.2	6 9.7
閑上地区	13 100.0	5 38.5	7 53.8	1 7.7
下増田地区	64 100.0	27 42.2	29 45.3	8 12.5
館腰地区	72 100.0	26 36.1	42 58.3	4 5.6
愛島地区	82 100.0	28 34.1	46 56.1	8 9.8
高館地区	61 100.0	28 45.9	28 45.9	5 8.2
ゆりが丘・みどり台地区	82 100.0	35 42.7	42 51.2	5 6.1
相互台地区	39 100.0	18 46.2	19 48.7	2 5.1
那智が丘地区	35 100.0	10 28.6	23 65.7	2 5.7

（3）年齢



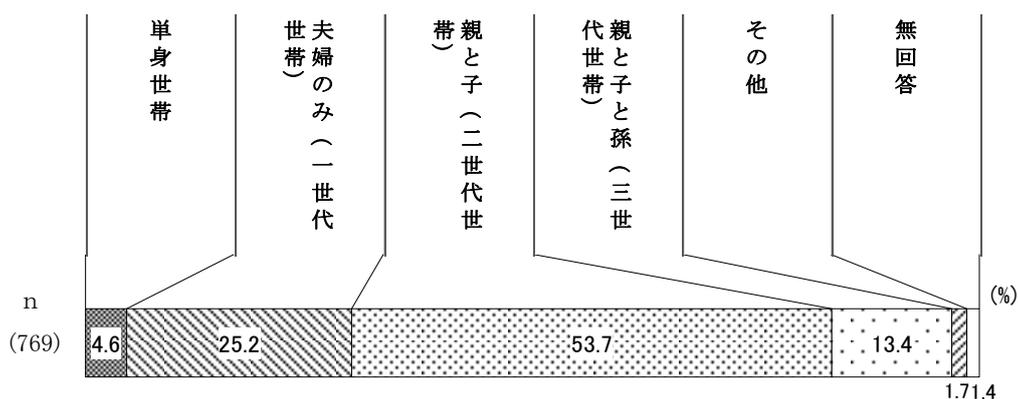
年齢については、「60代」22.0%が最も多く、以下「40代」18.3%、「70代以上」17.4%、「50代」17.2%、「30代」15.0%となっている。

- 世帯構成別にみると、夫婦のみ（一世帯世帯）では「60代」「70代以上」が61.3%を占めている。

【性・世帯構成・居住地区別】

	調査数	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	無回答
全体	769	15	53	115	141	132	169	134	10
	100.0	2.0	6.9	15.0	18.3	17.2	22.0	17.4	1.3
性別									
男性	296	7	18	42	51	52	72	53	1
	100.0	2.4	6.1	14.2	17.2	17.6	24.3	17.9	0.3
女性	410	7	31	66	84	77	79	63	3
	100.0	1.7	7.6	16.1	20.5	18.8	19.3	15.4	0.7
世帯構成									
単身世帯	35	-	3	2	5	10	5	10	-
	100.0	-	8.6	5.7	14.3	28.6	14.3	28.6	-
夫婦のみ（一世帯世帯）	194	1	7	18	20	28	67	52	1
	100.0	0.5	3.6	9.3	10.3	14.4	34.5	26.8	0.5
親と子（二世帯世帯）	413	10	31	78	104	73	73	42	2
	100.0	2.4	7.5	18.9	25.2	17.7	17.7	10.2	0.5
親と子と孫（三世帯世帯）	103	4	9	15	11	20	19	25	-
	100.0	3.9	8.7	14.6	10.7	19.4	18.4	24.3	-
その他	13	-	3	1	-	1	4	3	1
	100.0	-	23.1	7.7	-	7.7	30.8	23.1	7.7
居住地区									
増田地区	150	4	7	22	33	26	33	24	1
	100.0	2.7	4.7	14.7	22.0	17.3	22.0	16.0	0.7
増田西地区	99	-	6	15	20	17	23	18	-
	100.0	-	6.1	15.2	20.2	17.2	23.2	18.2	-
名取が丘地区	62	1	9	6	9	8	14	14	1
	100.0	1.6	14.5	9.7	14.5	12.9	22.6	22.6	1.6
閑上地区	13	-	1	-	2	4	4	2	-
	100.0	-	7.7	-	15.4	30.8	30.8	15.4	-
下増田地区	64	2	5	8	14	7	12	16	-
	100.0	3.1	7.8	12.5	21.9	10.9	18.8	25.0	-
館腰地区	72	-	5	17	14	14	8	13	1
	100.0	-	6.9	23.6	19.4	19.4	11.1	18.1	1.4
愛島地区	82	2	5	11	13	13	22	16	-
	100.0	2.4	6.1	13.4	15.9	15.9	26.8	19.5	-
高館地区	61	1	7	9	11	9	14	9	1
	100.0	1.6	11.5	14.8	18.0	14.8	23.0	14.8	1.6
ゆりが丘・みどり台地区	82	1	6	11	16	15	21	12	-
	100.0	1.2	7.3	13.4	19.5	18.3	25.6	14.6	-
相互台地区	39	3	2	7	5	9	9	4	-
	100.0	7.7	5.1	17.9	12.8	23.1	23.1	10.3	-
那智が丘地区	35	1	-	9	4	9	8	4	-
	100.0	2.9	-	25.7	11.4	25.7	22.9	11.4	-

(4) 世帯構成



世帯構成については、「親と子（二世代世帯）」が最も多く 53.7%を占めており、以下「夫婦のみ（一世代世帯）」25.2%、「親と子と孫（三世代世帯）」13.4%、「単身世帯」4.6%となっている。

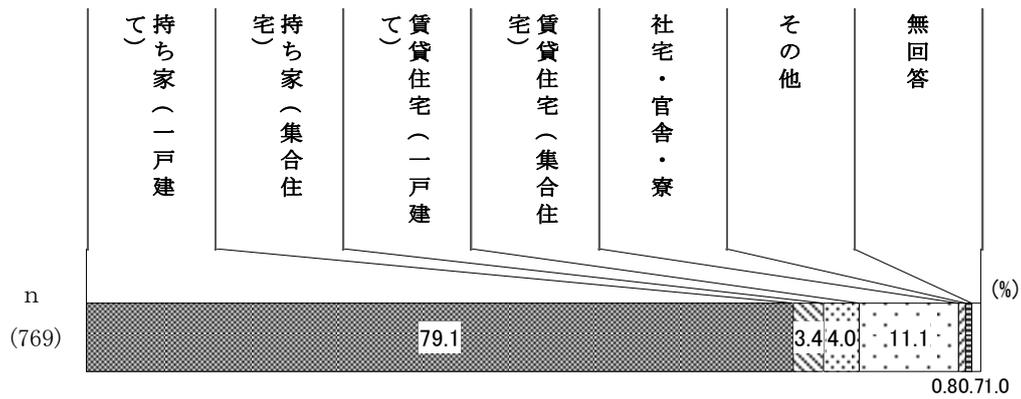
- 年齢（6区分）別にみると、おおむね年代が上がるほど「夫婦のみ（一世代世帯）」が多くなっている。

また、40代では「親と子（二世帯世帯）」がほかの年代に比べて多く 73.8%を占めている。

【性・年齢（6区分）・居住地区別】

	調査数	単身世帯	夫婦のみ（一世代世帯）	親と子（二世帯世帯）	親と子と孫（三世帯世帯）	その他	無回答
上段：件数 下段：%							
全体	769 100.0	35 4.6	194 25.2	413 53.7	103 13.4	13 1.7	11 1.4
性別							
男性	296 100.0	12 4.1	79 26.7	168 56.8	34 11.5	2 0.7	1 0.3
女性	410 100.0	18 4.4	96 23.4	221 53.9	62 15.1	11 2.7	2 0.5
年齢（6区分）							
10～20代	68 100.0	3 4.4	8 11.8	41 60.3	13 19.1	3 4.4	-
30代	115 100.0	2 1.7	18 15.7	78 67.8	15 13.0	1 0.9	1 0.9
40代	141 100.0	5 3.5	20 14.2	104 73.8	11 7.8	-	1 0.7
50代	132 100.0	10 7.6	28 21.2	73 55.3	20 15.2	1 0.8	-
60代	169 100.0	5 3.0	67 39.6	73 43.2	19 11.2	4 2.4	1 0.6
70代以上	134 100.0	10 7.5	52 38.8	42 31.3	25 18.7	3 2.2	2 1.5
居住地区							
増田地区	150 100.0	6 4.0	39 26.0	74 49.3	26 17.3	3 2.0	2 1.3
増田西地区	99 100.0	6 6.1	32 32.3	49 49.5	9 9.1	2 2.0	1 1.0
名取が丘地区	62 100.0	3 4.8	19 30.6	36 58.1	3 4.8	1 1.6	-
関上地区	13 100.0	2 15.4	3 23.1	6 46.2	-	2 15.4	-
下増田地区	64 100.0	-	12 18.8	38 59.4	12 18.8	1 1.6	1 1.6
館腰地区	72 100.0	6 8.3	17 23.6	39 54.2	9 12.5	1 1.4	-
愛島地区	82 100.0	3 3.7	22 26.8	44 53.7	12 14.6	1 1.2	-
高館地区	61 100.0	3 4.9	6 9.8	33 54.1	17 27.9	2 3.3	-
ゆりが丘・みどり台地区	82 100.0	2 2.4	24 29.3	51 62.2	5 6.1	-	-
相互台地区	39 100.0	1 2.6	10 25.6	21 53.8	6 15.4	-	1 2.6
那智が丘地区	35 100.0	-	10 28.6	21 60.0	4 11.4	-	-

(5) 住居の種類



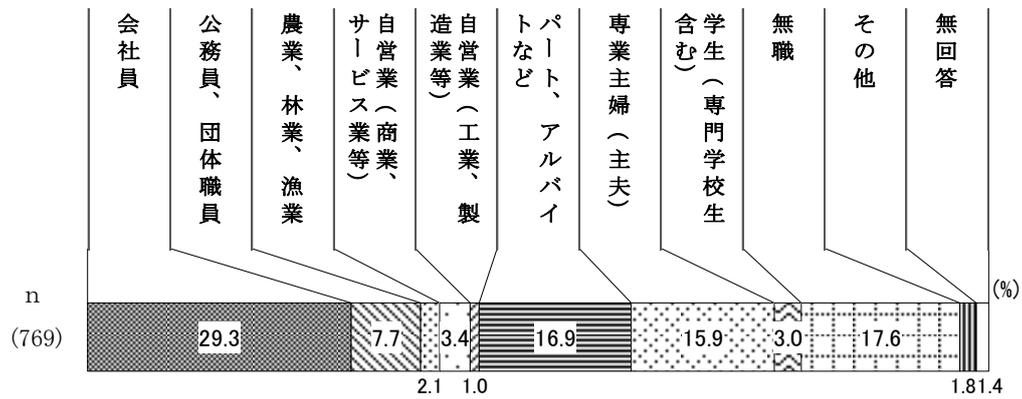
住居の種類については、「持ち家（一戸建て）」が最も多く 79.1%を占めており、以下「賃貸住宅（集合住宅）」11.1%、「賃貸住宅（一戸建て）」4.0%、「持ち家（集合住宅）」3.4%、「社宅・官舎・寮」0.8%となっている。

- 年齢（6区分）別にみると、いずれの年代も「持ち家（一戸建て）」が最も多いが、10～20代、30代、40代では「賃貸住宅（集合住宅）」がそれぞれ10～20%台とほかの年代に比べて多くなっている。
- 世帯構成別にみると、単身世帯では「賃貸住宅（集合住宅）」37.1%がほかの世帯構成に比べて多くなっている。

【性・年齢（6区分）・世帯構成・居住地区別】

	調査数	持ち家 （一戸建て）	持ち家 （集合住宅）	賃貸住宅 （一戸建て）	賃貸住宅 （集合住宅）	社 宅 ・ 官 舎 ・ 寮	そ の 他	無 回 答
	上段：件数 下段：%							
全 体	769 100.0	608 79.1	26 3.4	31 4.0	85 11.1	6 0.8	5 0.7	8 1.0
性別								
男性	296 100.0	249 84.1	8 2.7	5 1.7	30 10.1	3 1.0	1 0.3	-
女性	410 100.0	313 76.3	16 3.9	23 5.6	49 12.0	3 0.7	4 1.0	2 0.5
年齢（6区分）								
10～20代	68 100.0	51 75.0	2 2.9	2 2.9	10 14.7	1 1.5	2 2.9	-
30代	115 100.0	78 67.8	2 1.7	5 4.3	30 26.1	-	-	-
40代	141 100.0	98 69.5	8 5.7	8 5.7	24 17.0	3 2.1	-	-
50代	132 100.0	109 82.6	5 3.8	6 4.5	9 6.8	2 1.5	1 0.8	-
60代	169 100.0	151 89.3	4 2.4	6 3.6	7 4.1	-	1 0.6	-
70代以上	134 100.0	119 88.8	4 3.0	3 2.2	5 3.7	-	1 0.7	2 1.5
世帯構成								
単身世帯	35 100.0	18 51.4	1 2.9	3 8.6	13 37.1	-	-	-
夫婦のみ（一世帯世帯）	194 100.0	142 73.2	8 4.1	9 4.6	31 16.0	3 1.5	1 0.5	-
親と子（二世帯世帯）	413 100.0	335 81.1	15 3.6	17 4.1	39 9.4	3 0.7	3 0.7	1 0.2
親と子と孫（三世帯世帯）	103 100.0	98 95.1	2 1.9	2 1.9	-	-	-	1 1.0
その他	13 100.0	11 84.6	-	-	1 7.7	-	1 7.7	-
居住地区								
増田地区	150 100.0	104 69.3	10 6.7	7 4.7	25 16.7	2 1.3	2 1.3	-
増田西地区	99 100.0	60 60.6	10 10.1	4 4.0	22 22.2	2 2.0	-	1 1.0
名取が丘地区	62 100.0	43 69.4	-	8 12.9	9 14.5	-	2 3.2	-
関上地区	13 100.0	7 53.8	-	4 30.8	2 15.4	-	-	-
下増田地区	64 100.0	47 73.4	5 7.8	1 1.6	9 14.1	1 1.6	1 1.6	-
館腰地区	72 100.0	55 76.4	-	3 4.2	13 18.1	1 1.4	-	-
愛島地区	82 100.0	81 98.8	-	-	-	-	-	1 1.2
高館地区	61 100.0	56 91.8	1 1.6	1 1.6	3 4.9	-	-	-
ゆりが丘・みどり台地区	82 100.0	81 98.8	-	1 1.2	-	-	-	-
相互台地区	39 100.0	38 97.4	-	1 2.6	-	-	-	-
那智が丘地区	35 100.0	34 97.1	-	-	1 2.9	-	-	-

(6) 職業



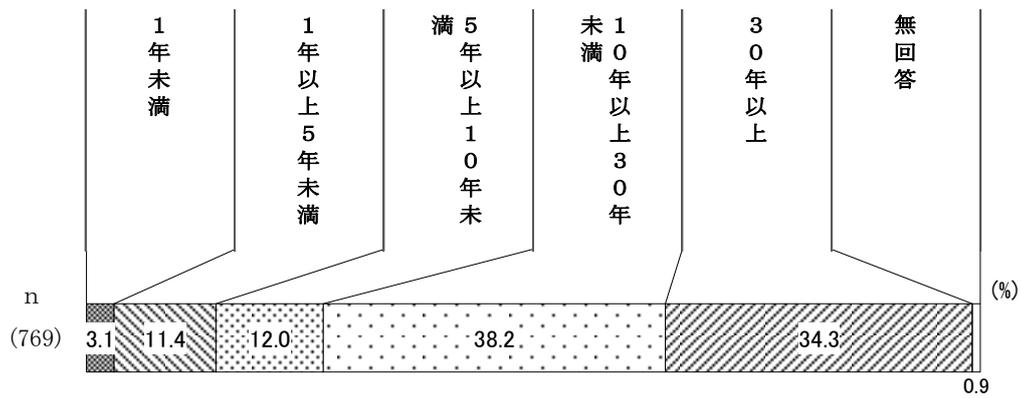
職業については、「会社員」29.3%が最も多く、以下「無職」17.6%、「パート、アルバイトなど」16.9%、「専業主婦（主夫）」15.9%、「公務員、団体職員」7.7%となっている。

- 性別にみると、男性では「会社員」47.3%が最も多く、女性を大きく上回っている。一方、女性では「専業主婦（主夫）」27.6%が最も多く、次いで「パート、アルバイトなど」24.1%、以下「会社員」17.3%となっている。
- 年齢（6区分）別にみると、10～20代、30代、40代、50代では「会社員」が30～40%台で最も多くなっているが、60代では「専業主婦（主夫）」26.6%、70代以上では「無職」61.9%が最も多くなっている。

【性・年齢（6区分）・世帯構成・居住地区別】

	調査数	会社員	公務員、 団体職員	農業、 林業、 漁業	自営業 (商業、 サービス業等)	自営業 (工業、 製造業等)	パート、 アルバイトなど	専業主婦 (主夫)	学生 (専門学校生含む)	無職	その他	無回答
全体	769 100.0	225 29.3	59 7.7	16 2.1	26 3.4	8 1.0	130 16.9	122 15.9	23 3.0	135 17.6	14 1.8	11 1.4
性別												
男性	296 100.0	140 47.3	33 11.1	7 2.4	13 4.4	4 1.4	19 6.4	-	9 3.0	65 22.0	5 1.7	1 0.3
女性	410 100.0	71 17.3	25 6.1	7 1.7	10 2.4	3 0.7	99 24.1	113 27.6	14 3.4	55 13.4	9 2.2	4 1.0
年齢（6区分）												
10～20代	68 100.0	22 32.4	4 5.9	-	-	-	6 8.8	3 4.4	23 33.8	9 13.2	1 1.5	-
30代	115 100.0	55 47.8	11 9.6	-	2 1.7	1 0.9	24 20.9	14 12.2	-	2 1.7	5 4.3	1 0.9
40代	141 100.0	67 47.5	15 10.6	1 0.7	3 2.1	-	33 23.4	17 12.1	-	5 3.5	-	-
50代	132 100.0	47 35.6	20 15.2	3 2.3	5 3.8	2 1.5	28 21.2	19 14.4	-	5 3.8	2 1.5	1 0.8
60代	169 100.0	30 17.8	9 5.3	3 1.8	14 8.3	3 1.8	30 17.8	45 26.6	-	31 18.3	4 2.4	-
70代以上	134 100.0	3 2.2	-	8 6.0	2 1.5	2 1.5	9 6.7	22 16.4	-	83 61.9	2 1.5	3 2.2
世帯構成												
単身世帯	35 100.0	11 31.4	3 8.6	-	2 5.7	-	5 14.3	4 11.4	-	8 22.9	1 2.9	1 2.9
夫婦のみ（一世帯世帯）	194 100.0	45 23.2	14 7.2	1 0.5	5 2.6	-	21 10.8	52 26.8	1 0.5	48 24.7	6 3.1	1 0.5
親と子（二世帯世帯）	413 100.0	139 33.7	33 8.0	7 1.7	15 3.6	6 1.5	84 20.3	54 13.1	16 3.9	51 12.3	7 1.7	1 0.2
親と子と孫（三世帯世帯）	103 100.0	25 24.3	9 8.7	7 6.8	4 3.9	1 1.0	16 15.5	10 9.7	6 5.8	23 22.3	-	2 1.9
その他	13 100.0	4 30.8	-	1 7.7	-	1 7.7	2 15.4	2 15.4	-	3 23.1	-	-
居住地区												
増田地区	150 100.0	43 28.7	6 4.0	3 2.0	4 2.7	3 2.0	32 21.3	25 16.7	7 4.7	25 16.7	2 1.3	-
増田西地区	99 100.0	35 35.4	6 6.1	-	5 5.1	-	16 16.2	16 16.2	2 2.0	16 16.2	2 2.0	1 1.0
名取が丘地区	62 100.0	20 32.3	3 4.8	-	1 1.6	1 1.6	10 16.1	9 14.5	1 1.6	14 22.6	3 4.8	-
関上地区	13 100.0	4 30.8	-	-	1 7.7	-	-	3 23.1	-	4 30.8	1 7.7	-
下増田地区	64 100.0	20 31.3	6 9.4	3 4.7	-	1 1.6	11 17.2	8 12.5	2 3.1	13 20.3	-	-
館腰地区	72 100.0	27 37.5	1 1.4	2 2.8	5 6.9	-	11 15.3	11 15.3	1 1.4	10 13.9	2 2.8	2 2.8
愛島地区	82 100.0	16 19.5	8 9.8	2 2.4	2 2.4	1 1.2	12 14.6	18 22.0	2 2.4	20 24.4	1 1.2	-
高館地区	61 100.0	22 36.1	8 13.1	6 9.8	1 1.6	1 1.6	9 14.8	7 11.5	1 1.6	6 9.8	-	-
ゆりが丘・みどり台地区	82 100.0	22 26.8	9 11.0	-	4 4.9	-	10 12.2	15 18.3	3 3.7	14 17.1	3 3.7	2 2.4
相互台地区	39 100.0	8 20.5	7 17.9	-	1 2.6	-	9 23.1	4 10.3	3 7.7	7 17.9	-	-
那智が丘地区	35 100.0	8 22.9	5 14.3	-	2 5.7	1 2.9	9 25.7	6 17.1	1 2.9	3 8.6	-	-

(7) 名取市での居住年数



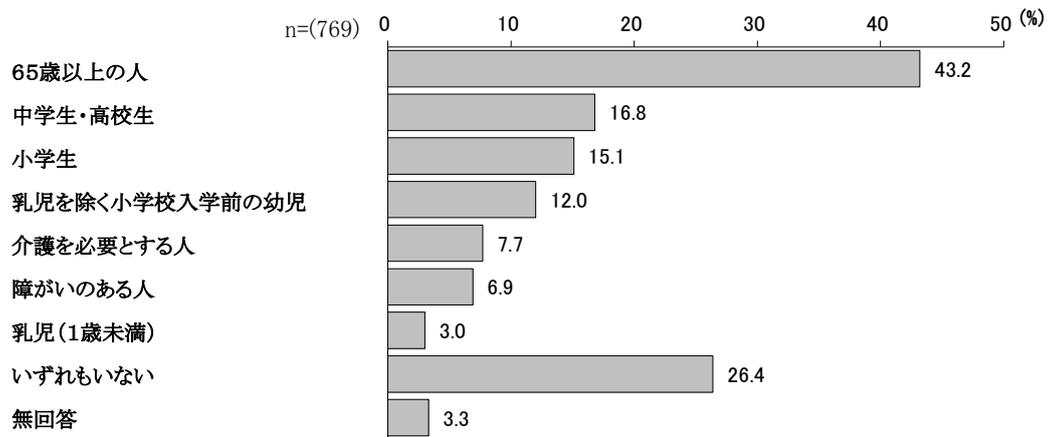
名取市での居住年数については、「10年以上30年未満」38.2%が最も多く、次いで「30年以上」34.3%、以下「5年以上10年未満」12.0%、「1年以上5年未満」11.4%、「1年未満」3.1%となっている。

- 年齢（6区分）別にみると、おおむね年代が上がるほど居住年数も長く、70代以上では「30年以上」が63.4%を占めている。
 - 居住地区別にみると、閑上地区、館腰地区では「30年以上」が50～70%台とほかの居住地区に比べて多くなっている。
- 一方、下増田地区、愛島地区では「1年未満」「1年以上5年未満」「5年以上10年未満」と回答した“10年未満”が40%以上とほかの居住地区に比べて多くなっている。

【性・年齢（6区分）・世帯構成・居住地区別】

	調査数	1年未満	1年以上5年未満	5年以上10年未満	10年以上30年未満	30年以上	無回答
全体	769 100.0	24 3.1	88 11.4	92 12.0	294 38.2	264 34.3	7 0.9
性別							
男性	296 100.0	8 2.7	33 11.1	34 11.5	109 36.8	112 37.8	-
女性	410 100.0	15 3.7	45 11.0	51 12.4	165 40.2	133 32.4	1 0.2
年齢（6区分）							
10～20代	68 100.0	4 5.9	12 17.6	4 5.9	48 70.6	-	-
30代	115 100.0	13 11.3	31 27.0	23 20.0	33 28.7	15 13.0	-
40代	141 100.0	2 1.4	19 13.5	32 22.7	56 39.7	32 22.7	-
50代	132 100.0	2 1.5	11 8.3	12 9.1	57 43.2	50 37.9	-
60代	169 100.0	2 1.2	9 5.3	14 8.3	64 37.9	80 47.3	-
70代以上	134 100.0	1 0.7	6 4.5	7 5.2	34 25.4	85 63.4	1 0.7
世帯構成							
単身世帯	35 100.0	2 5.7	8 22.9	3 8.6	7 20.0	15 42.9	-
夫婦のみ（一世帯世帯）	194 100.0	12 6.2	23 11.9	18 9.3	71 36.6	70 36.1	-
親と子（二世帯世帯）	413 100.0	8 1.9	51 12.3	64 15.5	171 41.4	119 28.8	-
親と子と孫（三世帯世帯）	103 100.0	1 1.0	5 4.9	6 5.8	40 38.8	50 48.5	1 1.0
その他	13 100.0	1 7.7	-	1 7.7	4 30.8	7 53.8	-
居住地区							
増田地区	150 100.0	5 3.3	19 12.7	11 7.3	48 32.0	67 44.7	-
増田西地区	99 100.0	4 4.0	12 12.1	9 9.1	38 38.4	35 35.4	1 1.0
名取が丘地区	62 100.0	1 1.6	3 4.8	5 8.1	28 45.2	25 40.3	-
閑上地区	13 100.0	-	1 7.7	1 7.7	1 7.7	10 76.9	-
下増田地区	64 100.0	4 6.3	6 9.4	20 31.3	10 15.6	24 37.5	-
館腰地区	72 100.0	5 6.9	5 6.9	7 9.7	17 23.6	38 52.8	-
愛島地区	82 100.0	3 3.7	15 18.3	21 25.6	15 18.3	28 34.1	-
高館地区	61 100.0	-	7 11.5	5 8.2	20 32.8	29 47.5	-
ゆりが丘・みどり台地区	82 100.0	-	9 11.0	7 8.5	64 78.0	2 2.4	-
相互台地区	39 100.0	1 2.6	7 17.9	4 10.3	23 59.0	4 10.3	-
那智が丘地区	35 100.0	-	4 11.4	2 5.7	29 82.9	-	-

(8) 同居家族の中にいる人



同居家族の中にいる人については、「65歳以上の人」43.2%が最も多く、以下「中学生・高校生」16.8%、「小学生」15.1%、「乳児を除く小学校入学前の幼児」12.0%となっている。

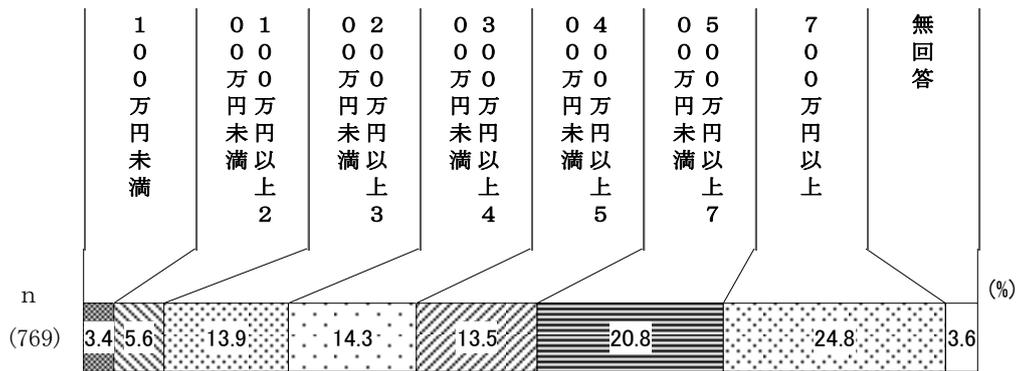
なお、「いずれもない」は26.4%となっている。

- 居住地区別にみると、名取が丘地区、閑上地区、館腰地区、高館地区では「65歳以上の人」との同居が50%以上を占めている。
また、下増田地区では「小学生」「中学生・高校生」「乳児、小学校入学前の幼児」との同居がそれぞれ20%以上となっている。

【性・年齢（6区分）・世帯構成・居住地区別】

	調査数	65歳以上の人	中学生・高校生	小学生	乳児を除く小学校入学前の幼児	介護を必要とする人	障がいのある人	乳児（1歳未満）	いずれもない	無回答
全体	769	332	129	116	92	59	53	23	203	25
	100.0	43.2	16.8	15.1	12.0	7.7	6.9	3.0	26.4	3.3
性別										
男性	296	129	34	37	45	22	22	13	88	6
	100.0	43.6	11.5	12.5	15.2	7.4	7.4	4.4	29.7	2.0
女性	410	176	89	71	40	34	27	8	99	10
	100.0	42.9	21.7	17.3	9.8	8.3	6.6	2.0	24.1	2.4
年齢（6区分）										
10～20代	68	16	15	2	8	4	7	3	29	-
	100.0	23.5	22.1	2.9	11.8	5.9	10.3	4.4	42.6	-
30代	115	22	12	35	50	4	1	15	25	2
	100.0	19.1	10.4	30.4	43.5	3.5	0.9	13.0	21.7	1.7
40代	141	36	55	52	17	7	4	3	26	1
	100.0	25.5	39.0	36.9	12.1	5.0	2.8	2.1	18.4	0.7
50代	132	44	24	6	1	11	13	-	57	7
	100.0	33.3	18.2	4.5	0.8	8.3	9.8	-	43.2	5.3
60代	169	78	7	10	10	16	14	1	65	9
	100.0	46.2	4.1	5.9	5.9	9.5	8.3	0.6	38.5	5.3
70代以上	134	134	16	10	6	17	14	1	-	-
	100.0	100.0	11.9	7.5	4.5	12.7	10.4	0.7	-	-
世帯構成										
単身世帯	35	11	2	2	1	1	-	-	17	2
	100.0	31.4	5.7	5.7	2.9	2.9	-	-	48.6	5.7
夫婦のみ（一世帯世帯）	194	86	4	2	7	4	9	1	86	9
	100.0	44.3	2.1	1.0	3.6	2.1	4.6	0.5	44.3	4.6
親と子（二世帯世帯）	413	133	87	81	60	29	27	18	97	8
	100.0	32.2	21.1	19.6	14.5	7.0	6.5	4.4	23.5	1.9
親と子と孫（三世帯世帯）	103	91	35	29	23	23	16	3	1	-
	100.0	88.3	34.0	28.2	22.3	22.3	15.5	2.9	1.0	-
その他	13	9	-	1	-	1	1	-	2	-
	100.0	69.2	-	7.7	-	7.7	7.7	-	15.4	-
居住地区										
増田地区	150	65	27	27	14	13	11	3	40	4
	100.0	43.3	18.0	18.0	9.3	8.7	7.3	2.0	26.7	2.7
増田西地区	99	39	15	15	10	6	6	2	34	2
	100.0	39.4	15.2	15.2	10.1	6.1	6.1	2.0	34.3	2.0
名取が丘地区	62	32	11	4	4	4	6	2	12	4
	100.0	51.6	17.7	6.5	6.5	6.5	9.7	3.2	19.4	6.5
閑上地区	13	8	-	-	-	1	-	-	5	-
	100.0	61.5	-	-	-	7.7	-	-	38.5	-
下増田地区	64	28	14	19	16	5	6	1	9	-
	100.0	43.8	21.9	29.7	25.0	7.8	9.4	1.6	14.1	-
館腰地区	72	36	7	6	7	8	6	2	21	1
	100.0	50.0	9.7	8.3	9.7	11.1	8.3	2.8	29.2	1.4
愛島地区	82	35	14	17	13	8	8	3	19	2
	100.0	42.7	17.1	20.7	15.9	9.8	9.8	3.7	23.2	2.4
高館地区	61	34	14	6	9	7	4	3	9	2
	100.0	55.7	23.0	9.8	14.8	11.5	6.6	4.9	14.8	3.3
ゆりが丘・みどり台地区	82	27	15	12	8	2	2	3	26	3
	100.0	32.9	18.3	14.6	9.8	2.4	2.4	3.7	31.7	3.7
相互台地区	39	14	8	7	6	4	2	3	11	-
	100.0	35.9	20.5	17.9	15.4	10.3	5.1	7.7	28.2	-
那智が丘地区	35	12	3	3	5	1	2	1	15	1
	100.0	34.3	8.6	8.6	14.3	2.9	5.7	2.9	42.9	2.9

(9) 世帯全体の年収（給与や事業の売上、年金や各種給付金、手当、仕送り等含む）



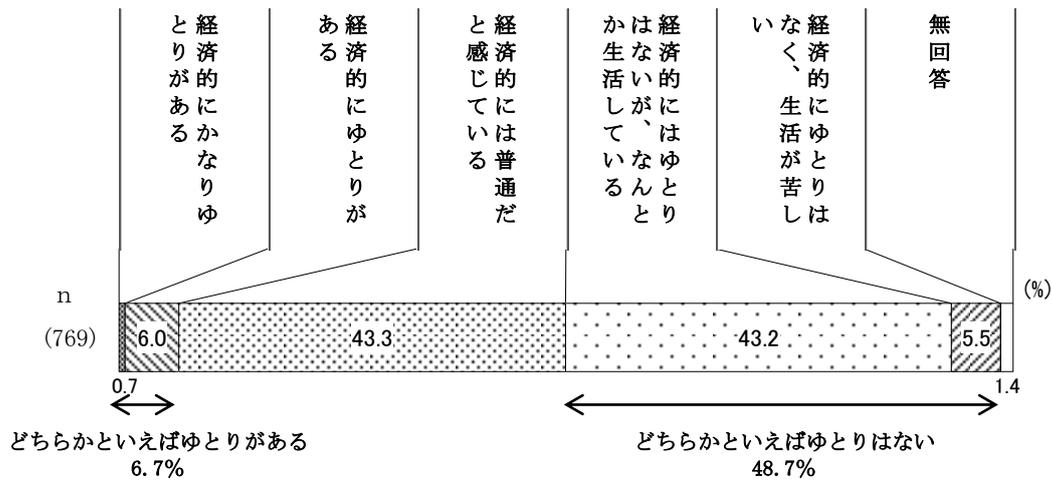
世帯全体の年収（給与や事業の売上、年金や各種給付金、手当、仕送り等含む）についてたずねたところ、「700万円以上」24.8%が最も多く、以下「500万円以上700万円未満」20.8%、「300万円以上400万円未満」14.3%、「200万円以上300万円未満」13.9%、「400万円以上500万円未満」13.5%となっている。

- 性別にみると、男性では「700万円以上」30.1%が女性に比べて多くなっている。
- 年齢（6区分）別にみると、60代、70代以上では「200万円以上300万円未満」が20%以上と、30代、40代では「500万円以上700万円未満」が20～30%台と、40代、50代では「500万円以上700万円未満」が30～40%台とほかの年代に比べて多く、働き盛りの世代ほど世帯の年収が高くなっている。
- 世帯構成別にみると、単身世帯、夫婦のみ（一世代世帯）では「200万円以上300万円未満」が20%以上と、親と子（二世代世帯）、親と子と孫（三世代世帯）では「500万円以上700万円未満」「500万円以上700万円未満」がそれぞれ20～30%台とほかの世帯構成に比べて多くなっている。

【性・年齢（6区分）・世帯構成・居住地区別】

	調査数	100万円未満	100万円以上200万円未満	200万円以上300万円未満	300万円以上400万円未満	400万円以上500万円未満	500万円以上700万円未満	700万円以上	無回答
全体	769 100.0	26 3.4	43 5.6	107 13.9	110 14.3	104 13.5	160 20.8	191 24.8	28 3.6
性別									
男性	296 100.0	5 1.7	13 4.4	34 11.5	46 15.5	46 15.5	60 20.3	89 30.1	3 1.0
女性	410 100.0	16 3.9	24 5.9	68 16.6	54 13.2	51 12.4	87 21.2	94 22.9	16 3.9
年齢（6区分）									
10～20代	68 100.0	5 7.4	1 1.5	11 16.2	8 11.8	7 10.3	11 16.2	19 27.9	6 8.8
30代	115 100.0	-	4 3.5	7 6.1	19 16.5	17 14.8	35 30.4	33 28.7	-
40代	141 100.0	2 1.4	7 5.0	6 4.3	15 10.6	17 12.1	39 27.7	54 38.3	1 0.7
50代	132 100.0	2 1.5	5 3.8	8 6.1	16 12.1	21 15.9	26 19.7	53 40.2	1 0.8
60代	169 100.0	8 4.7	10 5.9	37 21.9	25 14.8	29 17.2	30 17.8	26 15.4	4 2.4
70代以上	134 100.0	9 6.7	15 11.2	38 28.4	26 19.4	12 9.0	18 13.4	6 4.5	10 7.5
世帯構成									
単身世帯	35 100.0	7 20.0	3 8.6	8 22.9	5 14.3	5 14.3	3 8.6	4 11.4	-
夫婦のみ（一世代世帯）	194 100.0	4 2.1	9 4.6	49 25.3	37 19.1	22 11.3	27 13.9	38 19.6	8 4.1
親と子（二世代世帯）	413 100.0	11 2.7	26 6.3	37 9.0	55 13.3	61 14.8	102 24.7	116 28.1	5 1.2
親と子と孫（三世代世帯）	103 100.0	3 2.9	3 2.9	9 8.7	9 8.7	14 13.6	24 23.3	33 32.0	8 7.8
その他	13 100.0	1 7.7	1 7.7	4 30.8	3 23.1	-	4 30.8	-	-
居住地区									
増田地区	150 100.0	4 2.7	11 7.3	23 15.3	19 12.7	18 12.0	34 22.7	37 24.7	4 2.7
増田西地区	99 100.0	1 1.0	7 7.1	14 14.1	17 17.2	17 17.2	22 22.2	17 17.2	4 4.0
名取が丘地区	62 100.0	6 9.7	5 8.1	8 12.9	13 21.0	10 16.1	6 9.7	12 19.4	2 3.2
閑上地区	13 100.0	1 7.7	1 7.7	4 30.8	2 15.4	1 7.7	3 23.1	1 7.7	-
下増田地区	64 100.0	2 3.1	3 4.7	6 9.4	7 10.9	11 17.2	11 17.2	23 35.9	1 1.6
館腰地区	72 100.0	1 1.4	3 4.2	14 19.4	16 22.2	8 11.1	14 19.4	14 19.4	2 2.8
愛島地区	82 100.0	-	4 4.9	16 19.5	7 8.5	12 14.6	17 20.7	23 28.0	3 3.7
高館地区	61 100.0	3 4.9	4 6.6	5 8.2	10 16.4	11 18.0	14 23.0	13 21.3	1 1.6
ゆりが丘・みどり台地区	82 100.0	3 3.7	2 2.4	10 12.2	8 9.8	8 9.8	23 28.0	24 29.3	4 4.9
相互台地区	39 100.0	-	2 5.1	4 10.3	6 15.4	4 10.3	9 23.1	13 33.3	1 2.6
那智が丘地区	35 100.0	2 5.7	1 2.9	2 5.7	5 14.3	4 11.4	7 20.0	14 40.0	-

(10) 経済状況



経済状況についてたずねたところ、「経済的には普通だと感じている」43.3%が最も多く、次いで「経済的にはゆとりはないが、なんとか生活している」43.2%、以下「経済的にゆとりがある」6.0%、「経済的にゆとりはなく、生活が苦しい」5.5%、「経済的にかなりゆとりがある」0.7%となっている。

また、「経済的にはゆとりはないが、なんとか生活している」「経済的にゆとりはなく、生活が苦しい」と回答した“どちらかといえばゆとりはない”派48.7%は「経済的にかなりゆとりがある」「経済的にゆとりがある」と回答した“どちらかといえばゆとりがある”派6.7%を大きく上回っている。

- 世帯全体の年収（6区分）別にみると、おおむね世帯全体の年収が高くなるほど「経済的にかなりゆとりがある」「経済的にゆとりがある」と回答した“どちらかといえばゆとりがある”派が多くなっている。

【問1 世帯全体の年収（6区分）別】

	調査数	経済的にかなりゆとりがある	経済的にゆとりがある	経済的には普通だと感じている	とか生活にはゆとりはないが、なん	しい経済的にゆとりはなく、生活が苦	無回答
上段：件数 下段：%							
全 体	769 100.0	5 0.7	46 6.0	333 43.3	332 43.2	42 5.5	11 1.4
問1 世帯全体の年収（6区分）							
200万円未満	69 100.0	- -	1 1.4	6 8.7	46 66.7	16 23.2	- -
200万円以上300万円未満	107 100.0	- -	2 1.9	32 29.9	61 57.0	11 10.3	1 0.9
300万円以上400万円未満	110 100.0	1 0.9	1 0.9	41 37.3	61 55.5	6 5.5	- -
400万円以上500万円未満	104 100.0	- -	2 1.9	46 44.2	51 49.0	5 4.8	- -
500万円以上700万円未満	160 100.0	- -	14 8.8	74 46.3	69 43.1	3 1.9	- -
700万円以上	191 100.0	4 2.1	25 13.1	126 66.0	36 18.8	- -	- -

- 性別にみると、女性では「経済的にはゆとりはないが、なんとか生活している」「経済的にはゆとりはなく、生活が苦しい」と回答した“どちらかといえばゆとりはない”派が男性に比べてやや多くなっている。
- 年齢（6区分）別にみると10～20代、60代、70代以上では「経済的にはゆとりはないが、なんとか生活している」「経済的にはゆとりはなく、生活が苦しい」と回答した“どちらかといえばゆとりはない”派がほかの年代に比べてやや多くなっている。

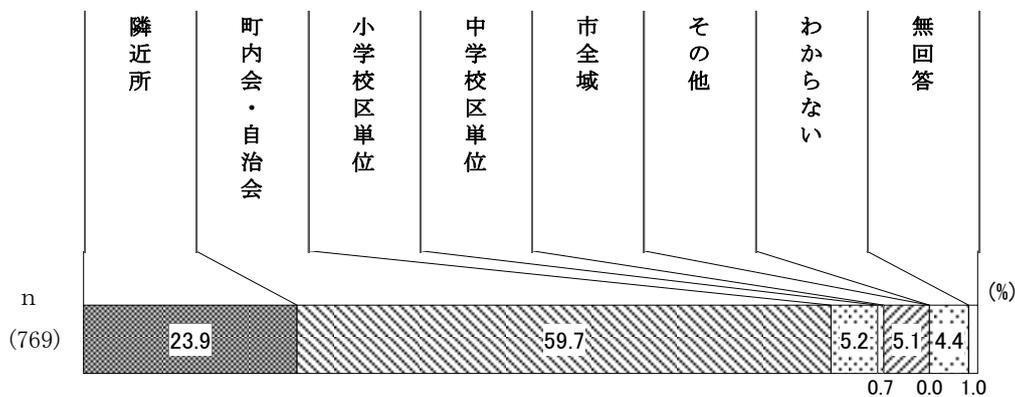
【性・年齢（6区分）・世帯構成・居住地区別】

	調査数	経済的にかなりゆとりがある	経済的にゆとりがある	経済的には普通だと感じている	と経済的には生活してゆとりはないが、なんとか生活している	し経済的にはゆとりはなく、生活が苦しい	無回答
	上段：件数 下段：%						
全 体	769 100.0	5 0.7	46 6.0	333 43.3	332 43.2	42 5.5	11 1.4
性別							
男性	296 100.0	2 0.7	22 7.4	137 46.3	120 40.5	14 4.7	1 0.3
女性	410 100.0	3 0.7	19 4.6	176 42.9	186 45.4	23 5.6	3 0.7
年齢（6区分）							
10～20代	68 100.0	1 1.5	6 8.8	26 38.2	31 45.6	4 5.9	-
30代	115 100.0	-	8 7.0	51 44.3	48 41.7	8 7.0	-
40代	141 100.0	-	8 5.7	69 48.9	58 41.1	6 4.3	-
50代	132 100.0	2 1.5	8 6.1	59 44.7	55 41.7	8 6.1	-
60代	169 100.0	1 0.6	10 5.9	71 42.0	76 45.0	9 5.3	2 1.2
70代以上	134 100.0	1 0.7	6 4.5	56 41.8	61 45.5	7 5.2	3 2.2
世帯構成							
単身世帯	35 100.0	-	-	12 34.3	19 54.3	4 11.4	-
夫婦のみ（一世帯世帯）	194 100.0	2 1.0	13 6.7	96 49.5	70 36.1	10 5.2	3 1.5
親と子（二世帯世帯）	413 100.0	2 0.5	26 6.3	170 41.2	195 47.2	20 4.8	-
親と子と孫（三世帯世帯）	103 100.0	1 1.0	6 5.8	48 46.6	40 38.8	6 5.8	2 1.9
その他	13 100.0	-	1 7.7	6 46.2	4 30.8	2 15.4	-
居住地区							
増田地区	150 100.0	1 0.7	12 8.0	65 43.3	68 45.3	4 2.7	-
増田西地区	99 100.0	-	12 12.1	40 40.4	39 39.4	5 5.1	3 3.0
名取が丘地区	62 100.0	1 1.6	3 4.8	24 38.7	29 46.8	5 8.1	-
閑上地区	13 100.0	-	1 7.7	4 30.8	7 53.8	1 7.7	-
下増田地区	64 100.0	-	4 6.3	29 45.3	29 45.3	2 3.1	-
館腰地区	72 100.0	-	1 1.4	37 51.4	31 43.1	3 4.2	-
愛島地区	82 100.0	-	3 3.7	40 48.8	33 40.2	5 6.1	1 1.2
高館地区	61 100.0	-	3 4.9	22 36.1	32 52.5	4 6.6	-
ゆりが丘・みどり台地区	82 100.0	-	2 2.4	41 50.0	35 42.7	4 4.9	-
相互台地区	39 100.0	2 5.1	4 10.3	14 35.9	14 35.9	4 10.3	1 2.6
那智が丘地区	35 100.0	1 2.9	1 2.9	17 48.6	12 34.3	4 11.4	-

2. ご近所とのつきあいや地域活動などについて

（1）住民が助け合いの活動を行う「地域」の範囲

問3 住民が助け合いの活動を行う「地域」とはどの範囲だと思われませんか。（○は1つ）



住民が助け合いの活動を行う「地域」の範囲についてたずねたところ、「町内会・自治会」が最も多く 59.7%を占めており、以下「隣近所」23.9%、「小学校区単位」5.2%、「市全域」5.1%となっている。

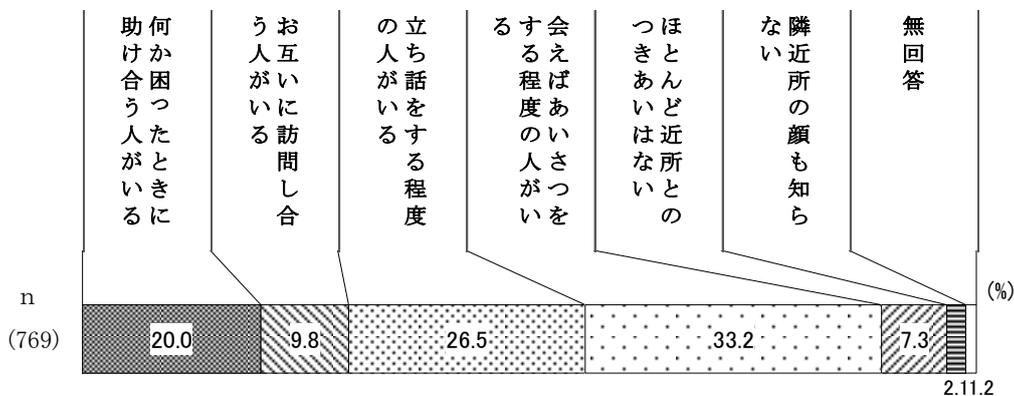
- 世帯構成別にみると、いずれも「町内会・自治会」が最も多いが、単身世帯では「隣近所」40.0%がほかの世帯構成に比べて多くなっている。
- 居住地区別にみると、いずれも「町内会・自治会」が最も多いが、増田地区、増田西地区、閑上地区では「隣近所」が30%以上とやや多く、ゆりが丘・みどり台地区、相互台地区では「小学校区単位」が10%以上とほかの居住地区に比べて多くなっている。

【性・年齢（6区分）・世帯構成・居住地区別】

	調査数	隣近所	町内会・自治会	小学校区単位	中学校区単位	市全域	その他	わからない	無回答
上段：件数 下段：%									
全体	769 100.0	184 23.9	459 59.7	40 5.2	5 0.7	39 5.1	-	34 4.4	8 1.0
性別									
男性	296 100.0	62 20.9	196 66.2	16 5.4	2 0.7	13 4.4	-	7 2.4	-
女性	410 100.0	108 26.3	233 56.8	23 5.6	3 0.7	22 5.4	-	19 4.6	2 0.5
年齢（6区分）									
10～20代	68 100.0	14 20.6	38 55.9	4 5.9	1 1.5	5 7.4	-	6 8.8	-
30代	115 100.0	29 25.2	60 52.2	9 7.8	-	7 6.1	-	10 8.7	-
40代	141 100.0	32 22.7	80 56.7	15 10.6	4 2.8	6 4.3	-	4 2.8	-
50代	132 100.0	35 26.5	81 61.4	7 5.3	-	6 4.5	-	3 2.3	-
60代	169 100.0	41 24.3	112 66.3	3 1.8	-	10 5.9	-	3 1.8	-
70代以上	134 100.0	33 24.6	84 62.7	2 1.5	-	5 3.7	-	8 6.0	2 1.5
世帯構成									
単身世帯	35 100.0	14 40.0	16 45.7	-	-	-	-	5 14.3	-
夫婦のみ（一世代世帯）	194 100.0	47 24.2	120 61.9	6 3.1	-	11 5.7	-	9 4.6	1 0.5
親と子（二世帯世帯）	413 100.0	100 24.2	248 60.0	25 6.1	3 0.7	22 5.3	-	15 3.6	-
親と子と孫（三世帯世帯）	103 100.0	18 17.5	66 64.1	9 8.7	2 1.9	5 4.9	-	3 2.9	-
その他	13 100.0	4 30.8	6 46.2	-	-	1 7.7	-	2 15.4	-
居住地区									
増田地区	150 100.0	46 30.7	77 51.3	5 3.3	1 0.7	12 8.0	-	9 6.0	-
増田西地区	99 100.0	32 32.3	54 54.5	2 2.0	2 2.0	5 5.1	-	3 3.0	1 1.0
名取が丘地区	62 100.0	10 16.1	40 64.5	5 8.1	-	2 3.2	-	5 8.1	-
閑上地区	13 100.0	4 30.8	6 46.2	-	-	1 7.7	-	2 15.4	-
下増田地区	64 100.0	15 23.4	41 64.1	4 6.3	1 1.6	1 1.6	-	1 1.6	1 1.6
館腰地区	72 100.0	17 23.6	46 63.9	2 2.8	-	4 5.6	-	3 4.2	-
愛島地区	82 100.0	18 22.0	56 68.3	3 3.7	-	1 1.2	-	4 4.9	-
高館地区	61 100.0	13 21.3	41 67.2	1 1.6	-	3 4.9	-	3 4.9	-
ゆりが丘・みどり台地区	82 100.0	15 18.3	49 59.8	9 11.0	1 1.2	5 6.1	-	3 3.7	-
相互台地区	39 100.0	5 12.8	25 64.1	7 17.9	-	2 5.1	-	-	-
那智が丘地区	35 100.0	7 20.0	23 65.7	2 5.7	-	3 8.6	-	-	-

（2）近所づきあいの程度

問4 ご近所との関係は次のどれに最も近いですか。（○は1つ）



近所づきあいの程度についてたずねたところ、「会えばあいさつをする程度の人がある」33.2%が最も多く、以下「立ち話をする程度の人がある」26.5%、「何か困ったときに助け合う人がいる」20.0%、「お互いに訪問し合う人がいる」9.8%、「ほとんど近所とのつきあいはない」7.3%となっている。

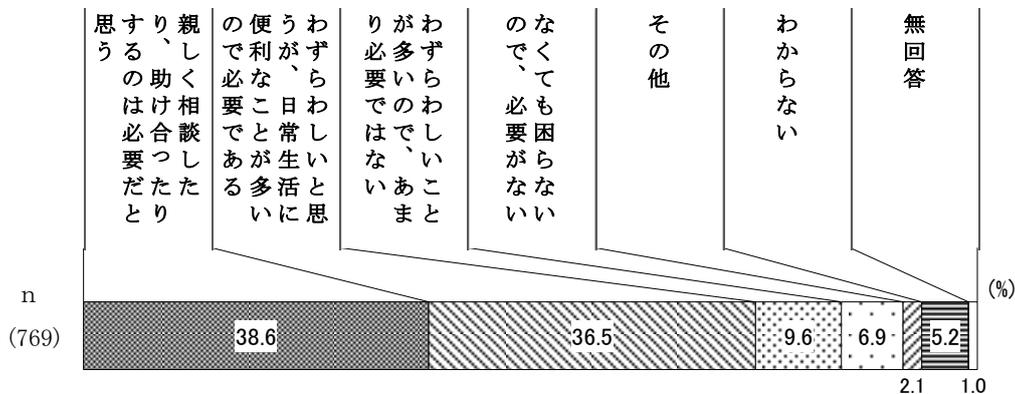
- 年齢（6区分）別にみると、40代、50代、60代、70代以上では「何か困ったときに助け合う人がいる」「お互いに訪問し合う人がいる」と回答した深い近所づきあいをしている人が多くなっている。
一方、10～20代では「ほとんど近所とのつきあいはない」16.2%がほかの年代に比べてやや多くなっている。
- 世帯構成別にみると、親と子と孫（三世代世帯）では「何か困ったときに助け合う人がいる」「お互いに訪問し合う人がいる」と回答した深い近所づきあいをしている人が多くなっている。
一方、単身世帯では「ほとんど近所とのつきあいはない」20.0%がほかの世帯構成に比べて多くなっている。

【性・年齢（6区分）・世帯構成・居住地区別】

	調査数	何か困ったときに助け合う人がいる	お互いに訪問し合う人がいる	立ち話をする程度の人がある	会えばあいさつをする程度の人がある	ほとんど近所とのつきあいはない	隣近所の顔も知らない	無回答
全体	769 100.0	154 20.0	75 9.8	204 26.5	255 33.2	56 7.3	16 2.1	9 1.2
性別								
男性	296 100.0	48 16.2	30 10.1	77 26.0	119 40.2	17 5.7	5 1.7	-
女性	410 100.0	87 21.2	40 9.8	115 28.0	120 29.3	34 8.3	11 2.7	3 0.7
年齢（6区分）								
10～20代	68 100.0	3 4.4	3 4.4	10 14.7	36 52.9	11 16.2	5 7.4	-
30代	115 100.0	16 13.9	9 7.8	27 23.5	47 40.9	10 8.7	6 5.2	-
40代	141 100.0	30 21.3	12 8.5	30 21.3	59 41.8	8 5.7	2 1.4	-
50代	132 100.0	33 25.0	12 9.1	37 28.0	35 26.5	14 10.6	-	1 0.8
60代	169 100.0	39 23.1	18 10.7	56 33.1	48 28.4	6 3.6	2 1.2	-
70代以上	134 100.0	33 24.6	21 15.7	42 31.3	28 20.9	7 5.2	1 0.7	2 1.5
世帯構成								
単身世帯	35 100.0	3 8.6	3 8.6	12 34.3	6 17.1	7 20.0	3 8.6	1 2.9
夫婦のみ（一世代世帯）	194 100.0	38 19.6	22 11.3	57 29.4	59 30.4	13 6.7	5 2.6	-
親と子（二世代世帯）	413 100.0	84 20.3	36 8.7	102 24.7	153 37.0	30 7.3	7 1.7	1 0.2
親と子と孫（三世代世帯）	103 100.0	28 27.2	12 11.7	27 26.2	30 29.1	5 4.9	-	1 1.0
その他	13 100.0	-	2 15.4	6 46.2	3 23.1	1 7.7	1 7.7	-
居住地区								
増田地区	150 100.0	32 21.3	12 8.0	39 26.0	51 34.0	12 8.0	4 2.7	-
増田西地区	99 100.0	17 17.2	8 8.1	22 22.2	41 41.4	10 10.1	-	1 1.0
名取が丘地区	62 100.0	10 16.1	3 4.8	20 32.3	24 38.7	3 4.8	2 3.2	-
閑上地区	13 100.0	2 15.4	3 23.1	4 30.8	3 23.1	1 7.7	-	-
下増田地区	64 100.0	14 21.9	6 9.4	12 18.8	23 35.9	6 9.4	3 4.7	-
館腰地区	72 100.0	16 22.2	9 12.5	18 25.0	25 34.7	2 2.8	2 2.8	-
愛島地区	82 100.0	15 18.3	12 14.6	20 24.4	25 30.5	9 11.0	1 1.2	-
高館地区	61 100.0	15 24.6	7 11.5	17 27.9	17 27.9	3 4.9	1 1.6	1 1.6
ゆりが丘・みどり台地区	82 100.0	19 23.2	9 11.0	27 32.9	20 24.4	5 6.1	1 1.2	1 1.2
相互台地区	39 100.0	6 15.4	4 10.3	10 25.6	17 43.6	1 2.6	1 2.6	-
那智が丘地区	35 100.0	8 22.9	2 5.7	14 40.0	8 22.9	2 5.7	1 2.9	-

（3）近所づきあいの考え方

問5 近所づきあいの考え方は、次のどれに近いですか。（○は1つ）



近所づきあいの考え方についてたずねたところ、「親しく相談したり、助け合ったりするのは必要だと思う」38.6%が最も多く、次いで「わづらわしいと思うが、日常生活に便利なおことが多いため必要である」36.5%、以下「わづらわしいおことが多いため、あまり必要ではない」9.6%、「なくても困らないので、必要がない」6.9%となっている。

- 近所づきあいの程度別にみると、何か困ったときに助け合う人がいる、お互いに訪問し合う人がいる現在深い近所づきあいをしている人は、「親しく相談したり、助け合ったりするのは必要だと思う」が60～70%台を占めている。
また、立ち話をする程度の人がある人は「わづらわしいと思うが、日常生活に便利なおことが多いため必要である」49.5%が最も多いが、「親しく相談したり、助け合ったりするのは必要だと思う」も37.3%となっており、より深いつきあいに発展したい意向もみられる。

【問4 近所づきあいの程度別】

	調査数	思いうるの必要だと思ふ	親しく相談したり、助け合ったりするの必要である	わづらわしいと思うが、日常生活に便利なおことが多いため必要ではない	なくても困らないので、必要がない	その他	わからない	無回答
全体	769	297	281	74	53	16	40	8
	100.0	38.6	36.5	9.6	6.9	2.1	5.2	1.0
問4 近所づきあいの程度								
何か困ったときに助け合う人がいる	154	118	29	3	1	1	2	-
	100.0	76.6	18.8	1.9	0.6	0.6	1.3	-
お互いに訪問し合う人がいる	75	47	22	3	3	-	-	-
	100.0	62.7	29.3	4.0	4.0	-	-	-
立ち話をする程度の人がある	204	76	101	12	4	7	4	-
	100.0	37.3	49.5	5.9	2.0	3.4	2.0	-
会えばあいさつをする程度の人がある	255	46	115	39	24	5	25	1
	100.0	18.0	45.1	15.3	9.4	2.0	9.8	0.4
ほとんど近所とのつきあいはない	56	7	12	14	16	2	5	-
	100.0	12.5	21.4	25.0	28.6	3.6	8.9	-
隣近所の顔も知らない	16	2	1	3	5	1	4	-
	100.0	12.5	6.3	18.8	31.3	6.3	25.0	-

- 年齢（6区分）別にみると、10～20代では「わずらわしいことが多いので、あまり必要ではない」「なくても困らないので、必要がない」と回答した否定派が26.5%とほかの年代に比べて多くなっている。

また、70代以上では「親しく相談したり、助け合ったりするのは必要だと思う」が50.7%を占めている。

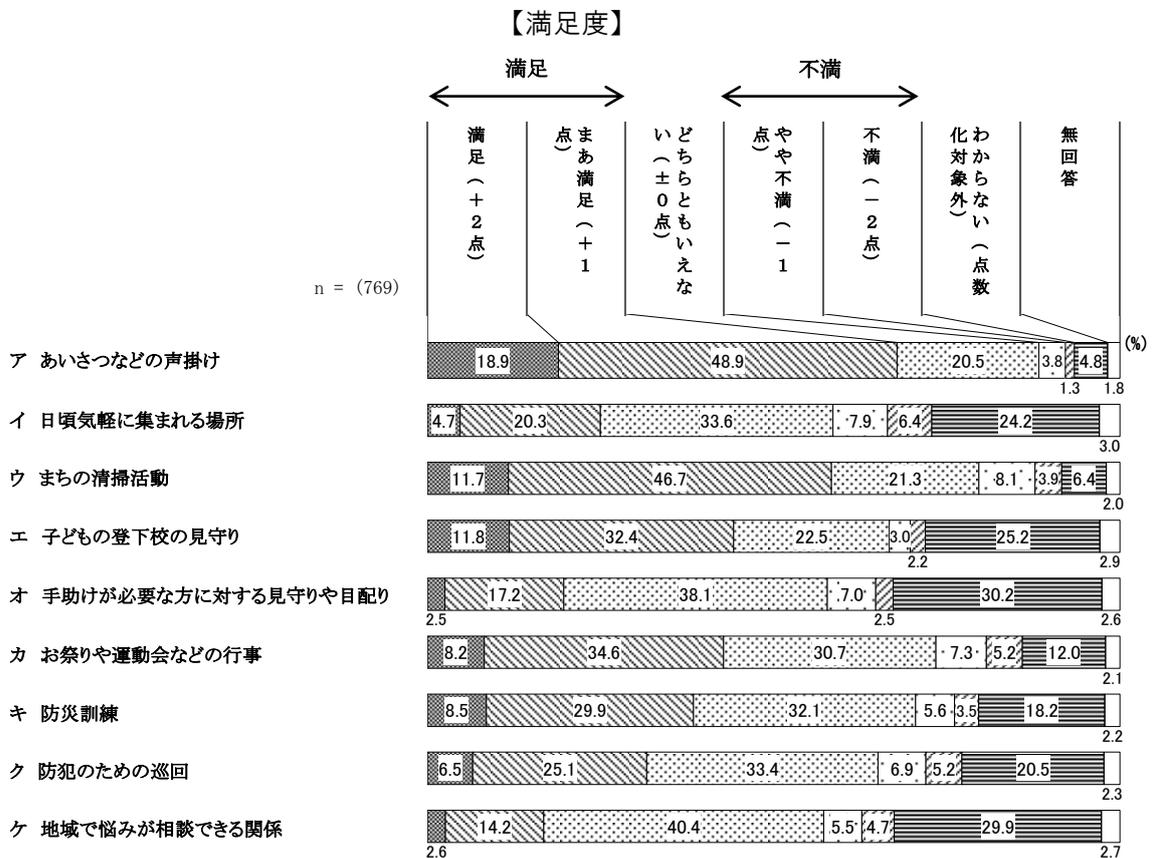
- 世帯構成別にみると、単身世帯では「わずらわしいことが多いので、あまり必要ではない」「なくても困らないので、必要がない」と回答した否定派が28.5%とほかの世帯構成に比べて多くなっている。

【性・年齢（6区分）・世帯構成・居住地区別】

	調査数	親しく相談したり、助け合ったり	るにわ便利らしいことが多いが、日常生活	まわり必要ではないことが多いので、あ	いなくても困らないので、必要がな	その他	わからない	無回答
上段：件数 下段：%								
全 体	769 100.0	297 38.6	281 36.5	74 9.6	53 6.9	16 2.1	40 5.2	8 1.0
性別								
男性	296 100.0	118 39.9	105 35.5	36 12.2	19 6.4	1 0.3	16 5.4	1 0.3
女性	410 100.0	153 37.3	159 38.8	34 8.3	30 7.3	13 3.2	20 4.9	1 0.2
年齢（6区分）								
10～20代	68 100.0	17 25.0	24 35.3	10 14.7	8 11.8	1 1.5	8 11.8	-
30代	115 100.0	43 37.4	39 33.9	9 7.8	10 8.7	4 3.5	10 8.7	-
40代	141 100.0	56 39.7	46 32.6	20 14.2	5 3.5	5 3.5	9 6.4	-
50代	132 100.0	43 32.6	55 41.7	14 10.6	11 8.3	4 3.0	4 3.0	1 0.8
60代	169 100.0	67 39.6	73 43.2	10 5.9	11 6.5	1 0.6	6 3.6	1 0.6
70代以上	134 100.0	68 50.7	44 32.8	10 7.5	8 6.0	1 0.7	3 2.2	-
世帯構成								
単身世帯	35 100.0	14 40.0	9 25.7	4 11.4	6 17.1	1 2.9	1 2.9	-
夫婦のみ（一世代世帯）	194 100.0	76 39.2	78 40.2	13 6.7	16 8.2	3 1.5	7 3.6	1 0.5
親と子（二世代世帯）	413 100.0	155 37.5	144 34.9	50 12.1	25 6.1	11 2.7	27 6.5	1 0.2
親と子と孫（三世代世帯）	103 100.0	44 42.7	44 42.7	6 5.8	5 4.9	1 1.0	3 2.9	-
その他	13 100.0	4 30.8	6 46.2	1 7.7	1 7.7	-	1 7.7	-
居住地区								
増田地区	150 100.0	60 40.0	55 36.7	11 7.3	11 7.3	5 3.3	7 4.7	1 0.7
増田西地区	99 100.0	34 34.3	39 39.4	8 8.1	11 11.1	1 1.0	6 6.1	-
名取が丘地区	62 100.0	21 33.9	25 40.3	5 8.1	6 9.7	-	5 8.1	-
閑上地区	13 100.0	6 46.2	5 38.5	-	2 15.4	-	-	-
下増田地区	64 100.0	22 34.4	22 34.4	9 14.1	2 3.1	2 3.1	7 10.9	-
館腰地区	72 100.0	24 33.3	27 37.5	9 12.5	6 8.3	1 1.4	5 6.9	-
愛島地区	82 100.0	32 39.0	29 35.4	14 17.1	4 4.9	-	3 3.7	-
高館地区	61 100.0	26 42.6	20 32.8	9 14.8	3 4.9	1 1.6	2 3.3	-
ゆりが丘・みどり台地区	82 100.0	39 47.6	26 31.7	4 4.9	5 6.1	5 6.1	2 2.4	1 1.2
相互台地区	39 100.0	19 48.7	16 41.0	3 7.7	-	-	1 2.6	-
那智が丘地区	35 100.0	14 40.0	15 42.9	2 5.7	1 2.9	1 2.9	2 5.7	-

（4）居住地域での満足度

問6 お住まいの地域で、以下のようなことについてどの程度満足していますか。また、どの程度重要だと思いますか。（ア～ケのそれぞれについて、○は1つずつ）

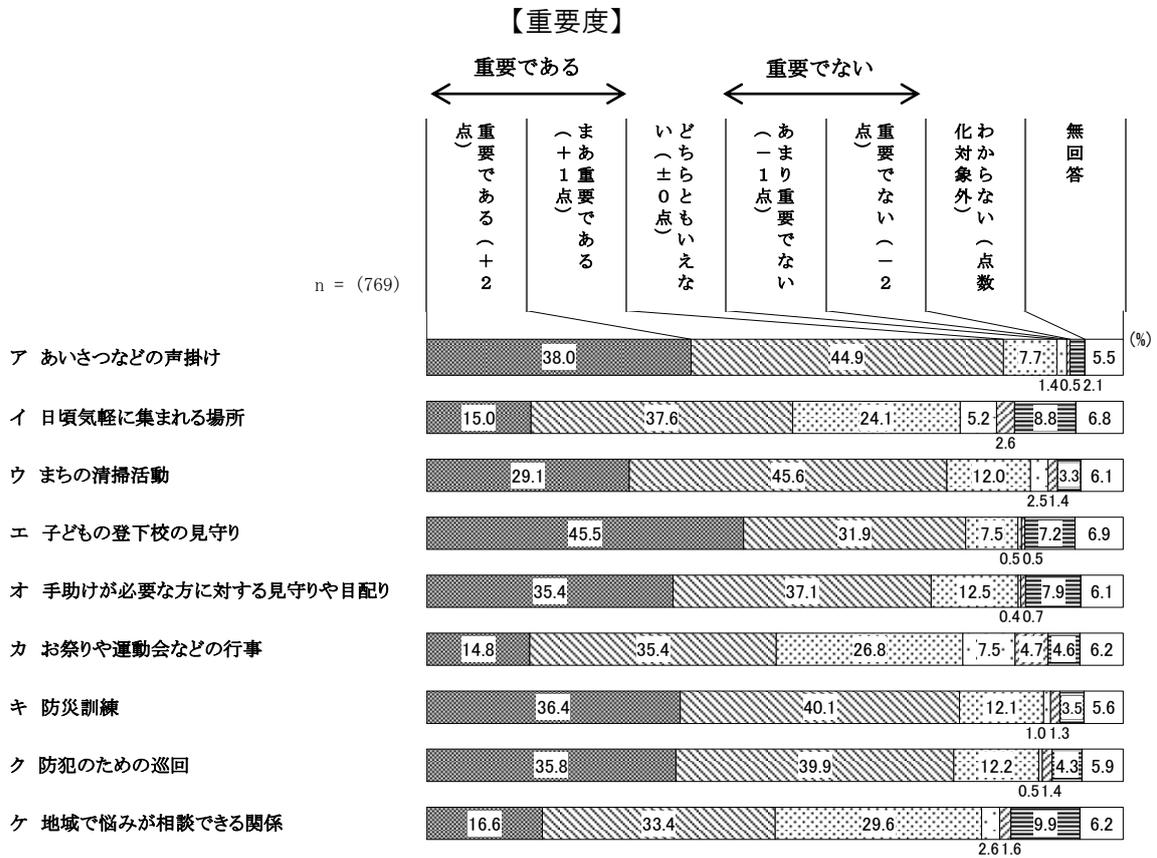


居住地域での満足度についてたずねたところ、“満足”の割合が高いのは『ア あいさつなどの声掛け』67.8%、以下『ウ まちの清掃活動』58.4%、『エ 子どもの登下校の見守り』44.2%、『カ お祭りや運動会などの行事』42.8%となっている。

また、『ケ 地域で悩みが相談できる関係』40.4%、『オ 手助けが必要な方に対する見守りや目配り』38.1%、『イ 日頃気軽に集まれる場所』33.6%、『ク 防犯のための巡回』33.4%では“どちらともいえない”が、『オ 手助けが必要な方に対する見守りや目配り』30.2%、『ケ 地域で悩みが相談できる関係』29.9%、『エ 子どもの登下校の見守り』25.2%、『イ 日頃気軽に集まれる場所』24.2%では“わからない”が多くを占めており、評価できない人の割合が高い。

（5）居住地域での重要度

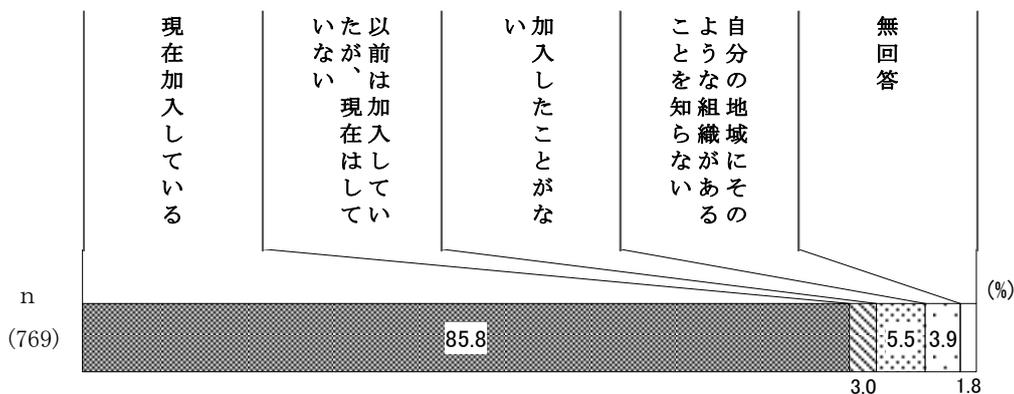
問6 お住まいの地域で、以下のようなことについてどの程度満足していますか。また、どの程度重要だと思いますか。（ア～ケのそれぞれについて、〇は1つずつ）



居住地域での重要度についてたずねたところ、“重要である”の割合が高いのは『ア あいさつなどの声掛け』82.9%、以下『エ 子どもの登下校の見守り』77.4%、『キ 防災訓練』76.5%、『ク 防犯のための巡回』75.7%、『ウ まちの清掃活動』74.7%、『オ 手助けが必要な方に対する見守りや目配り』72.5%となっている。

（6）町内会や自治会への加入状況

問7 町内会や自治会に加入していますか。（○は1つ）



町内会や自治会への加入状況についてたずねたところ、「現在加入している」が最も多く85.8%を占めており、以下「加入したことがない」5.5%、「自分の地域にそのような組織があることを知らない」3.9%、「以前は加入していたが、現在はしていない」3.0%となっている。

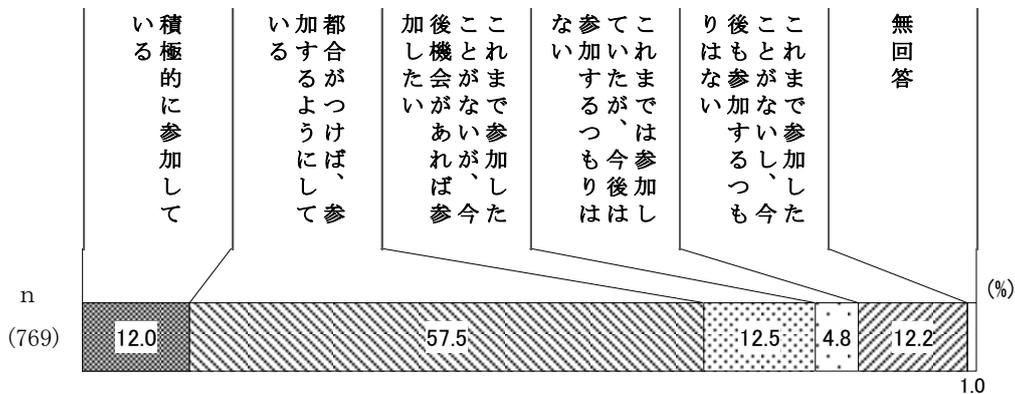
- 年齢（6区分）別にみると、10～20代、30代では「加入したことがない」「自分の地域にそのような組織があることを知らない」がほかの年代に比べて多くなっている。
- 世帯構成別にみると、単身世帯では「加入したことがない」「自分の地域にそのような組織があることを知らない」と回答した町内会や自治体に一度も加入したことがない人が28.5%とほかの世帯構成に比べて多くなっている。

【性・年齢（6区分）・世帯構成・居住地区別】

	調査数	現在加入している	以前は加入していたが、現在はし	加入したことがない	自分の地域にそのような組織があることを知らない	無回答
	上段：件数 下段：%					
全 体	769 100.0	660 85.8	23 3.0	42 5.5	30 3.9	14 1.8
性別						
男性	296 100.0	262 88.5	5 1.7	20 6.8	7 2.4	2 0.7
女性	410 100.0	345 84.1	12 2.9	20 4.9	23 5.6	10 2.4
年齢（6区分）						
10～20代	68 100.0	48 70.6	2 2.9	10 14.7	6 8.8	2 2.9
30代	115 100.0	85 73.9	3 2.6	12 10.4	11 9.6	4 3.5
40代	141 100.0	122 86.5	3 2.1	5 3.5	9 6.4	2 1.4
50代	132 100.0	121 91.7	4 3.0	4 3.0	1 0.8	2 1.5
60代	169 100.0	160 94.7	3 1.8	4 2.4	1 0.6	1 0.6
70代以上	134 100.0	117 87.3	6 4.5	6 4.5	2 1.5	3 2.2
世帯構成						
単身世帯	35 100.0	22 62.9	2 5.7	6 17.1	4 11.4	1 2.9
夫婦のみ（一世帯世帯）	194 100.0	167 86.1	2 1.0	10 5.2	12 6.2	3 1.5
親と子（二世帯世帯）	413 100.0	358 86.7	14 3.4	21 5.1	13 3.1	7 1.7
親と子と孫（三世帯世帯）	103 100.0	96 93.2	2 1.9	2 1.9	1 1.0	2 1.9
その他	13 100.0	11 84.6	-	1 7.7	-	1 7.7
居住地区						
増田地区	150 100.0	120 80.0	8 5.3	9 6.0	10 6.7	3 2.0
増田西地区	99 100.0	87 87.9	5 5.1	3 3.0	3 3.0	1 1.0
名取が丘地区	62 100.0	51 82.3	1 1.6	6 9.7	3 4.8	1 1.6
閑上地区	13 100.0	8 61.5	-	1 7.7	4 30.8	-
下増田地区	64 100.0	52 81.3	4 6.3	4 6.3	3 4.7	1 1.6
館腰地区	72 100.0	49 68.1	1 1.4	13 18.1	4 5.6	5 6.9
愛島地区	82 100.0	79 96.3	-	2 2.4	1 1.2	-
高館地区	61 100.0	56 91.8	-	2 3.3	-	3 4.9
ゆりが丘・みどり台地区	82 100.0	80 97.6	1 1.2	-	1 1.2	-
相互台地区	39 100.0	39 100.0	-	-	-	-
那智が丘地区	35 100.0	34 97.1	-	-	1 2.9	-

（7）町内会行事などの地域活動への参加

問8 お住まいの地域で、町内会行事などの地域活動に参加していますか。（○は1つ）



町内会行事などの地域活動への参加についてたずねたところ、「都合がつけば、参加するようにしている」が最も多く57.5%を占めており、以下「これまで参加したことがないが、今後機会があれば参加したい」12.5%、「これまで参加したことがないし、今後も参加するつもりはない」12.2%、「積極的に参加している」12.0%、「これまで参加していたが、今後は参加するつもりはない」4.8%となっている。

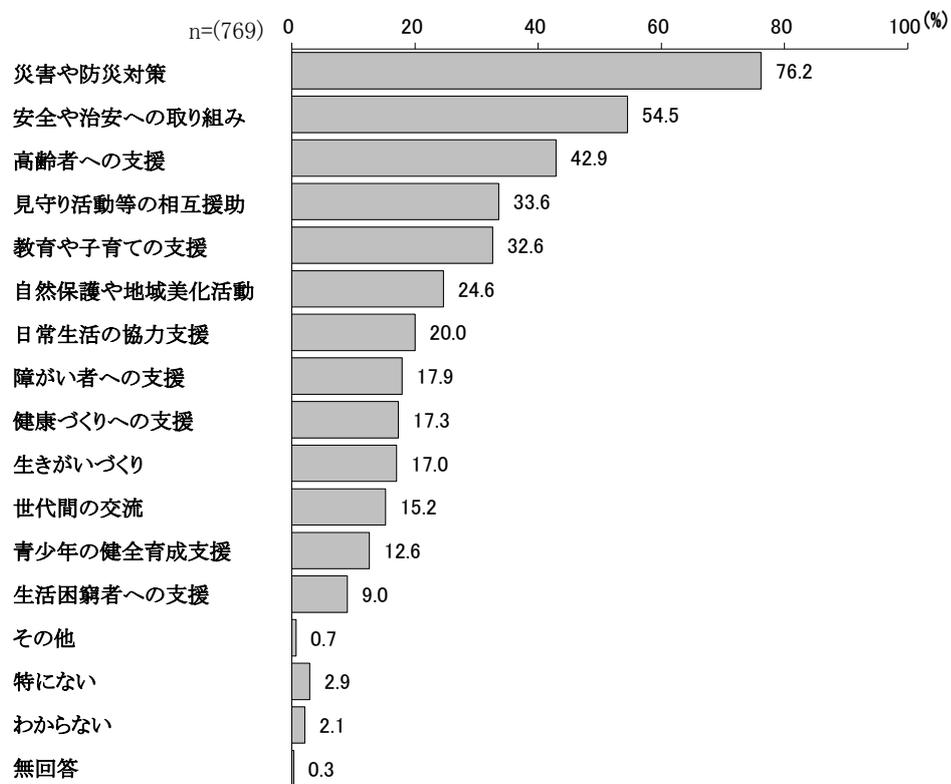
- 年齢（6区分）別にみると、おおむね年代が上がるほど「積極的に参加している」が多く、60代では20.7%、70代以上では19.4%となっている。
一方、10～20代、30代では「これまで参加したことがないし、今後も参加するつもりはない」が20～30%台とほかの年代に比べてやや多くなっている。
なお、30代では「これまで参加したことがないが、今後機会があれば参加したい」が22.6%とほかの年代に比べてやや多くなっている。
- 世帯構成別にみると、単身世帯では「これまで参加したことがないし、今後も参加するつもりはない」40.0%がほかの世帯構成に比べて多くなっている。

【性・年齢（6区分）・世帯構成・居住地区別】

	調査数	積極的に参加している	都合がつけば、参加するようにしている	今後機会があれば参加したいが、	これまで参加したことがないが、	今後参加するつもりはないが、	これまで参加したことがないし、	無回答
	上段：件数 下段：%							
全体	769 100.0	92 12.0	442 57.5	96 12.5	37 4.8	94 12.2	8 1.0	
性別								
男性	296 100.0	42 14.2	176 59.5	35 11.8	11 3.7	31 10.5	1 0.3	
女性	410 100.0	36 8.8	237 57.8	54 13.2	25 6.1	52 12.7	6 1.5	
年齢（6区分）								
10～20代	68 100.0	2 2.9	25 36.8	11 16.2	6 8.8	22 32.4	2 2.9	
30代	115 100.0	5 4.3	56 48.7	26 22.6	2 1.7	25 21.7	1 0.9	
40代	141 100.0	12 8.5	88 62.4	18 12.8	5 3.5	16 11.3	2 1.4	
50代	132 100.0	11 8.3	92 69.7	12 9.1	5 3.8	11 8.3	1 0.8	
60代	169 100.0	35 20.7	94 55.6	19 11.2	11 6.5	9 5.3	1 0.6	
70代以上	134 100.0	26 19.4	83 61.9	9 6.7	7 5.2	8 6.0	1 0.7	
世帯構成								
単身世帯	35 100.0	2 5.7	10 28.6	7 20.0	2 5.7	14 40.0	-	
夫婦のみ（一世代世帯）	194 100.0	33 17.0	108 55.7	26 13.4	2 1.0	22 11.3	3 1.5	
親と子（二世代世帯）	413 100.0	44 10.7	244 59.1	46 11.1	28 6.8	47 11.4	4 1.0	
親と子と孫（三世代世帯）	103 100.0	13 12.6	68 66.0	10 9.7	3 2.9	8 7.8	1 1.0	
その他	13 100.0	-	7 53.8	4 30.8	1 7.7	1 7.7	-	
居住地区								
増田地区	150 100.0	13 8.7	80 53.3	23 15.3	12 8.0	19 12.7	3 2.0	
増田西地区	99 100.0	12 12.1	45 45.5	15 15.2	9 9.1	18 18.2	-	
名取が丘地区	62 100.0	10 16.1	35 56.5	4 6.5	2 3.2	10 16.1	1 1.6	
閑上地区	13 100.0	-	6 46.2	5 38.5	1 7.7	-	1 7.7	
下増田地区	64 100.0	12 18.8	35 54.7	6 9.4	1 1.6	9 14.1	1 1.6	
館腰地区	72 100.0	10 13.9	28 38.9	19 26.4	3 4.2	12 16.7	-	
愛島地区	82 100.0	12 14.6	47 57.3	11 13.4	3 3.7	9 11.0	-	
高館地区	61 100.0	10 16.4	40 65.6	3 4.9	2 3.3	6 9.8	-	
ゆりが丘・みどり台地区	82 100.0	7 8.5	64 78.0	5 6.1	2 2.4	4 4.9	-	
相互台地区	39 100.0	2 5.1	29 74.4	4 10.3	1 2.6	2 5.1	1 2.6	
那智が丘地区	35 100.0	4 11.4	28 80.0	-	-	2 5.7	1 2.9	

（8）地域の役割や人が協力して取り組むにあたって必要なこと

問9 地域としての役割や地域の人が協力して取り組むことについて、特にどのようなことが必要だと思いますか。（○は5つまで）



地域の役割や人が協力して取り組むにあたって必要なことについてたずねたところ、「災害や防災対策」76.2%が最も多く、以下「安全や治安への取り組み」54.5%、「高齢者への支援」42.9%、「見守り活動等の相互援助」33.6%、「教育や子育ての支援」32.6%となっている。

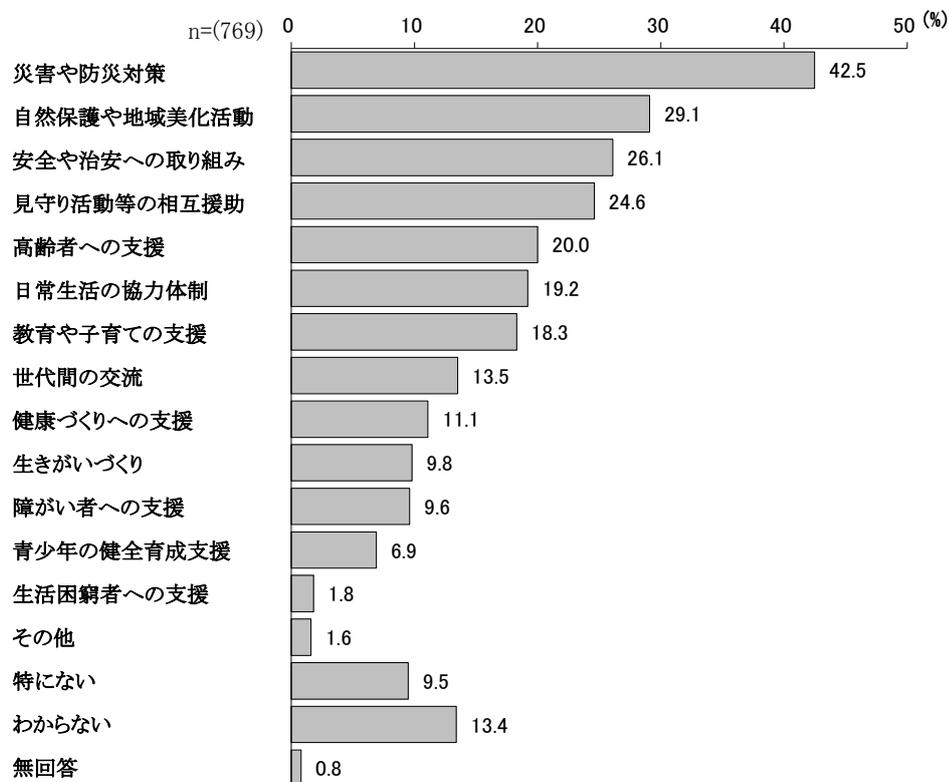
■ いずれの属性においても、「災害や防災対策」が最も多く60～80%台を占めている。

【性・年齢（6区分）・世帯構成・居住地区別】

	調査数	災害や防災対策	安全や治安への取り組み	高齢者への支援	見守り活動等の相互援助	教育や子育ての支援	自然保護や地域美化活動	日常生活の協力支援	障がい者への支援	健康づくりへの支援	生きがいがづくり	世代間の交流	青少年の健全育成支援	生活困窮者への支援	その他	特にな	わからない	無回答
	上段：件数 下段：%																	
全体	769 100.0	586 76.2	419 54.5	330 42.9	258 33.6	251 32.6	189 24.6	154 20.0	138 17.9	133 17.3	131 17.0	117 15.2	97 12.6	69 9.0	5 0.7	22 2.9	16 2.1	2 0.3
性別																		
男性	296 100.0	232 78.4	172 58.1	119 40.2	91 30.7	93 31.4	76 25.7	60 20.3	41 13.9	42 14.2	67 22.6	50 16.9	43 14.5	23 7.8	3 1.0	12 4.1	4 1.4	1 0.3
女性	410 100.0	307 74.9	216 52.7	183 44.6	148 36.1	131 32.0	95 23.2	87 21.2	82 20.0	79 19.3	57 13.9	57 13.9	46 11.2	41 10.0	2 0.5	9 2.2	9 2.2	1 0.2
年齢（6区分）																		
10～20代	68 100.0	50 73.5	37 54.4	20 29.4	22 32.4	32 47.1	16 23.5	11 16.2	13 19.1	8 11.8	13 19.1	11 16.2	1 1.5	11 16.2	-	1 1.5	2 2.9	-
30代	115 100.0	81 70.4	67 58.3	37 32.2	44 38.3	66 57.4	25 21.7	24 20.9	19 16.5	10 8.7	12 10.4	17 14.8	14 12.2	10 8.7	1 0.9	5 4.3	4 3.5	-
40代	141 100.0	115 81.6	80 56.7	53 37.6	59 41.8	58 41.1	35 24.8	27 19.1	28 19.9	16 11.3	14 9.9	15 10.6	16 11.3	10 7.1	2 1.4	3 2.1	4 2.8	-
50代	132 100.0	106 80.3	79 59.8	66 50.0	47 35.6	31 23.5	36 27.3	23 17.4	23 17.4	18 13.6	23 17.4	18 13.6	15 11.4	16 12.1	2 1.5	3 2.3	4 3.0	-
60代	169 100.0	141 83.4	89 52.7	74 43.8	47 27.8	38 22.5	48 28.4	27 16.0	23 13.6	40 23.7	35 20.7	21 12.4	24 14.2	15 8.9	-	5 3.0	2 1.2	-
70代以上	134 100.0	83 61.9	59 44.0	77 57.5	37 27.6	24 17.9	25 18.7	39 29.1	25 18.7	37 27.6	33 24.6	27 20.1	25 18.7	7 5.2	-	5 3.7	-	2 1.5
世帯構成																		
単身世帯	35 100.0	22 62.9	15 42.9	18 51.4	11 31.4	5 14.3	6 17.1	3 8.6	10 28.6	13 37.1	8 22.9	10 28.6	7 20.0	2 5.7	-	2 5.7	1 2.9	-
夫婦のみ（一世代世帯）	194 100.0	145 74.7	90 46.4	91 46.9	58 29.9	50 25.8	51 26.3	43 22.2	35 18.0	47 24.2	41 21.1	23 11.9	19 9.8	15 7.7	-	7 3.6	6 3.1	1 0.5
親と子（二世帯世帯）	413 100.0	320 77.5	239 57.9	169 40.9	151 36.6	145 35.1	104 25.2	85 20.6	72 17.4	53 12.8	55 13.3	62 15.0	50 12.1	41 9.9	5 1.2	12 2.9	6 1.5	-
親と子と孫（三世帯世帯）	103 100.0	78 75.7	63 61.2	42 40.8	31 30.1	45 43.7	21 20.4	17 16.5	16 15.5	15 14.6	24 23.3	20 19.4	20 19.4	10 9.7	-	-	3 2.9	1 1.0
その他	13 100.0	11 84.6	5 38.5	8 61.5	4 30.8	2 15.4	3 23.1	5 38.5	4 30.8	3 23.1	3 23.1	1 7.7	-	1 7.7	-	-	-	-
居住地区																		
増田地区	150 100.0	118 78.7	82 54.7	61 40.7	50 33.3	53 35.3	36 24.0	28 18.7	28 18.7	24 16.0	32 21.3	19 12.7	20 13.3	16 10.7	1 0.7	4 2.7	3 2.0	1 0.7
増田西地区	99 100.0	82 82.8	49 49.5	36 36.4	31 31.3	26 26.3	23 23.2	19 19.2	22 22.2	16 16.2	14 14.1	13 13.1	5 5.1	16 16.2	1 1.0	2 2.0	1 1.0	-
名取が丘地区	62 100.0	45 72.6	32 51.6	31 50.0	24 38.7	21 33.9	15 24.2	15 24.2	12 19.4	11 17.7	11 17.7	7 11.3	5 8.1	5 8.1	1 1.6	1 1.6	-	-
関上地区	13 100.0	11 84.6	4 30.8	7 53.8	4 30.8	6 46.2	3 23.1	1 7.7	3 23.1	5 38.5	1 7.7	4 30.8	1 7.7	1 7.7	-	-	1 7.7	-
下増田地区	64 100.0	53 82.8	37 57.8	25 39.1	26 40.6	34 53.1	14 21.9	11 17.2	12 18.8	11 17.2	11 17.2	8 12.5	8 12.5	4 6.3	-	2 3.1	-	-
館腰地区	72 100.0	51 70.8	40 55.6	32 44.4	25 34.7	20 27.8	14 19.4	16 22.2	16 22.2	12 16.7	13 18.1	12 16.7	13 18.1	7 9.7	-	4 5.6	2 2.8	-
愛島地区	82 100.0	55 67.1	37 45.1	37 45.1	25 30.5	20 24.4	23 28.0	14 17.1	17 20.7	17 20.7	13 15.9	14 17.1	8 9.8	8 9.8	-	3 3.7	3 3.7	-
高館地区	61 100.0	41 67.2	31 50.8	24 39.3	19 31.1	18 29.5	11 18.0	13 21.3	1 1.6	14 23.0	13 21.3	16 26.2	13 21.3	4 6.6	1 1.6	3 4.9	2 3.3	-
ゆりが丘・みどり台地区	82 100.0	71 86.6	53 64.6	37 45.1	29 35.4	29 35.4	22 26.8	16 19.5	11 13.4	9 11.0	12 14.6	12 14.6	11 13.4	3 3.7	1 1.2	3 3.7	-	-
相互台地区	39 100.0	30 76.9	26 66.7	17 43.6	13 33.3	15 38.5	11 28.2	7 17.9	5 12.8	6 15.4	7 17.9	4 10.3	7 17.9	3 7.7	-	-	1 2.6	1 2.6
那智が丘地区	35 100.0	22 62.9	21 60.0	19 54.3	10 28.6	7 20.0	13 37.1	11 31.4	7 20.0	4 11.4	4 11.4	5 14.3	5 14.3	2 5.7	-	-	3 8.6	-

（9）地域の役割や人が協力して取り組むことで、自分ができると思うこと

問10 地域としての役割や地域の人が協力して取り組むことについて、自分はどのようなことに参加や手助けができますか。（○は5つまで）



地域の役割や人が協力して取り組むことで、自分ができると思うことについてたずねたところ、「災害や防災対策」42.5%が最も多く、以下「自然保護や地域美化活動」29.1%、「安全や治安への取り組み」26.1%、「見守り活動等の相互援助」24.6%、「高齢者への支援」20.0%となっている。

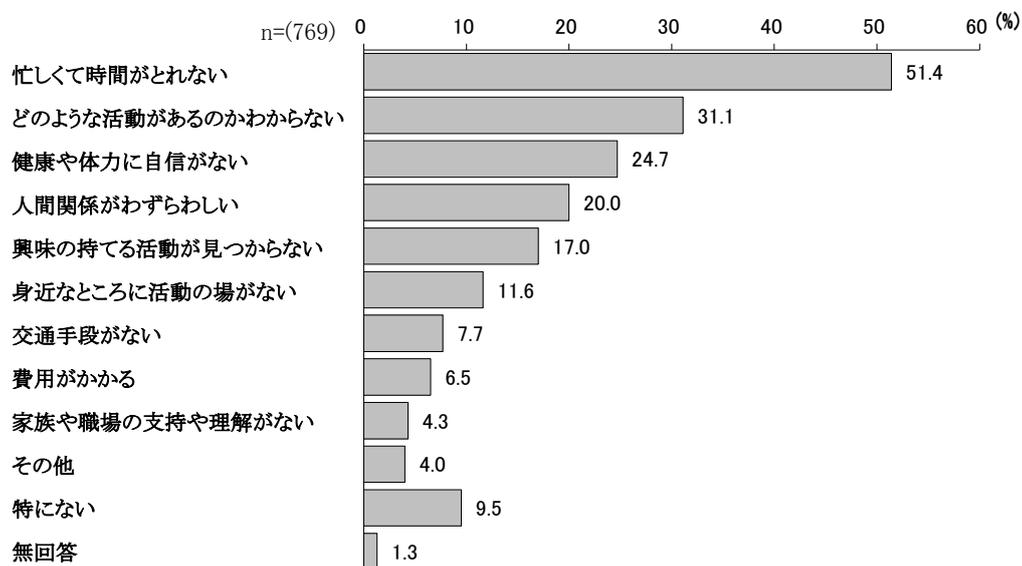
- 性別にみると、男性では「災害や防災対策」「安全や治安への取り組み」が女性を大きく上回っている。
一方、女性では「高齢者への支援」「教育や子育ての支援」「健康づくりへの支援」「障がい者への支援」などで男性に比べて多くなっている。
- 年齢（6区分）別にみると、おおむね年代が上がるほど「高齢者への支援」「日常生活の協力的体制」が多くなっている。
また、30代、40代では「教育や子育ての支援」が20～30%台と多くなっている。
なお、10～20代、30代では「わからない」が20%以上と多くなっている。

【性・年齢（6区分）・世帯構成・居住地区別】

	調査数	災害や防災対策	自然保護や地域美化活動	安全や治安への取り組み	見守り活動等の相互援助	高齢者への支援	日常生活の協力的体制	教育や子育ての支援	世代間の交流	健康づくりへの支援	生きがいづくり	障がい者への支援	青少年の健全育成支援	生活困窮者への支援	その他	特にな	わからない	無回答
全体	769 100.0	327 42.5	224 29.1	201 26.1	189 24.6	154 20.0	148 19.2	141 18.3	104 13.5	85 11.1	75 9.8	74 9.6	53 6.9	14 1.8	12 1.6	73 9.5	103 13.4	6 0.8
性別																		
男性	296 100.0	156 52.7	95 32.1	101 34.1	79 26.7	55 18.6	57 19.3	42 14.2	43 14.5	28 9.5	35 11.8	26 8.8	21 7.1	7 2.4	2 0.7	29 9.8	31 10.5	2 0.7
女性	410 100.0	141 34.4	113 27.6	82 20.0	96 23.4	85 20.7	78 19.0	85 20.7	53 12.9	48 11.7	35 8.5	41 10.0	26 6.3	6 1.5	8 2.0	41 10.0	65 15.9	3 0.7
年齢（6区分）																		
10～20代	68 100.0	23 33.8	16 23.5	14 20.6	10 14.7	8 11.8	8 11.8	13 19.1	8 11.8	3 4.4	4 5.9	7 10.3	1 1.5	-	-	9 13.2	17 25.0	-
30代	115 100.0	37 32.2	33 28.7	25 21.7	29 25.2	14 12.2	16 13.9	43 37.4	19 16.5	9 7.8	6 5.2	8 7.0	6 5.2	2 1.7	1 0.9	13 11.3	24 20.9	-
40代	141 100.0	73 51.8	37 26.2	37 26.2	41 29.1	20 14.2	24 17.0	36 25.5	19 13.5	10 7.1	4 2.8	10 7.1	8 5.7	1 0.7	1 0.7	11 7.8	20 14.2	-
50代	132 100.0	64 48.5	41 31.1	41 31.1	34 25.8	27 20.5	30 22.7	17 12.9	16 12.1	11 8.3	15 11.4	18 13.6	10 7.6	4 3.0	3 2.3	9 6.8	15 11.4	-
60代	169 100.0	79 46.7	59 34.9	49 29.0	45 26.6	42 24.9	32 18.9	13 7.7	14 8.3	23 13.6	22 13.0	18 10.7	14 8.3	4 2.4	2 1.2	15 8.9	18 10.7	-
70代以上	134 100.0	45 33.6	35 26.1	31 23.1	28 20.9	41 30.6	35 26.1	15 11.2	27 20.1	28 20.9	22 16.4	13 9.7	12 9.0	3 2.2	5 3.7	14 10.4	9 6.7	6 4.5
世帯構成																		
単身世帯	35 100.0	11 31.4	3 8.6	9 25.7	12 34.3	7 20.0	6 17.1	3 8.6	7 20.0	4 11.4	8 22.9	3 8.6	3 8.6	-	2 5.7	7 20.0	3 8.6	-
夫婦のみ（一世代世帯）	194 100.0	94 48.5	61 31.4	50 25.8	43 22.2	49 25.3	38 19.6	23 11.9	32 16.5	31 16.0	24 12.4	23 11.9	14 7.2	4 2.1	-	15 7.7	24 12.4	2 1.0
親と子（二世代世帯）	413 100.0	170 41.2	125 30.3	107 25.9	101 24.5	64 15.5	78 18.9	87 21.1	43 10.4	39 9.4	32 7.7	35 8.5	26 6.3	9 2.2	6 1.5	43 10.4	60 14.5	1 0.2
親と子と孫（三世代世帯）	103 100.0	42 40.8	29 28.2	31 30.1	29 28.2	28 27.2	22 21.4	23 22.3	21 20.4	9 8.7	9 8.7	8 7.8	8 7.8	1 1.0	3 2.9	5 4.9	12 11.7	3 2.9
その他	13 100.0	4 30.8	2 15.4	1 7.7	1 7.7	4 30.8	3 23.1	1 7.7	-	2 15.4	1 7.7	3 23.1	-	-	1 7.7	1 7.7	3 23.1	-
居住地区																		
増田地区	150 100.0	53 35.3	37 24.7	37 24.7	33 22.0	24 16.0	19 12.7	26 17.3	20 13.3	19 12.7	17 11.3	10 6.7	12 8.0	3 2.0	2 1.3	18 12.0	28 18.7	2 1.3
増田西地区	99 100.0	44 44.4	31 31.3	26 26.3	22 22.2	15 15.2	21 21.2	16 16.2	13 13.1	9 9.1	6 6.1	11 11.1	2 2.0	2 2.0	5 5.1	19 19.2	1 1.0	
名取が丘地区	62 100.0	30 48.4	14 22.6	15 24.2	12 19.4	18 29.0	15 24.2	6 9.7	9 14.5	7 11.3	10 16.1	11 17.7	3 4.8	2 3.2	-	7 11.3	6 9.7	-
関上地区	13 100.0	6 46.2	2 15.4	2 15.4	1 7.7	3 23.1	2 15.4	1 7.7	1 7.7	2 15.4	1 7.7	1 7.7	1 7.7	-	1 7.7	2 15.4	2 15.4	-
下増田地区	64 100.0	30 46.9	21 32.8	19 29.7	16 25.0	10 15.6	9 14.1	18 28.1	12 18.8	6 9.4	6 9.4	4 6.3	4 6.3	1 1.6	-	7 10.9	8 12.5	-
館腰地区	72 100.0	27 37.5	15 20.8	16 22.2	16 22.2	16 22.2	17 23.6	14 19.4	10 13.9	6 8.3	8 11.1	7 9.7	5 6.9	1 1.4	-	11 15.3	11 15.3	-
愛島地区	82 100.0	34 41.5	27 32.9	15 18.3	29 35.4	20 24.4	15 18.3	12 14.6	7 8.5	7 8.5	6 7.3	10 12.2	4 4.9	3 3.7	2 2.4	7 8.5	5 6.1	1 1.2
高館地区	61 100.0	26 42.6	21 34.4	19 31.1	15 24.6	11 18.0	17 27.9	14 23.0	11 18.0	10 16.4	6 9.8	1 1.6	7 11.5	1 1.6	2 3.3	7 11.5	6 9.8	-
ゆりが丘・みどり台地区	82 100.0	42 51.2	30 36.6	30 36.6	32 39.0	17 20.7	19 23.2	17 20.7	12 14.6	10 12.2	6 7.3	7 8.5	8 9.8	-	1 1.2	7 8.5	7 8.5	1 1.2
相互台地区	39 100.0	19 48.7	13 33.3	12 30.8	8 20.5	8 20.5	5 12.8	12 30.8	6 15.4	5 12.8	2 5.1	6 15.4	3 7.7	1 2.6	1 2.6	7 17.7	3 7.7	1 2.6
那智が丘地区	35 100.0	13 37.1	11 31.4	8 22.9	3 8.6	10 28.6	7 20.0	2 5.7	2 5.7	3 8.6	5 14.3	5 14.3	2 5.7	-	1 2.9	2 5.7	7 22.9	-

（10）活動に参加するうえで、支障になること

問11 地域活動に参加するうえで、支障になることがありますか。（○はいくつでも）



活動に参加するうえで、支障になることについてたずねたところ、「忙しくて時間がとれない」51.4%が最も多く、以下「どのような活動があるのかわからない」31.1%、「健康や体力に自信がない」24.7%、「人間関係がわずらわしい」20.0%、「興味を持てる活動が見つからない」17.0%となっている。

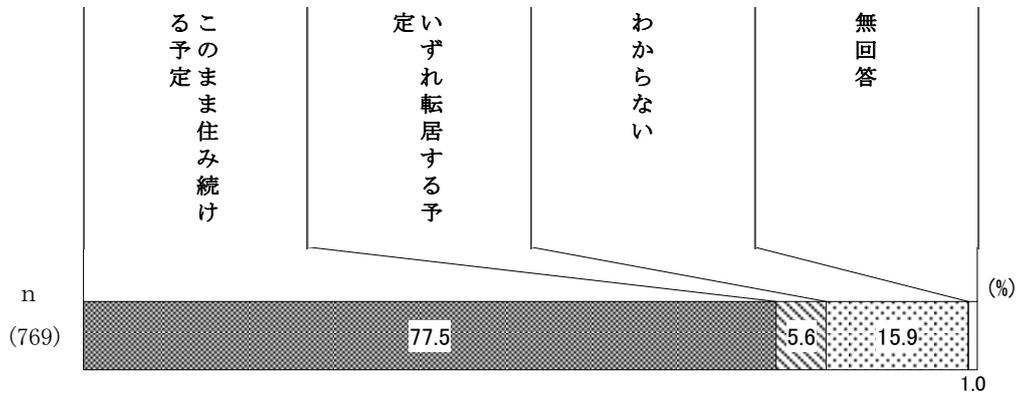
- 性別にみると、女性では「健康や体力に自信がない」「人間関係がわずらわしい」「身近なところに活動の場がない」「交通手段がない」が男性を上回っている。
- 年齢（6区分）別にみると、10～20代、30代、40代、50代では「忙しくて時間がとれない」が60～70%台を、70代以上では「健康や体力に自信がない」が53.7%を占めている。
また、60代では「どのような活動があるのかわからない」35.5%が最も多く、次いで「忙しくて時間がとれない」34.9%、「健康や体力に自信がない」30.2%となっている。
10～20代では「費用がかかる」14.7%がほかの年代に比べてやや多くなっている。
- 世帯構成別にみると、世帯構成が小規模になるほど「どのような活動があるのかわからない」が多くなっており、単身世帯では45.7%となっている。

【性・年齢（6区分）・世帯構成・居住地区別】

	調査数	忙しくて時間がとれない	などのような活動があるのかわからない	健康や体力に自信がない	人間関係がわずらわしい	興味の持てる活動が見つからない	身近なところに活動の場がない	交通手段がない	費用がかかる	家族や職場の支持や理解がない	その他	特にない	無回答
全体	769 100.0	395 51.4	239 31.1	190 24.7	154 20.0	131 17.0	89 11.6	59 7.7	50 6.5	33 4.3	31 4.0	73 9.5	10 1.3
性別													
男性	296 100.0	162 54.7	96 32.4	65 22.0	49 16.6	52 17.6	33 11.1	6 2.0	22 7.4	14 4.7	6 2.0	32 10.8	3 1.0
女性	410 100.0	208 50.7	129 31.5	108 26.3	97 23.7	70 17.1	52 12.7	48 11.7	21 5.1	18 4.4	21 5.1	35 8.5	2 0.5
年齢（6区分）													
10～20代	68 100.0	45 66.2	26 38.2	9 13.2	18 26.5	12 17.6	11 16.2	5 7.4	10 14.7	1 1.5	1 1.5	7 10.3	-
30代	115 100.0	80 69.6	39 33.9	10 8.7	32 27.8	17 14.8	7 6.1	4 3.5	8 7.0	10 8.7	6 5.2	6 5.2	1 0.9
40代	141 100.0	103 73.0	44 31.2	21 14.9	31 22.0	20 14.2	6 4.3	5 3.5	9 6.4	6 4.3	4 2.8	10 7.1	-
50代	132 100.0	88 66.7	33 25.0	26 19.7	27 20.5	18 13.6	15 11.4	6 4.5	9 6.8	6 4.5	7 5.3	10 7.6	-
60代	169 100.0	59 34.9	60 35.5	51 30.2	30 17.8	32 18.9	21 12.4	18 10.7	7 4.1	7 4.1	7 4.1	18 10.7	3 1.8
70代以上	134 100.0	17 12.7	34 25.4	72 53.7	16 11.9	30 22.4	28 20.9	19 14.2	7 5.2	3 2.2	5 3.7	19 14.2	5 3.7
世帯構成													
単身世帯	35 100.0	16 45.7	16 45.7	12 34.3	7 20.0	9 25.7	11 31.4	9 25.7	5 14.3	5 14.3	1 2.9	2 5.7	-
夫婦のみ（一世代世帯）	194 100.0	75 38.7	70 36.1	50 25.8	31 16.0	35 18.0	30 15.5	16 8.2	12 6.2	5 2.6	5 2.6	21 10.8	6 3.1
親と子（二世代世帯）	413 100.0	242 58.6	124 30.0	94 22.8	90 21.8	68 16.5	30 7.3	23 5.6	27 6.5	18 4.4	17 4.1	34 8.2	2 0.5
親と子と孫（三世代世帯）	103 100.0	54 52.4	24 23.3	28 27.2	22 21.4	14 13.6	15 14.6	9 8.7	4 3.9	5 4.9	6 5.8	10 9.7	1 1.0
その他	13 100.0	3 23.1	3 23.1	4 30.8	3 23.1	5 38.5	3 23.1	2 15.4	2 15.4	-	1 7.7	3 23.1	-
居住地区													
増田地区	150 100.0	70 46.7	54 36.0	34 22.7	29 19.3	20 13.3	13 8.7	13 8.7	8 5.3	4 2.7	10 6.7	15 10.0	1 0.7
増田西地区	99 100.0	52 52.5	33 33.3	25 25.3	23 23.2	24 24.2	9 9.1	7 7.1	7 7.1	4 4.0	3 3.0	3 3.0	2 2.0
名取が丘地区	62 100.0	30 48.4	15 24.2	19 30.6	14 22.6	11 17.7	5 8.1	5 8.1	2 3.2	3 4.8	4 6.5	9 14.5	1 1.6
閑上地区	13 100.0	6 46.2	7 53.8	7 53.8	-	3 23.1	5 38.5	5 38.5	1 7.7	-	-	1 7.7	-
下増田地区	64 100.0	30 46.9	16 25.0	19 29.7	11 17.2	7 10.9	5 7.8	4 6.3	4 6.3	1 1.6	3 4.7	5 7.8	1 1.6
館腰地区	72 100.0	41 56.9	21 29.2	17 23.6	17 23.6	10 13.9	11 15.3	9 12.5	4 5.6	3 4.2	2 2.8	7 9.7	-
愛島地区	82 100.0	37 45.1	27 32.9	18 22.0	10 12.2	9 11.0	15 18.3	3 3.7	6 7.3	4 4.9	1 1.2	12 14.6	1 1.2
高館地区	61 100.0	40 65.6	21 34.4	14 23.0	19 31.1	16 26.2	11 18.0	4 6.6	7 11.5	7 11.5	2 3.3	4 6.6	-
ゆりが丘・みどり台地区	82 100.0	47 57.3	27 32.9	20 24.4	17 20.7	16 19.5	9 11.0	4 4.9	7 8.5	5 6.1	1 1.2	8 9.8	-
相互台地区	39 100.0	18 46.2	10 25.6	8 20.5	3 7.7	11 28.2	5 12.8	2 5.1	2 5.1	1 2.6	2 5.1	3 7.7	3 7.7
那智が丘地区	35 100.0	21 60.0	4 11.4	7 20.0	10 28.6	2 5.7	-	2 5.7	1 2.9	-	2 5.7	4 11.4	-

（11）名取市への定住意向

問12 今後も名取市に住み続ける予定ですか。（○は1つ）



名取市への定住意向についてたずねたところ、「このまま住み続ける予定」が最も多く 77.5% を占めており、以下「いずれ転居する予定」5.6%となっている。

- 年齢（6区分）別にみると、おおむね年代が上がるほど定住意向が高く、70代以上では「このまま住み続ける予定」が91.0%を占めている。
なお、「わからない」は10～20代、30代の若い世代で多くなっている。
- 世帯構成別にみると、多世代世帯ほど定住意向が高く、親と子と孫（三世代世帯）では「このまま住み続ける予定」が94.2%を占めている。
一方、単身世帯では「いずれ転居する予定」14.3%がほかの年代に比べて多くなっている。

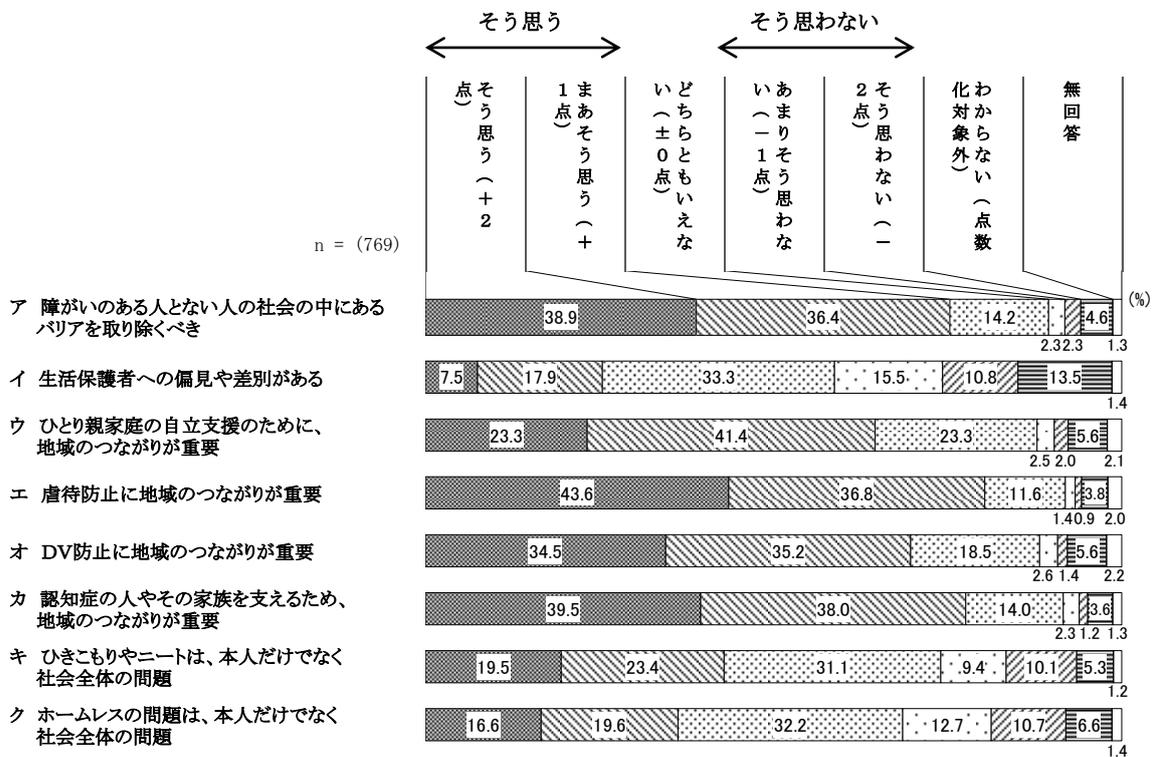
【性・年齢（6区分）・世帯構成・居住地区別】

	調査数	このまま住み続ける予定	いずれ転居する予定	わからない	無回答
全体	769	596	43	122	8
上段：件数 下段：%	100.0	77.5	5.6	15.9	1.0
性別					
男性	296	233	17	44	2
	100.0	78.7	5.7	14.9	0.7
女性	410	313	24	68	5
	100.0	76.3	5.9	16.6	1.2
年齢（6区分）					
10～20代	68	35	9	23	1
	100.0	51.5	13.2	33.8	1.5
30代	115	75	11	29	-
	100.0	65.2	9.6	25.2	-
40代	141	112	11	18	-
	100.0	79.4	7.8	12.8	-
50代	132	104	5	22	1
	100.0	78.8	3.8	16.7	0.8
60代	169	142	5	21	1
	100.0	84.0	3.0	12.4	0.6
70代以上	134	122	1	6	5
	100.0	91.0	0.7	4.5	3.7
世帯構成					
単身世帯	35	23	5	6	1
	100.0	65.7	14.3	17.1	2.9
夫婦のみ（一世帯世帯）	194	141	10	41	2
	100.0	72.7	5.2	21.1	1.0
親と子（二世帯世帯）	413	316	25	69	3
	100.0	76.5	6.1	16.7	0.7
親と子と孫（三世代世帯）	103	97	3	3	-
	100.0	94.2	2.9	2.9	-
その他	13	11	-	1	1
	100.0	84.6	-	7.7	7.7
居住地区					
増田地区	150	119	11	19	1
	100.0	79.3	7.3	12.7	0.7
増田西地区	99	76	7	15	1
	100.0	76.8	7.1	15.2	1.0
名取が丘地区	62	46	5	10	1
	100.0	74.2	8.1	16.1	1.6
閑上地区	13	11	-	2	-
	100.0	84.6	-	15.4	-
下増田地区	64	50	3	9	2
	100.0	78.1	4.7	14.1	3.1
館腰地区	72	54	7	11	-
	100.0	75.0	9.7	15.3	-
愛島地区	82	74	2	6	-
	100.0	90.2	2.4	7.3	-
高館地区	61	50	3	8	-
	100.0	82.0	4.9	13.1	-
ゆりが丘・みどり台地区	82	59	1	20	2
	100.0	72.0	1.2	24.4	2.4
相互台地区	39	28	1	9	1
	100.0	71.8	2.6	23.1	2.6
那智が丘地区	35	23	3	9	-
	100.0	65.7	8.6	25.7	-

3. 地域福祉の考え方について

（1）地域福祉の考え方への共感度

問13 次のような考え方についてどう思いますか。（ア〜クについて、○は1つずつ）



地域福祉の考え方への共感度についてたずねたところ、“そう思う”の割合が高い考えは『エ 虐待防止に地域のつながりが重要』80.4%、『カ 認知症の人やその家族を支えるため、地域のつながりが重要』77.5%、『ア 障がいのある人とない人の社会の中にあるバリアを取り除くべき』75.3%、『オ DV防止に地域のつながりが重要』69.7%、『ウ ひとり親家庭の自立支援のために、地域のつながりが重要』64.7%となっている。

一方、“そう思わない”の割合が高い考えは『イ 生活保護者への偏見や差別がある』26.3%、『ク ホームレスの問題は、本人だけでなく社会全体の問題』23.4%、『キ ひきこもりやニートは、本人だけでなく社会全体の問題』19.5%となっている。

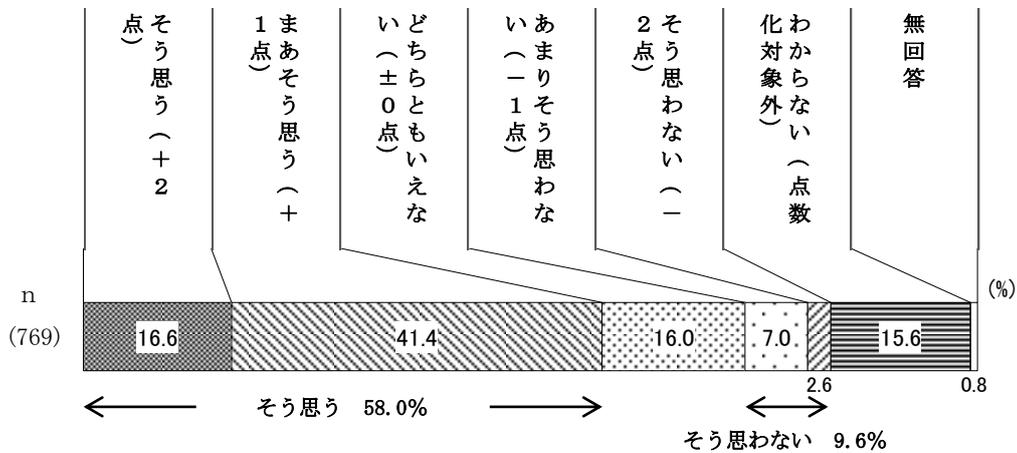
また、“そう思わない”の割合が高い上位3位の考えは“どちらともいえない”の割合についても同様に高くなっている。

用語の説明

DV（ドメスティックバイオレンス）	配偶者や恋人など親密な関係にある、またはあった者から振るわれる暴力のことをいいます。
-------------------	--

（2）「地域共生社会の実現」という考えへの共感度

問 14 「地域共生社会の実現」という考え方について、共感できますか。（○は1つ）



「地域共生社会の実現」という考えへの共感度についてたずねたところ、「まあそう思う (+1点)」41.4%が最も多く、以下「そう思う (+2点)」16.6%、「どちらともいえない (±0点)」16.0%、「あまりそう思わない (-1点)」7.0%となっている。

なお、「わからない (点数化対象外)」は15.6%となっている。

「地域共生社会の実現」という考えへ共感した“そう思う”派は58.0%と“そう思わない”派9.6%を上回っている。

用語の説明

<p>地域共生社会の実現</p>	<p>「制度・分野ごとの『縦割り』や『支え手』『受け手』という関係を越えて、地域住民や地域の多様な主体が参画し、人と人、人と資源が世代や分野を越えつながることで、住民一人ひとりの暮らしと生きがい、地域をともに創っていく社会を目指す」という考え方です。</p>
-------------------------	---

- 居住地区別にみると、共感度の平均が高い地区は相互台地区の0.97、那智が丘地区の0.93、閑上地区、下増田地区の0.91となっている。

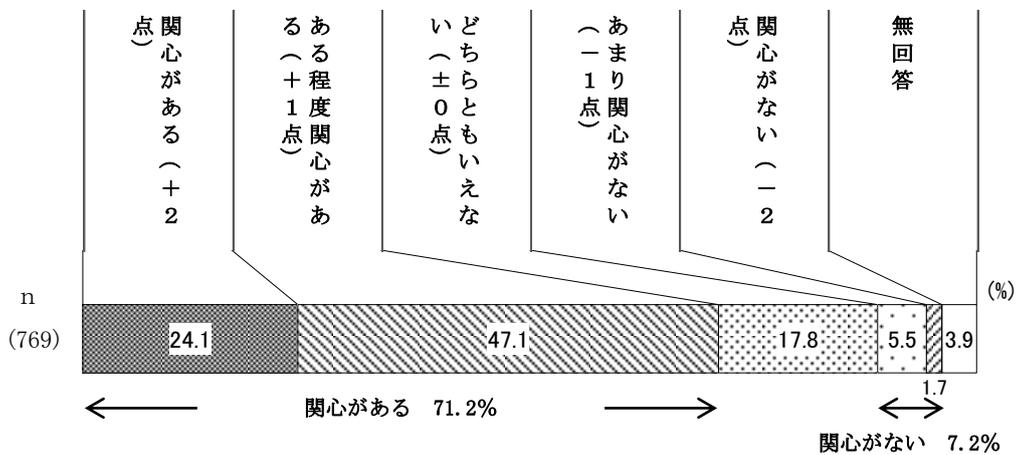
【性・年齢（6区分）・世帯構成・居住地区別】

	調査数	そう思う（＋2点）	まあそう思う（＋1点）	どちらともいえない（±0点）	あまりそう思わない（－1点）	そう思わない（－2点）	わからない（点数化対象外）	無回答	【上段】合計 【下段】平均
上段：件数 下段：%									
全体	769 100.0	128 16.6	318 41.4	123 16.0	54 7.0	20 2.6	120 15.6	6 0.8	480 0.75
性別									
男性	296 100.0	51 17.2	126 42.6	54 18.2	20 6.8	10 3.4	35 11.8	- -	188 0.72
女性	410 100.0	67 16.3	166 40.5	60 14.6	29 7.1	8 2.0	74 18.0	6 1.5	255 0.77
年齢（6区分）									
10～20代	68 100.0	9 13.2	34 50.0	6 8.8	1 1.5	2 2.9	15 22.1	1 1.5	47 0.90
30代	115 100.0	13 11.3	47 40.9	16 13.9	8 7.0	8 7.0	23 20.0	- -	49 0.53
40代	141 100.0	20 14.2	57 40.4	31 22.0	15 10.6	2 1.4	16 11.3	- -	78 0.62
50代	132 100.0	28 21.2	53 40.2	23 17.4	7 5.3	3 2.3	16 12.1	2 1.5	96 0.84
60代	169 100.0	26 15.4	69 40.8	32 18.9	14 8.3	2 1.2	26 15.4	- -	103 0.72
70代以上	134 100.0	31 23.1	52 38.8	13 9.7	8 6.0	3 2.2	24 17.9	3 2.2	100 0.93
世帯構成									
単身世帯	35 100.0	5 14.3	10 28.6	9 25.7	2 5.7	4 11.4	5 14.3	- -	10 0.33
夫婦のみ（一世帯世帯）	194 100.0	36 18.6	83 42.8	37 19.1	7 3.6	3 1.5	26 13.4	2 1.0	142 0.86
親と子（二世帯世帯）	413 100.0	66 16.0	166 40.2	61 14.8	39 9.4	9 2.2	70 16.9	2 0.5	241 0.71
親と子と孫（三世帯世帯）	103 100.0	19 18.4	49 47.6	12 11.7	5 4.9	3 2.9	14 13.6	1 1.0	76 0.86
その他	13 100.0	1 7.7	5 38.5	3 23.1	- -	- -	3 23.1	1 7.7	7 0.78
居住地区									
増田地区	150 100.0	23 15.3	56 37.3	24 16.0	12 8.0	7 4.7	26 17.3	2 1.3	76 0.62
増田西地区	99 100.0	15 15.2	37 37.4	15 15.2	13 13.1	2 2.0	15 15.2	2 2.0	50 0.61
名取が丘地区	62 100.0	6 9.7	29 46.8	9 14.5	4 6.5	2 3.2	12 19.4	- -	33 0.66
閑上地区	13 100.0	3 23.1	4 30.8	4 30.8	- -	- -	2 15.4	- -	10 0.91
下増田地区	64 100.0	12 18.8	25 39.1	15 23.4	1 1.6	- -	10 15.6	1 1.6	48 0.91
館腰地区	72 100.0	14 19.4	32 44.4	11 15.3	4 5.6	2 2.8	9 12.5	- -	52 0.83
愛島地区	82 100.0	16 19.5	33 40.2	10 12.2	8 9.8	3 3.7	11 13.4	1 1.2	51 0.73
高館地区	61 100.0	10 16.4	24 39.3	10 16.4	4 6.6	1 1.6	12 19.7	- -	38 0.78
ゆりが丘・みどり台地区	82 100.0	14 17.1	38 46.3	16 19.5	3 3.7	1 1.2	10 12.2	- -	61 0.85
相互台地区	39 100.0	8 20.5	19 48.7	4 10.3	1 2.6	1 2.6	6 15.4	- -	32 0.97
那智が丘地区	35 100.0	7 20.0	17 48.6	3 8.6	3 8.6	- -	5 14.3	- -	28 0.93

4. 福祉への関心について

(1) 「福祉」への関心度

問15 「福祉」に関心がありますか。（○は1つ）



「福祉」への関心度についてたずねたところ、「ある程度関心がある (+1点)」47.1%が最も多く、以下「関心がある (+2点)」24.1%、「どちらともいえない (±0点)」17.8%、「あまり関心がない (-1点)」5.5%となっている。

「福祉」への“関心がある”派は71.2%と“関心がない”派7.2%を上回っている。

- 年齢（6区分）別にみると、おおむね年代が上がるほど“関心がある”派が多く、70代以上では75.4%となっている。
- 世帯構成別にみると、単身世帯では“関心がない”派が20.0%とほかの世帯構成に比べて多くなっている。

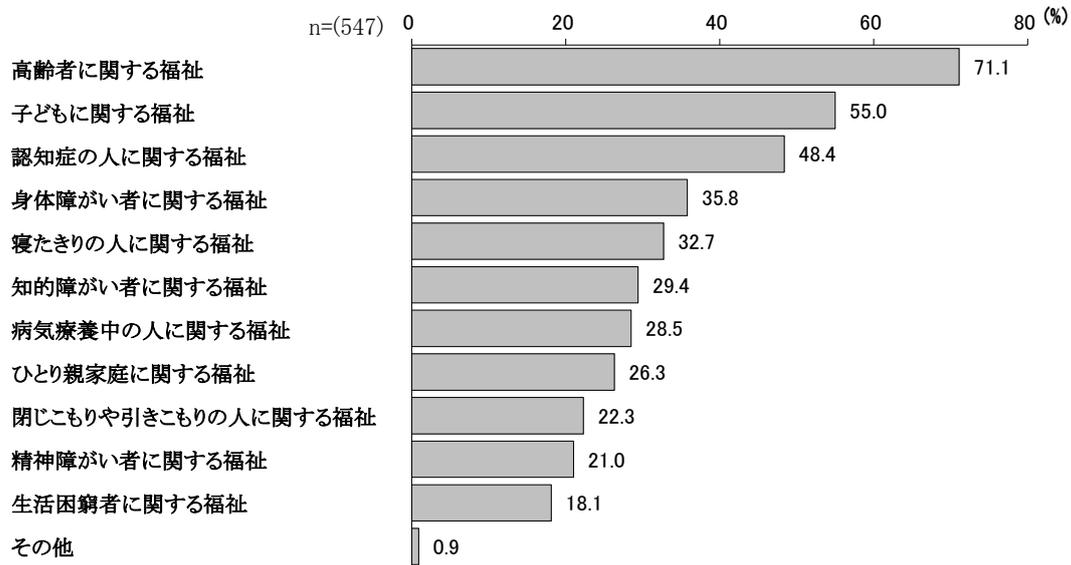
【性・年齢（6区分）・世帯構成・居住地区別】

	調査数	関心がある (+2点)	ある程度関心がある (+1点)	どちらともいえない (±0点)	あまり関心がない (-1点)	関心がない (-2点)	無回答	【上段】 合計 【下段】 平均
全体	769	185	362	137	42	13	30	664 0.90
上段：件数 下段：%								
性別								
男性	296	64	144	54	17	6	11	243 0.85
女性	410	102	194	70	22	6	16	364 0.92
年齢（6区分）								
10～20代	68	13	29	14	6	3	3	43 0.66
30代	115	26	44	27	12	4	2	76 0.67
40代	141	32	64	35	7	3	-	115 0.82
50代	132	32	67	22	5	1	5	124 0.98
60代	169	42	90	24	5	1	7	167 1.03
70代以上	134	38	63	14	6	1	12	131 1.07
世帯構成								
単身世帯	35	9	12	3	6	1	4	22 0.71
夫婦のみ（一世帯世帯）	194	53	89	34	6	3	9	183 0.99
親と子（二世帯世帯）	413	89	206	80	22	7	9	348 0.86
親と子と孫（三世帯世帯）	103	29	46	16	6	1	5	96 0.98
その他	13	4	5	2	1	-	1	12 1.00
居住地区								
増田地区	150	40	67	25	8	3	7	133 0.93
増田西地区	99	16	47	22	6	1	7	71 0.77
名取が丘地区	62	20	33	6	1	1	1	70 1.15
閑上地区	13	2	7	2	2	-	-	9 0.69
下増田地区	64	13	31	13	5	-	2	52 0.84
館腰地区	72	20	28	20	4	-	-	64 0.89
愛島地区	82	21	39	15	3	1	3	76 0.96
高館地区	61	12	29	11	2	6	1	39 0.65
ゆりが丘・みどり台地区	82	22	40	11	7	-	2	77 0.96
相互台地区	39	10	19	5	2	-	3	37 1.03
那智が丘地区	35	7	18	6	1	1	2	29 0.88

（2）関心がある福祉の分野

（問15で「1. 関心がある」、「2. ある程度関心がある」と回答した方に）

問15-1 関心がある福祉はどのような分野ですか。（〇はいくつでも）



関心がある福祉の分野についてたずねたところ、「高齢者に関する福祉」71.1%が最も多く、以下「子どもに関する福祉」55.0%、「認知症の人に関する福祉」48.4%、「身体障がい者に関する福祉」35.8%、「寝たきりの人に関する福祉」32.7%となっている。

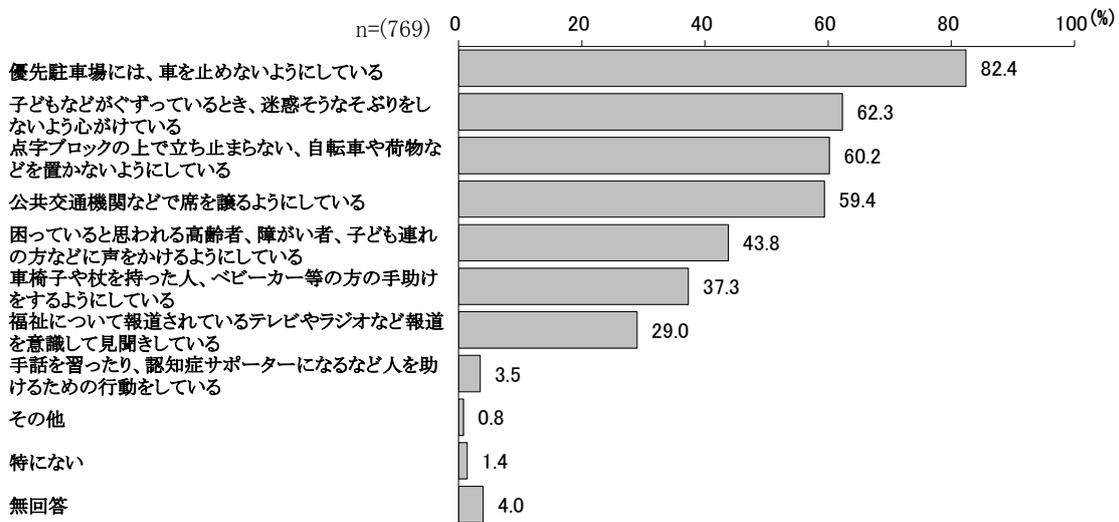
- 性別にみると、女性が多数の分野で男性を上回っている。
 - 年齢（6区分）別にみると、おおむね年齢が上がるほど「高齢者に関する福祉」「認知症の人に関する福祉」「寝たきりの人に関する福祉」が多くなっている。
- また、10～20代、30代、40代では「子どもに関する福祉」が70～80%台を占めており、一番関心がある分野となっている。

【性・年齢（6区分）・世帯構成・居住地区別】

	調査数	高齢者に関する福祉	子どもに関する福祉	認知症の人に関する福祉	身体障がい者に関する福祉	寝たきりの人に関する福祉	知的障がい者に関する福祉	病気療養中の人に関する福祉	ひとり親家庭に関する福祉	す閉じこもりや引きこもりの人に関する福祉	精神障がい者に関する福祉	生活困窮者に関する福祉	その他
全体	547 100.0	389 71.1	301 55.0	265 48.4	196 35.8	179 32.7	161 29.4	156 28.5	144 26.3	122 22.3	115 21.0	99 18.1	5 0.9
性別													
男性	208 100.0	148 71.2	119 57.2	96 46.2	72 34.6	60 28.8	59 28.4	54 26.0	53 25.5	42 20.2	39 18.8	44 21.2	2 1.0
女性	296 100.0	210 70.9	160 54.1	148 50.0	103 34.8	99 33.4	84 28.4	92 31.1	77 26.0	70 23.6	63 21.3	47 15.9	3 1.0
年齢（6区分）													
10～20代	42 100.0	20 47.6	33 78.6	16 38.1	17 40.5	8 19.0	13 31.0	12 28.6	12 28.6	9 21.4	9 21.4	7 16.7	1 2.4
30代	70 100.0	38 54.3	59 84.3	25 35.7	18 25.7	14 20.0	15 21.4	14 20.0	20 28.6	16 22.9	19 27.1	10 14.3	-
40代	96 100.0	64 66.7	69 71.9	43 44.8	37 38.5	32 33.3	33 34.4	36 37.5	30 31.3	26 27.1	21 21.9	17 17.7	-
50代	99 100.0	70 70.7	51 51.5	51 51.5	43 43.4	38 38.4	35 35.4	32 32.3	18 18.2	20 20.2	23 23.2	18 18.2	2 2.0
60代	132 100.0	112 84.8	53 40.2	66 50.0	44 33.3	43 32.6	39 29.5	30 22.7	33 25.0	24 18.2	20 15.2	27 20.5	2 1.5
70代以上	101 100.0	81 80.2	33 32.7	62 61.4	36 35.6	42 41.6	24 23.8	32 31.7	29 28.7	27 26.7	22 21.8	20 19.8	-
世帯構成													
単身世帯	21 100.0	16 76.2	10 47.6	12 57.1	9 42.9	10 47.6	6 28.6	7 33.3	3 14.3	5 23.8	6 28.6	4 19.0	-
夫婦のみ（一世帯世帯）	142 100.0	119 83.8	67 47.2	74 52.1	60 42.3	47 33.1	41 28.9	44 31.0	39 27.5	30 21.1	28 19.7	26 18.3	2 1.4
親と子（二世帯世帯）	295 100.0	193 65.4	169 57.3	133 45.1	94 31.9	94 31.9	83 28.1	82 27.8	78 26.4	62 21.0	58 19.7	52 17.6	3 1.0
親と子と孫（三世帯世帯）	75 100.0	51 68.0	48 64.0	41 54.7	26 34.7	24 32.0	24 32.0	18 24.0	21 28.0	21 28.0	17 22.7	15 20.0	-
その他	9 100.0	7 77.8	3 33.3	2 22.2	4 44.4	1 11.1	3 33.3	3 33.3	2 22.2	3 33.3	3 33.3	1 11.1	-
居住地区													
増田地区	107 100.0	69 64.5	68 63.6	40 37.4	35 32.7	30 28.0	31 29.0	24 22.4	32 29.9	22 20.6	20 18.7	18 16.8	-
増田西地区	63 100.0	46 73.0	31 49.2	25 39.7	25 39.7	18 28.6	21 33.3	22 34.9	15 23.8	11 17.5	8 12.7	9 14.3	1 1.6
名取が丘地区	53 100.0	34 64.2	27 50.9	26 49.1	19 35.8	17 32.1	14 26.4	16 30.2	13 24.5	5 9.4	15 28.3	11 20.8	1 1.9
関上地区	9 100.0	8 88.9	3 33.3	3 33.3	3 33.3	2 22.2	-	3 33.3	1 11.1	3 33.3	-	-	-
下増田地区	44 100.0	29 65.9	26 59.1	26 59.1	15 34.1	15 34.1	12 27.3	12 27.3	8 18.2	12 27.3	10 22.7	11 25.0	-
館腰地区	48 100.0	35 72.9	27 56.3	24 50.0	20 41.7	16 33.3	12 25.0	14 29.2	12 25.0	12 25.0	12 25.0	8 16.7	-
愛島地区	60 100.0	47 78.3	26 43.3	33 55.0	19 31.7	19 31.7	17 28.3	14 23.3	15 25.0	11 18.3	14 23.3	11 18.3	1 1.7
高館地区	41 100.0	31 75.6	23 56.1	23 56.1	12 29.3	17 41.5	11 26.8	14 34.1	15 36.6	17 41.5	12 29.3	10 24.4	1 2.4
ゆりが丘・みどり台地区	62 100.0	47 75.8	36 58.1	29 46.8	26 41.9	19 30.6	21 33.9	20 32.3	15 24.2	15 24.2	10 16.1	8 12.9	-
相互台地区	29 100.0	21 72.4	18 62.1	13 44.8	12 41.4	9 31.0	10 34.5	6 20.7	8 27.6	7 24.1	6 20.7	5 17.2	-
那智が丘地区	25 100.0	18 72.0	13 52.0	19 76.0	8 32.0	13 52.0	9 36.0	10 40.0	9 36.0	5 20.0	6 24.0	7 28.0	1 4.0

（3）心がけていること

問16 次のようなことを心がけていますか。（○はいくつでも）

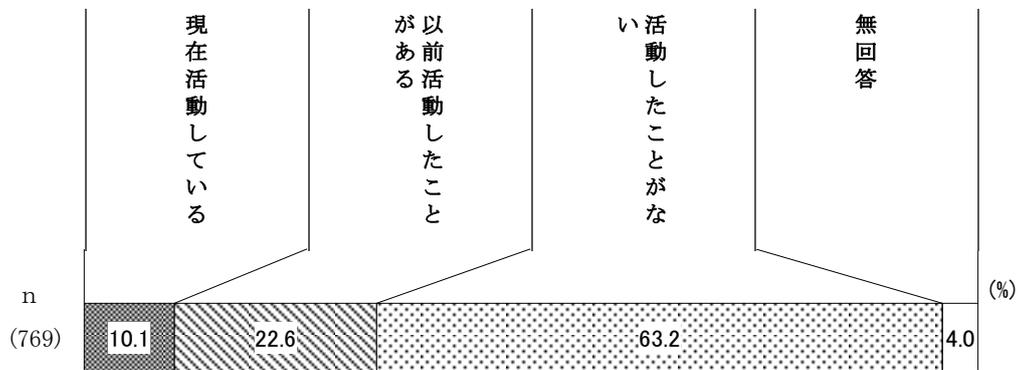


心がけていることについてたずねたところ、「優先駐車場には、車を止めないようにしている」82.4%が最も多く、以下「子どもなどがぐずっているとき、迷惑そうなそぶりをしないよう心がけている」62.3%、「点字ブロックの上で立ち止まらない、自転車や荷物などを置かないようにしている」60.2%、「公共交通機関などで席を譲るようにしている」59.4%、「困っていると思われる高齢者、障がい者、子ども連れの方などに声をかけるようにしている」43.8%となっている。

5. ボランティア活動について

（1）ボランティアや助け合い活動の参加状況

問17 ボランティア活動や助け合い活動を行ったことがありますか。（○は1つ）



ボランティアや助け合い活動の参加状況についてたずねたところ、「活動したことがない」が最も多く63.2%を占めており、以下「以前活動したことがある」22.6%、「現在活動している」10.1%となっている。

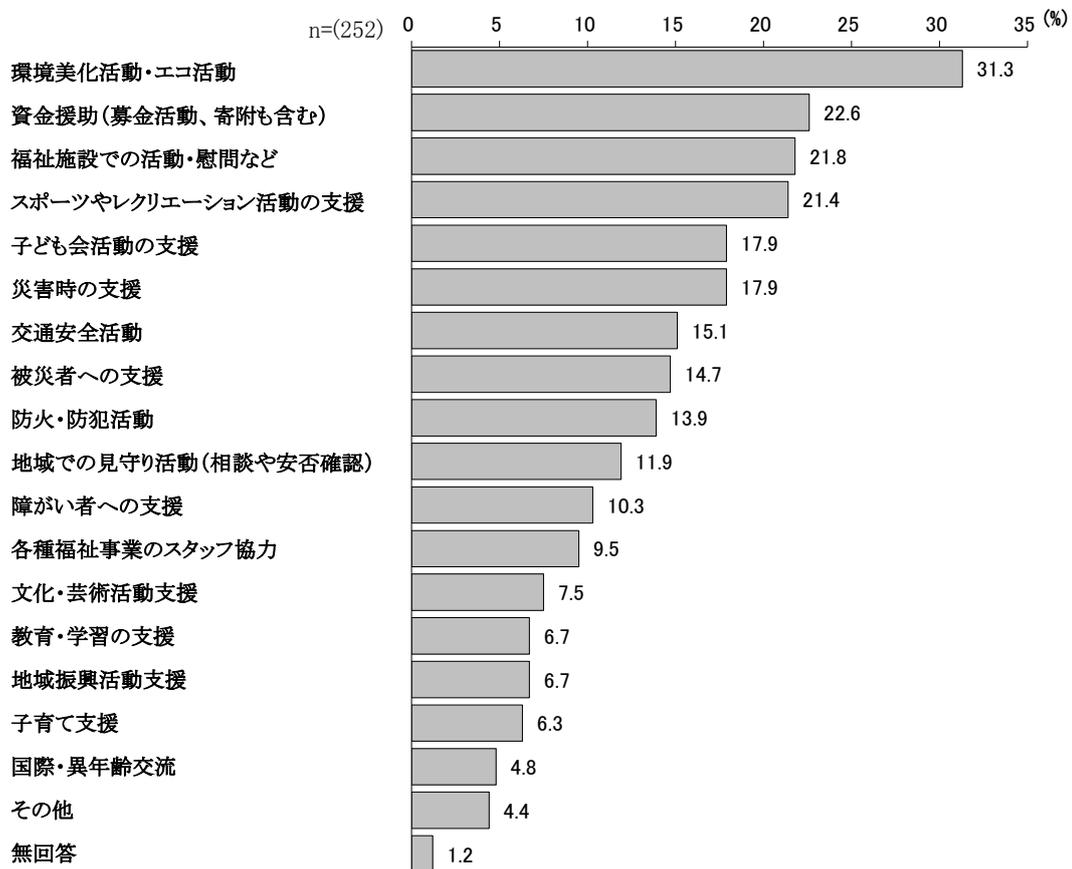
- 性別にみると、女性では「以前活動したことがある」が男性に比べてやや多くなっている。
- 年齢（6区分）別にみると、50代、60代、70代以上では「現在活動している」が10%以上と、10～20代では「以前活動したことがある」が38.2%とほかの年代に比べて多くなっている。

【性・年齢（6区分）・世帯構成・居住地区別】

	調査数	現在活動している	以前活動したことがある	活動したことがない	無回答
上段：件数 下段：%					
全 体	769 100.0	78 10.1	174 22.6	486 63.2	31 4.0
性別					
男性	296 100.0	32 10.8	55 18.6	195 65.9	14 4.7
女性	410 100.0	37 9.0	109 26.6	250 61.0	14 3.4
年齢（6区分）					
10～20代	68 100.0	3 4.4	26 38.2	39 57.4	- -
30代	115 100.0	4 3.5	27 23.5	78 67.8	6 5.2
40代	141 100.0	6 4.3	39 27.7	93 66.0	3 2.1
50代	132 100.0	18 13.6	25 18.9	84 63.6	5 3.8
60代	169 100.0	26 15.4	27 16.0	110 65.1	6 3.6
70代以上	134 100.0	20 14.9	28 20.9	75 56.0	11 8.2
世帯構成					
単身世帯	35 100.0	3 8.6	5 14.3	23 65.7	4 11.4
夫婦のみ（一世帯世帯）	194 100.0	26 13.4	41 21.1	114 58.8	13 6.7
親と子（二世帯世帯）	413 100.0	35 8.5	91 22.0	276 66.8	11 2.7
親と子と孫（三世帯世帯）	103 100.0	13 12.6	33 32.0	55 53.4	2 1.9
その他	13 100.0	-	2 15.4	11 84.6	-
居住地区					
増田地区	150 100.0	16 10.7	38 25.3	87 58.0	9 6.0
増田西地区	99 100.0	15 15.2	17 17.2	65 65.7	2 2.0
名取が丘地区	62 100.0	4 6.5	12 19.4	43 69.4	3 4.8
閑上地区	13 100.0	1 7.7	2 15.4	9 69.2	1 7.7
下増田地区	64 100.0	3 4.7	15 23.4	45 70.3	1 1.6
館腰地区	72 100.0	7 9.7	13 18.1	49 68.1	3 4.2
愛島地区	82 100.0	7 8.5	27 32.9	46 56.1	2 2.4
高館地区	61 100.0	7 11.5	10 16.4	42 68.9	2 3.3
ゆりが丘・みどり台地区	82 100.0	13 15.9	22 26.8	44 53.7	3 3.7
相互台地区	39 100.0	1 2.6	10 25.6	25 64.1	3 7.7
那智が丘地区	35 100.0	3 8.6	7 20.0	24 68.6	1 2.9

(2) 現在取り組んでいる、または取り組んだことがあるボランティア活動や助け合い活動

（問17で「1. 現在活動している」、「2. 以前活動したことがある」と回答した方に）
 問17-1 現在取り組んでいる、または取り組んだことがあるボランティア活動や助け合い活動の具体的な内容は次のどれですか。（○はいくつでも）



現在取り組んでいる、または取り組んだことがあるボランティア活動や助け合い活動についてたずねたところ、「環境美化活動・エコ活動」31.3%が最も多く、以下「資金援助（募金活動、寄附も含む）」22.6%、「福祉施設での活動・慰問など」21.8%、「スポーツやレクリエーション活動の支援」21.4%、「子ども会活動の支援」「災害時の支援」ともに17.9%、「交通安全活動」15.1%、「被災者への支援」14.7%、「防火・防犯活動」13.9%となっている。

■ 性別にみると、男性では「環境美化活動・エコ活動」「スポーツやレクリエーション活動の支援」「災害時の支援」「交通安全活動」「防火・防犯活動」「地域での見守り活動（相談や安否確認）」などアクティブな活動で女性に比べて多くなっている。

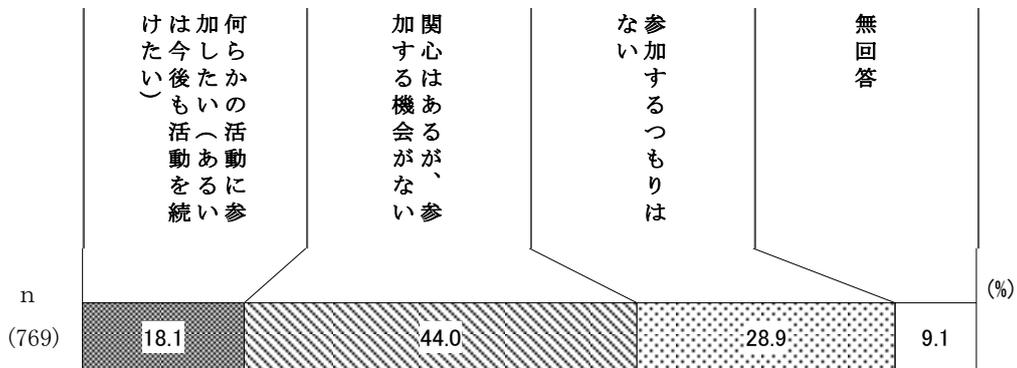
一方、女性では「資金援助（募金活動、寄附も含む）」「福祉施設での活動・慰問など」「被災者への支援」「障がい者への支援」「各種福祉事業のスタッフ協力」など弱者支援的な活動で男性に比べて多くなっている。

【性・年齢（6区分）・世帯構成・居住地区別】

	調査数	環境美化活動・エコ活動	資金援助（募金活動、寄附も含む）	福祉施設での活動・慰問など	スポーツやレクリエーション活動	子ども会活動の支援	災害時の支援	交通安全活動	被災者への支援	防火・防犯活動	地域での見守り活動（相談や安否確認）	障がい者への支援	各種福祉事業のスタッフ協力	文化・芸術活動支援	教育・学習の支援	地域振興活動支援	子育て支援	国際・異年齢交流	その他	無回答
全体	252 100.0	79 31.3	57 22.6	55 21.8	54 21.4	45 17.9	38 15.1	37 14.7	35 13.9	26 10.3	24 9.5	19 7.5	17 6.7	17 6.7	16 6.3	12 4.8	11 4.4	3 1.2		
性別																				
男性	87 100.0	34 39.1	14 16.1	12 13.8	22 25.3	15 17.2	20 23.0	20 23.0	8 9.2	16 18.4	15 17.2	4 4.6	5 5.7	7 8.0	4 4.6	10 11.5	3 3.4	3 3.4	2 2.3	1 1.1
女性	146 100.0	41 28.1	38 26.0	39 26.7	28 19.2	25 17.1	19 13.0	15 10.3	23 15.8	13 8.9	13 8.9	20 13.7	17 11.6	8 5.5	13 8.9	7 4.8	11 7.5	8 5.5	9 6.2	2 1.4
年齢（6区分）																				
10～20代	29 100.0	8 27.6	3 10.3	6 20.7	5 17.2	3 10.3	1 3.4	-	2 6.9	1 3.4	1 3.4	3 10.3	4 13.8	2 6.9	6 20.7	1 3.4	1 3.4	4 13.8	3 10.3	1 3.4
30代	31 100.0	9 29.0	8 25.8	7 25.8	5 16.1	6 19.4	4 12.9	2 6.5	-	2 6.5	-	3 9.7	2 6.5	2 6.5	2 6.5	2 6.5	1 3.2	2 6.5	-	-
40代	45 100.0	15 33.3	9 20.0	4 8.9	4 20.0	9 26.7	11 24.4	7 15.6	7 15.6	4 8.9	1 2.2	13 29.3	4 8.9	2 4.4	-	6 13.3	2 4.4	1 2.2	2 4.4	2 4.4
50代	43 100.0	14 32.6	7 16.3	7 16.3	12 27.9	7 16.3	7 16.3	9 20.9	3 7.0	8 18.6	3 7.0	4 9.3	3 7.0	3 7.0	4 9.3	4 9.3	4 9.3	2 4.7	2 4.7	1 2.3
60代	53 100.0	20 37.7	10 18.9	14 26.4	11 20.8	4 7.5	5 9.4	8 15.1	6 11.3	8 15.1	8 15.1	5 9.4	3 5.7	5 9.4	1 1.9	2 3.8	3 5.7	1 1.9	3 5.7	1 1.9
70代以上	48 100.0	12 25.0	18 37.5	16 33.3	12 25.0	11 22.9	15 31.3	11 22.9	17 35.4	12 25.0	13 27.1	6 12.5	7 14.6	7 14.6	1 2.1	9 18.8	5 10.4	2 4.2	2 4.2	1 2.1
世帯構成																				
単身世帯	8 100.0	4 50.0	4 50.0	4 50.0	4 50.0	1 12.5	1 12.5	1 12.5	-	1 12.5	1 12.5	-	2 25.0	1 12.5	-	-	-	1 12.5	1 12.5	-
夫婦のみ（一世代世帯）	67 100.0	23 34.3	18 28.4	18 26.9	11 16.4	12 17.9	14 20.9	8 11.9	18 26.9	10 14.9	9 13.4	8 11.9	7 10.4	6 9.0	3 4.5	8 11.9	4 6.0	3 4.5	5 7.5	1 1.5
親と子（二世帯世帯）	126 100.0	38 30.2	20 15.9	22 17.5	24 19.0	19 15.1	21 16.7	21 16.7	11 8.7	18 14.3	10 7.9	14 11.1	9 7.1	7 5.6	9 7.1	4 3.2	9 7.1	7 5.6	4 3.2	1 0.8
親と子と孫（三世帯世帯）	46 100.0	13 28.3	12 26.1	9 19.6	14 30.4	11 23.9	7 15.2	7 15.2	6 13.0	6 13.0	10 21.7	3 6.5	4 8.7	5 10.9	5 10.9	5 10.9	1 2.2	2 4.3	2 4.3	2 4.3
その他	2 100.0	-	-	2 100.0	1 50.0	-	-	1 50.0	-	-	-	-	1 50.0	-	-	-	-	-	-	-
居住地区																				
増田地区	54 100.0	13 24.1	11 20.4	11 20.4	12 22.2	8 14.8	6 11.1	4 7.4	10 18.5	4 7.4	7 13.0	8 14.8	4 7.4	5 9.3	4 7.4	3 5.6	3 5.6	4 7.4	4 7.4	1 1.9
増田西地区	32 100.0	6 18.8	8 25.0	4 12.5	8 25.0	2 6.3	7 21.9	4 12.5	6 18.8	3 9.4	2 6.3	2 6.3	4 12.5	3 9.4	1 3.1	3 9.4	2 6.3	2 6.3	1 3.1	1 3.1
名取が丘地区	16 100.0	5 31.3	3 18.8	4 25.0	3 18.8	2 12.5	1 6.3	2 12.5	3 18.8	2 12.5	1 6.3	3 18.8	3 18.8	1 6.3	1 6.3	-	1 6.3	-	2 12.5	1 6.3
関上地区	3 100.0	1 33.3	1 33.3	2 66.7	1 33.3	-	-	1 33.3	-	-	-	2 66.7	1 33.3	-	-	-	-	-	-	-
下増田地区	18 100.0	7 38.9	5 27.8	5 27.8	2 11.1	4 22.2	5 27.8	3 16.7	4 22.2	3 16.7	5 27.8	2 11.1	3 16.7	2 11.1	3 16.7	2 11.1	2 11.1	1 5.6	-	1 5.6
館腰地区	20 100.0	6 30.0	5 25.0	5 25.0	4 20.0	3 15.0	3 15.0	3 15.0	3 15.0	4 20.0	1 5.0	1 5.0	2 10.0	2 10.0	2 10.0	2 10.0	2 10.0	2 10.0	-	-
愛島地区	34 100.0	17 50.0	7 20.6	7 20.6	9 26.5	8 23.5	4 11.8	4 11.8	8 23.5	2 5.9	6 17.6	3 8.8	2 5.9	2 5.9	2 5.9	2 5.9	2 5.9	1 2.9	1 2.9	2 5.9
高籬地区	17 100.0	9 52.9	2 11.8	3 17.6	5 29.4	5 29.4	6 35.3	2 11.8	5 29.4	2 11.8	3 17.6	4 23.5	1 5.9	-	1 5.9	4 23.5	2 11.8	5 29.4	1 5.9	-
ゆりが丘・みどり台地区	35 100.0	9 25.7	7 20.0	8 22.9	6 17.1	9 25.7	5 14.3	6 17.1	1 2.9	1 2.9	4 11.4	6 17.1	3 8.6	4 11.4	3 8.6	2 5.7	2 5.7	3 8.6	2 5.7	1 2.9
相互台地区	11 100.0	2 18.2	-	3 27.3	2 18.2	3 27.3	3 27.3	1 9.1	2 18.2	2 18.2	-	2 18.2	1 9.1	-	1 9.1	-	-	-	1 9.1	-
那智が丘地区	10 100.0	3 30.0	4 40.0	3 30.0	2 20.0	-	3 30.0	1 10.0	2 20.0	1 10.0	-	-	-	-	-	1 10.0	1 10.0	-	-	-

(3) ボランティア活動の今後の参加意向

問18 ボランティア活動に、今後、参加の意向がありますか。（○は1つ）



ボランティア活動の今後の参加意向についてたずねたところ、「関心はあるが、参加する機会がない」44.0%が最も多く、以下「参加するつもりはない」28.9%、「何らかの活動に参加したい（あるいは今後も活動を続けたい）」18.1%となっている。

- 性別にみると、男性では「関心はあるが、参加する機会がない」47.0%が女性に比べてやや多くなっている。
- 年齢（6区分）別にみると、10～20代、40代では「関心はあるが、参加する機会がない」が50%以上と、50代、60代では「何らかの活動に参加したい（あるいは今後も活動を続けたい）」が20%以上と、30代、70代以上では「参加するつもりはない」が30%以上とそれぞれほかの年代に比べて多くなっている。

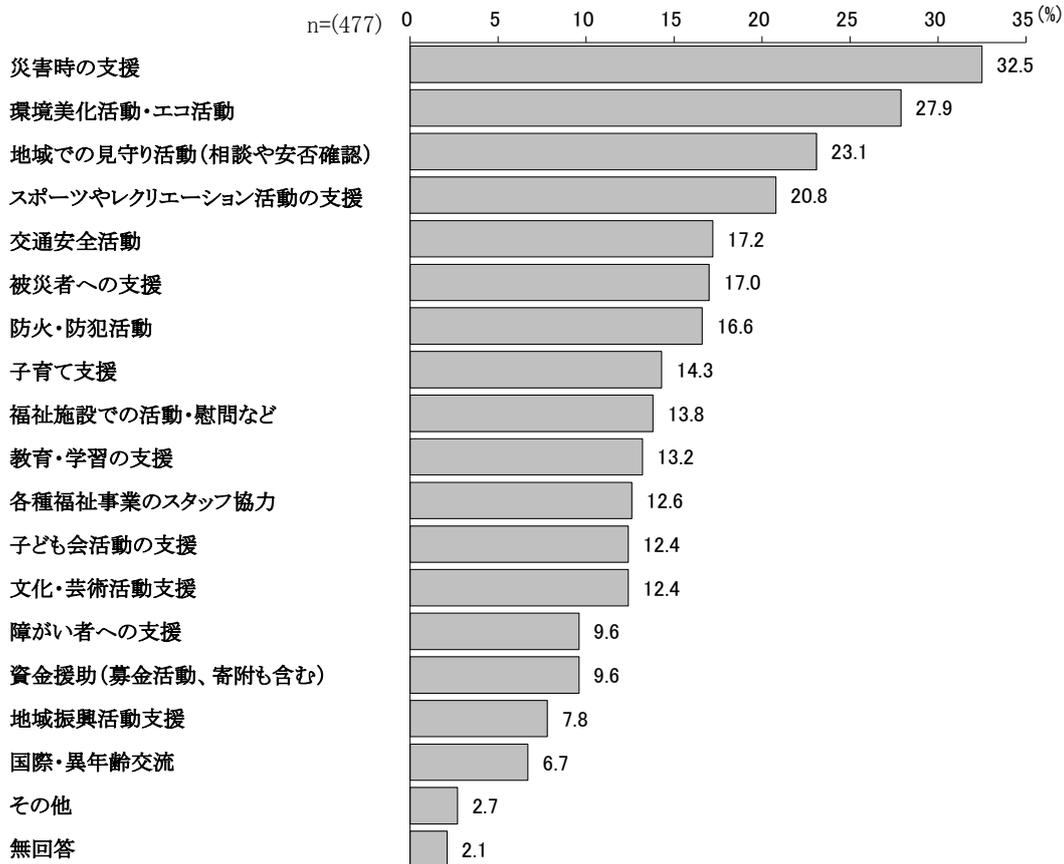
【性・年齢（6区分）・世帯構成・居住地区別】

	調査数	い何は はら 今か 後も 活動 に参 加し たい (ある)	い関 心は ある が、 参加 する 機会 がな い	参加 する つも りは ない	無 回 答
上段：件数 下段：%					
全 体	769 100.0	139 18.1	338 44.0	222 28.9	70 9.1
性別					
男性	296 100.0	50 16.9	139 47.0	85 28.7	22 7.4
女性	410 100.0	77 18.8	176 42.9	118 28.8	39 9.5
年齢（6区分）					
10～20代	68 100.0	12 17.6	34 50.0	20 29.4	2 2.9
30代	115 100.0	15 13.0	51 44.3	42 36.5	7 6.1
40代	141 100.0	18 12.8	80 56.7	37 26.2	6 4.3
50代	132 100.0	32 24.2	61 46.2	28 21.2	11 8.3
60代	169 100.0	36 21.3	75 44.4	44 26.0	14 8.3
70代以上	134 100.0	24 17.9	33 24.6	50 37.3	27 20.1
世帯構成					
単身世帯	35 100.0	2 5.7	17 48.6	10 28.6	6 17.1
夫婦のみ（一世帯世帯）	194 100.0	43 22.2	78 40.2	57 29.4	16 8.2
親と子（二世帯世帯）	413 100.0	70 16.9	187 45.3	118 28.6	38 9.2
親と子と孫（三世帯世帯）	103 100.0	22 21.4	46 44.7	27 26.2	8 7.8
その他	13 100.0	1 7.7	5 38.5	7 53.8	-
居住地区					
増田地区	150 100.0	32 21.3	55 36.7	49 32.7	14 9.3
増田西地区	99 100.0	20 20.2	39 39.4	33 33.3	7 7.1
名取が丘地区	62 100.0	9 14.5	31 50.0	18 29.0	4 6.5
閑上地区	13 100.0	1 7.7	4 30.8	5 38.5	3 23.1
下増田地区	64 100.0	8 12.5	30 46.9	22 34.4	4 6.3
館腰地区	72 100.0	22 30.6	33 45.8	14 19.4	3 4.2
愛島地区	82 100.0	11 13.4	41 50.0	22 26.8	8 9.8
高館地区	61 100.0	6 9.8	24 39.3	22 36.1	9 14.8
ゆりが丘・みどり台地区	82 100.0	18 22.0	37 45.1	17 20.7	10 12.2
相互台地区	39 100.0	3 7.7	25 64.1	9 23.1	2 5.1
那智が丘地区	35 100.0	8 22.9	15 42.9	9 25.7	3 8.6

（4）取り組んでみたいボランティア活動や助け合い活動

（問18で「1. 何らかの活動に参加したい」、「2. 関心はあるが、参加する機会がない」と回答した方に）

問18-1 取り組んでみたいボランティア活動や助け合い活動の具体的な内容は次のどれですか。（〇はいくつでも）



取り組んでみたいボランティア活動や助け合い活動についてたずねたところ、「災害時の支援」32.5%が最も多く、以下「環境美化活動・エコ活動」27.9%、「地域での見守り活動（相談や安否確認）」23.1%、「スポーツやレクリエーション活動の支援」20.8%、「交通安全活動」17.2%、「被災者への支援」17.0%、「防火・防犯活動」16.6%となっている。

- 性別にみると、男性では「災害時の支援」「環境美化活動・エコ活動」「地域での見守り活動（相談や安否確認）」「スポーツやレクリエーション活動の支援」「交通安全活動」「防火・防犯活動」など現在取り組んでいる、または取り組んだことがある活動が上位となっている。女性でもおおむね同様となっているが、「子育て支援」が上位となり「福祉施設での活動・慰問など」「各種福祉事業のスタッフ協力」は男性に比べて多くなっている。
- 年齢（6区分）別にみると、10～20代は「スポーツやレクリエーション活動の支援」「環境美化活動・エコ活動」「教育・学習の支援」の活動が上位となっている。30代、40代はそれに加えて同世代である「子育て支援」が多くなっている。おおむね年齢が上がるほど「災害時の支援交通安全活動」「被災者への支援」「防火・防犯活動」「地域振興活動支援」が多く、活動意欲が高くなっている。

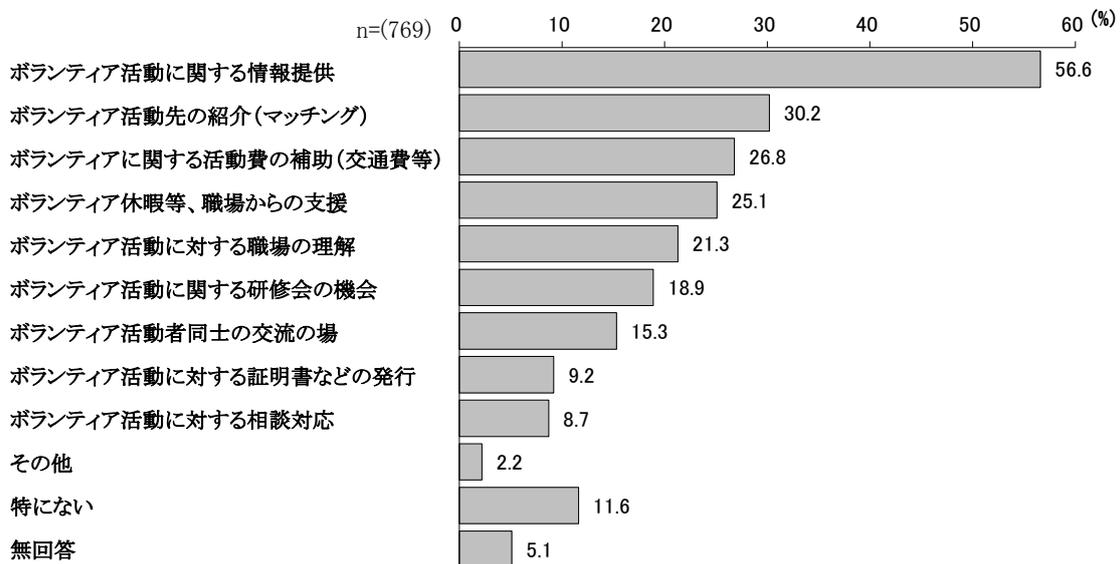
【性・年齢（6区分）・世帯構成・居住地区別】

	調査数	災害時の支援	環境美化活動・エコ活動	地域での見守り活動（相談や安否確認）	スポーツやレクリエーション活動の支援	交通安全活動	被災者への支援	防火・防犯活動	子育て支援	福祉施設での活動・慰問など	教育・学習の支援	各種福祉事業のスタッフ協力	子ども会活動の支援	文化・芸術活動支援	障がい者への支援	資金援助（募金活動、寄附も含む）	地域振興活動支援	国際・異年齢交流	その他	無回答
全体	477	155	133	110	99	82	81	79	68	66	63	60	59	59	46	46	37	32	13	10
	100.0	32.5	27.9	23.1	20.8	17.2	17.0	16.6	14.3	13.8	13.2	12.6	12.4	12.4	9.6	9.6	7.8	6.7	2.7	2.1
性別																				
男性	189	82	58	52	51	50	31	50	12	19	23	15	23	24	16	8	21	13	-	2
	100.0	43.4	30.7	27.5	27.0	26.5	16.4	26.5	6.3	10.1	12.2	7.9	12.2	12.7	8.5	4.2	11.1	6.9	-	1.1
女性	253	60	69	51	43	27	40	22	51	44	34	39	28	29	26	34	16	18	9	7
	100.0	23.7	27.3	20.2	17.0	10.7	15.8	8.7	20.2	17.4	13.4	15.4	11.1	11.5	10.3	13.4	6.3	7.1	3.6	2.8
年齢（6区分）																				
10～20代	46	7	11	5	16	4	7	3	5	4	11	4	10	7	5	3	3	7	-	-
	100.0	15.2	23.9	10.9	34.8	8.7	15.2	6.5	10.9	8.7	23.9	8.7	21.7	15.2	10.9	6.5	6.5	15.2	-	-
30代	66	13	18	11	13	5	6	10	17	8	17	8	16	10	5	7	2	5	1	-
	100.0	19.7	27.3	16.7	19.7	7.6	9.1	15.2	25.8	12.1	25.8	12.1	24.2	15.2	7.6	10.6	3.0	7.6	1.5	-
40代	98	34	25	22	17	17	22	15	27	11	17	13	14	6	9	10	4	9	4	4
	100.0	34.7	25.5	22.4	17.3	17.3	22.4	15.3	27.6	11.2	17.3	13.3	14.3	6.1	9.2	10.2	4.1	9.2	4.1	4.1
50代	93	37	26	24	23	20	10	15	11	9	7	17	7	15	10	5	9	7	1	2
	100.0	39.8	28.0	25.8	24.7	21.5	10.8	16.1	11.8	9.7	7.5	18.3	7.5	16.1	10.8	5.4	9.7	7.5	1.1	2.2
60代	111	38	37	33	19	22	15	20	5	19	7	12	5	16	11	11	9	2	4	1
	100.0	34.2	33.3	29.7	17.1	19.8	13.5	18.0	4.5	17.1	6.3	10.8	4.5	14.4	9.9	9.9	8.1	1.8	3.6	0.9
70代以上	57	22	15	12	11	13	18	15	2	13	2	6	5	4	5	9	10	1	3	3
	100.0	38.6	26.3	21.1	19.3	22.8	31.6	26.3	3.5	22.8	3.5	10.5	8.8	7.0	8.8	15.8	17.5	1.8	5.3	5.3
世帯構成																				
単身世帯	19	8	6	5	3	2	6	2	-	5	1	4	2	2	1	2	1	2	1	2
	100.0	42.1	31.6	26.3	15.8	10.5	31.6	10.5	-	26.3	5.3	21.1	10.5	10.5	5.3	10.5	5.3	10.5	5.3	10.5
夫婦のみ（二世帯世帯）	121	36	37	30	19	24	21	23	10	20	11	20	12	20	12	14	13	5	2	2
	100.0	29.8	30.6	24.8	15.7	19.8	17.4	19.0	8.3	16.5	9.1	16.5	9.9	16.5	9.9	11.6	10.7	4.1	1.7	1.7
親と子（二世帯世帯）	257	85	71	59	58	42	38	38	46	26	38	28	37	30	23	23	19	20	7	4
	100.0	33.1	27.6	23.0	22.6	16.3	14.8	14.8	17.9	10.1	14.8	10.9	14.4	11.7	8.9	8.9	7.4	7.8	2.7	1.6
親と子と孫（三世帯世帯）	68	19	18	14	17	12	12	14	11	10	11	8	6	6	7	6	4	4	3	2
	100.0	27.9	26.5	20.6	25.0	17.6	17.6	20.6	16.2	14.7	16.2	11.8	8.8	8.8	10.3	8.8	5.9	5.9	4.4	2.9
その他	6	3	-	1	2	2	2	1	-	4	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
	100.0	50.0	-	16.7	33.3	33.3	33.3	16.7	-	66.7	-	-	-	-	16.7	-	-	-	-	-
居住地区																				
増田地区	87	25	24	15	17	19	15	15	11	15	6	12	14	12	9	9	5	5	4	-
	100.0	28.7	27.6	17.2	19.5	21.8	17.2	17.2	12.6	17.2	6.9	13.8	16.1	13.8	10.3	10.3	5.7	5.7	4.6	-
増田西地区	59	19	13	12	11	8	14	7	10	10	5	12	9	8	6	4	7	6	2	3
	100.0	32.2	22.0	20.3	18.6	13.6	23.7	11.9	16.9	16.9	8.5	20.3	15.3	13.6	10.2	6.8	11.9	10.2	3.4	5.1
名取が丘地区	40	13	11	7	10	3	4	7	2	3	3	3	3	2	3	3	3	1	1	1
	100.0	32.5	27.5	17.5	25.0	7.5	10.0	17.5	5.0	7.5	7.5	7.5	7.5	5.0	7.5	7.5	7.5	2.5	2.5	2.5
関上地区	5	3	2	1	3	2	4	1	-	1	1	1	1	1	-	1	-	1	-	-
	100.0	60.0	40.0	20.0	60.0	40.0	80.0	20.0	-	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0	-	20.0	-	20.0	-	-
下増田地区	38	13	13	9	3	6	7	7	7	3	8	3	5	3	4	5	5	3	1	1
	100.0	34.2	34.2	23.7	7.9	15.8	18.4	18.4	18.4	7.9	21.1	7.9	13.2	7.9	10.5	13.2	13.2	7.9	2.6	2.6
館腰地区	55	22	15	11	15	10	10	9	10	10	11	11	4	6	5	10	3	2	1	1
	100.0	40.0	27.3	20.0	27.3	18.2	18.2	16.4	18.2	18.2	20.0	20.0	7.3	10.9	9.1	18.2	5.5	3.6	1.8	1.8
愛島地区	52	13	17	10	9	8	5	6	4	7	7	5	6	6	4	5	3	2	-	1
	100.0	25.0	32.7	19.2	17.3	15.4	9.6	11.5	7.7	13.5	13.5	9.6	11.5	11.5	7.7	9.6	5.8	3.8	-	1.9
高館地区	30	11	11	10	8	6	7	7	4	4	6	3	3	5	2	1	1	5	-	1
	100.0	36.7	36.7	33.3	26.7	20.0	23.3	23.3	13.3	13.3	20.0	10.0	10.0	16.7	6.7	3.3	3.3	16.7	-	3.3
ゆりが丘・みどり台地区	55	14	11	19	12	12	6	11	12	7	9	6	8	7	4	5	6	4	3	1
	100.0	25.5	20.0	34.5	21.8	21.8	10.9	20.0	21.8	12.7	16.4	10.9	14.5	12.7	7.3	9.1	10.9	7.3	5.5	1.8
相互台地区	28	8	7	7	9	6	-	5	5	2	4	-	3	5	3	-	3	2	1	1
	100.0	28.6	25.0	25.0	32.1	21.4	-	17.9	17.9	7.1	14.3	-	10.7	17.9	10.7	-	10.7	7.1	3.6	3.6
那智が丘地区	23	10	7	8	2	1	6	3	2	3	1	3	1	3	4	2	1	-	-	-
	100.0	43.5	30.4	34.8	8.7	4.3	26.1	13.0	8.7	13.0	4.3	13.0	4.3	13.0	17.4	8.7	4.3	-	-	-

(5) ボランティア活動が行いやすくなると思う支援

問19 どのような支援があると、ボランティア活動が行いやすいと思いますか。

(○はいくつでも)



ボランティア活動が行いやすくなると思う支援についてたずねたところ、「ボランティア活動に関する情報提供」56.6%が最も多く、以下「ボランティア活動先の紹介(マッチング)」30.2%、「ボランティアに関する活動費の補助(交通費等)」26.8%、「ボランティア休暇等、職場からの支援」25.1%、「ボランティア活動に対する職場の理解」21.3%、「ボランティア活動に関する研修会の機会」18.9%、「ボランティア活動者同士の交流の場」15.3%となっている。

- 性別にみると、男性では「ボランティア休暇等、職場からの支援」「ボランティア活動に対する職場の理解」が女性に比べてやや多くなっている。
- 年齢（6区分）別にみると、10～20代では「ボランティア活動先の紹介（マッチング）」「ボランティアに関する活動費の補助（交通費等）」、30代では「ボランティア休暇等、職場からの支援」がほかの年代に比べて多くなっている。

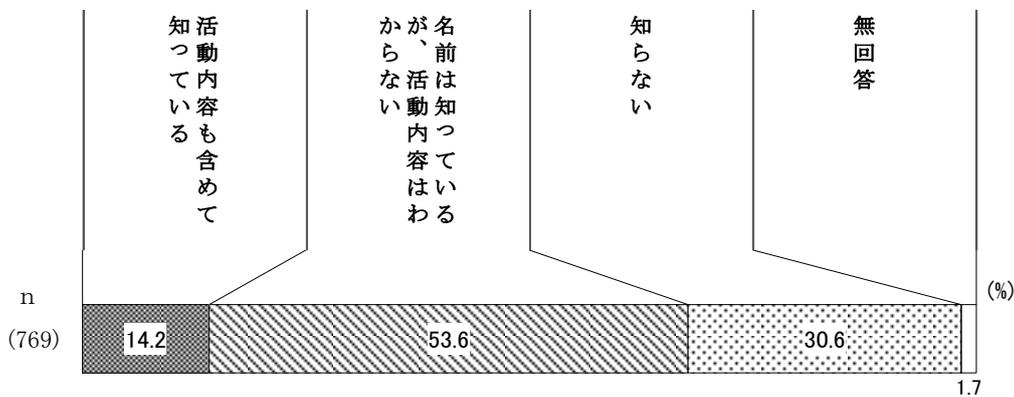
【性・年齢（6区分）・世帯構成・居住地区別】

	調査数	ボランティア活動に関する情報提供	ボランティア活動先の紹介（マッチング）	ボランティアに関する活動費の補助（交通費等）	ボランティア休暇等、職場からの支援	ボランティア活動に対する職場の理解	ボランティア活動に関する研修会の機会	ボランティア活動者同士の交流の場	ボランティア活動に対する証明書などの発行	ボランティア活動に対する相談対応	その他	特になし	無回答
上段：件数 下段：%													
全体	769 100.0	435 56.6	232 30.2	206 26.8	193 25.1	164 21.3	145 18.9	118 15.3	71 9.2	67 8.7	17 2.2	89 11.6	39 5.1
性別													
男性	296 100.0	167 56.4	85 28.7	82 27.7	83 28.0	71 24.0	50 16.9	43 14.5	28 9.5	22 7.4	5 1.7	32 10.8	11 3.7
女性	410 100.0	236 57.6	132 32.2	111 27.1	97 23.7	83 20.2	87 21.2	65 15.9	38 9.3	40 9.8	11 2.7	48 11.7	22 5.4
年齢（6区分）													
10～20代	68 100.0	36 52.9	30 44.1	31 45.6	25 36.8	17 25.0	9 13.2	10 14.7	13 19.1	4 5.9	-	5 7.4	1 1.5
30代	115 100.0	56 48.7	36 31.3	37 32.2	57 49.6	40 34.8	18 15.7	17 14.8	16 13.9	13 11.3	1 0.9	9 7.8	-
40代	141 100.0	91 64.5	42 29.8	47 33.3	57 40.4	52 36.9	26 18.4	19 13.5	16 11.3	10 7.1	3 2.1	12 8.5	3 2.1
50代	132 100.0	83 62.9	39 29.5	38 28.8	30 22.7	30 22.7	33 25.0	24 18.2	8 6.1	17 12.9	2 1.5	14 10.6	3 2.3
60代	169 100.0	97 57.4	51 30.2	35 20.7	14 8.3	18 10.7	36 21.3	28 16.6	7 4.1	13 7.7	6 3.6	26 15.4	9 5.3
70代以上	134 100.0	65 48.5	32 23.9	17 12.7	9 6.7	7 5.2	23 17.2	20 14.9	11 8.2	9 6.7	5 3.7	23 17.2	21 15.7
世帯構成													
単身世帯	35 100.0	18 51.4	8 22.9	11 31.4	8 22.9	9 25.7	8 22.9	12 34.3	7 20.0	6 17.1	1 2.9	4 11.4	3 8.6
夫婦のみ（一世代世帯）	194 100.0	112 57.7	55 28.4	43 22.2	32 16.5	29 14.9	41 21.1	33 17.0	15 7.7	19 9.8	6 3.1	22 11.3	12 6.2
親と子（二世代世帯）	413 100.0	238 57.6	133 32.2	126 30.5	125 30.3	100 24.2	76 18.4	62 15.0	41 9.9	39 9.4	9 2.2	43 10.4	13 3.1
親と子と孫（三世代世帯）	103 100.0	51 49.5	30 29.1	20 19.4	25 24.3	23 22.3	16 15.5	11 10.7	5 4.9	2 1.9	-	18 17.5	8 7.8
その他	13 100.0	9 69.2	5 38.5	5 38.5	2 15.4	2 15.4	4 30.8	-	2 15.4	1 7.7	1 7.7	1 7.7	1 7.7
居住地区													
増田地区	150 100.0	80 53.3	41 27.3	48 32.0	34 22.7	27 18.0	30 20.0	25 16.7	17 11.3	8 5.3	3 2.0	15 10.0	6 4.0
増田西地区	99 100.0	56 56.6	28 28.3	30 30.3	27 27.3	23 23.2	21 21.2	11 11.1	9 9.1	10 10.1	4 4.0	14 14.1	5 5.1
名取が丘地区	62 100.0	31 50.0	14 22.6	16 25.8	16 25.8	14 22.6	8 12.9	5 8.1	3 4.8	11 17.7	2 3.2	8 12.9	4 6.5
関上地区	13 100.0	7 53.8	2 15.4	3 23.1	3 23.1	1 7.7	4 30.8	2 15.4	2 15.4	4 30.8	1 7.7	4 30.8	-
下増田地区	64 100.0	32 50.0	18 28.1	12 18.8	15 23.4	11 17.2	6 9.4	10 15.6	7 10.9	4 6.3	1 1.6	12 18.8	4 6.3
館腰地区	72 100.0	49 68.1	29 40.3	19 26.4	20 27.8	17 23.6	19 26.4	15 20.8	4 5.6	5 6.9	-	5 6.9	2 2.8
愛島地区	82 100.0	46 56.1	17 20.7	14 17.1	15 18.3	13 15.9	9 11.0	10 12.2	3 3.7	5 6.1	3 3.7	10 12.2	7 8.5
高館地区	61 100.0	35 57.4	23 37.7	16 26.2	20 32.8	21 34.4	17 27.9	12 19.7	7 16.4	7 11.5	1 1.6	9 14.8	3 4.9
ゆりが丘・みどり台地区	82 100.0	55 67.1	29 35.4	26 31.7	21 25.6	23 28.0	17 20.7	14 17.1	9 11.0	7 8.5	-	7 8.5	2 2.4
相互台地区	39 100.0	18 46.2	16 41.0	12 30.8	11 28.2	9 23.1	9 23.1	9 23.1	2 5.1	2 5.1	1 2.6	1 2.6	4 10.3
那智が丘地区	35 100.0	20 57.1	13 37.1	9 25.7	11 31.4	5 14.3	5 14.3	4 11.4	4 11.4	3 8.6	1 2.9	1 2.9	1 2.9

6. 社会福祉協議会について

（1）名取市社会福祉協議会の認知度

問 20 名取市社会福祉協議会について知っていますか。（○は1つ）



名取市社会福祉協議会の認知度についてたずねたところ、「名前は知っているが、活動内容はわからない」が最も多く 53.6%を占めており、以下「活動内容も含めて知っている」14.2%となっている。

なお、「知らない」は 30.6%となっている。

用語の説明

社会福祉協議会	<ul style="list-style-type: none"> ・「社会福祉法」に基づき設置された社会福祉法人で民間の社会福祉活動を推進することを目的とした営利を目的としない民間組織です。 ・市民の皆さんの協力や民生委員・児童委員、社会福祉関係者など関係団体・機関との連携のもと、各種福祉サービスや相談活動、ボランティア活動の支援、共同募金運動への協力など、さまざまな場面で地域の福祉増進に取り組んでいます。
----------------	---

社会福祉協議会の主な活動内容

相談支援

- ・ 困りごとの総合相談
- ・ 障がい者の相談支援
- ・ 生活困窮者への支援 等

在宅福祉活動

- ・ 在宅生活者への生活支援サービス
- ・ 介護サービスの提供（ホームヘルプなど）
- ・ 障がい者の就労支援 等

地域福祉活動の支援

- ・ 小地域ごとの活動支援
- ・ ボランティア活動の促進
- ・ 地区福祉委員会助成事業
- ・ 地域の見守り活動のサポート 等

その他の福祉活動

- ・ 広報紙の発行や啓発活動
- ・ 障がい者の社会参加の促進
- ・ 権利擁護活動
- ・ 学校や地域での出前講座の開催 等

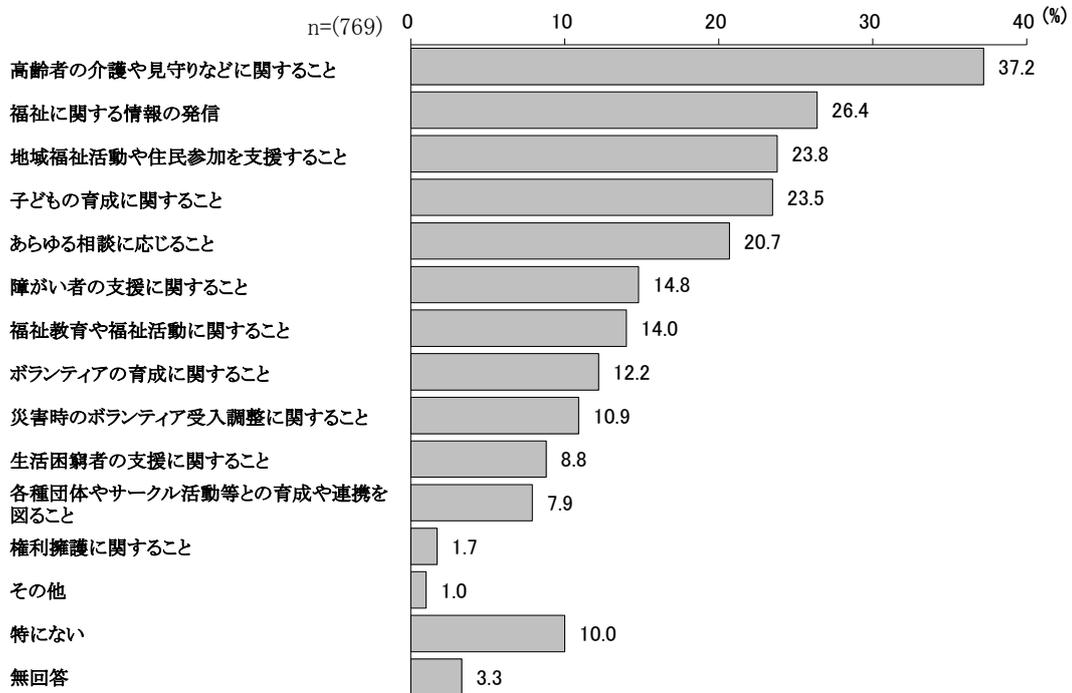
- 性別にみると、女性では「活動内容も含めて知っている」「名前は知っているが、活動内容はわからない」と回答した認知している人は71.7%と男性を上回っている。
- 年齢（6区分）別にみると、おおむね年代が上がるほど「活動内容も含めて知っている」「名前は知っているが、活動内容はわからない」と回答した認知している人が多く、70代以上では「活動内容も含めて知っている」「名前は知っているが、活動内容はわからない」と回答した認知している人は82.1%を占めている。

【性・年齢（6区分）・世帯構成・居住地区別】

	調査数	活動内容も含めて知っている	名前は知っているが、活動内容はわからない	知らない	無回答
上段：件数 下段：%					
全 体	769 100.0	109 14.2	412 53.6	235 30.6	13 1.7
性別					
男性	296 100.0	38 12.8	147 49.7	106 35.8	5 1.7
女性	410 100.0	62 15.1	232 56.6	112 27.3	4 1.0
年齢（6区分）					
10～20代	68 100.0	2 2.9	29 42.6	37 54.4	-
30代	115 100.0	15 13.0	38 33.0	62 53.9	-
40代	141 100.0	13 9.2	72 51.1	55 39.0	1 0.7
50代	132 100.0	23 17.4	80 60.6	27 20.5	2 1.5
60代	169 100.0	28 16.6	103 60.9	35 20.7	3 1.8
70代以上	134 100.0	28 20.9	82 61.2	18 13.4	6 4.5
世帯構成					
単身世帯	35 100.0	7 20.0	16 45.7	12 34.3	-
夫婦のみ（一世帯世帯）	194 100.0	30 15.5	106 54.6	54 27.8	4 2.1
親と子（二世帯世帯）	413 100.0	49 11.9	219 53.0	140 33.9	5 1.2
親と子と孫（三世帯世帯）	103 100.0	23 22.3	55 53.4	23 22.3	2 1.9
その他	13 100.0	-	8 61.5	4 30.8	1 7.7
居住地区					
増田地区	150 100.0	26 17.3	75 50.0	46 30.7	3 2.0
増田西地区	99 100.0	16 16.2	55 55.6	27 27.3	1 1.0
名取が丘地区	62 100.0	10 16.1	31 50.0	21 33.9	-
閑上地区	13 100.0	-	9 69.2	3 23.1	1 7.7
下増田地区	64 100.0	7 10.9	38 59.4	19 29.7	-
館腰地区	72 100.0	13 18.1	37 51.4	20 27.8	2 2.8
愛島地区	82 100.0	14 17.1	46 56.1	20 24.4	2 2.4
高館地区	61 100.0	6 9.8	35 57.4	20 32.8	-
ゆりが丘・みどり台地区	82 100.0	8 9.8	40 48.8	33 40.2	1 1.2
相互台地区	39 100.0	3 7.7	20 51.3	14 35.9	2 5.1
那智が丘地区	35 100.0	6 17.1	19 54.3	10 28.6	-

（2）社会福祉協議会に期待する役割

問 21 社会福祉協議会では前ページのような活動を主に行っていますが、今後どのような分野での役割を期待しますか。（○は3つまで）



社会福祉協議会に期待する役割についてたずねたところ、「高齢者の介護や見守りなどに関すること」37.2%が最も多く、以下「福祉に関する情報の発信」26.4%、「地域福祉活動や住民参加を支援すること」23.8%、「子どもの育成に関すること」23.5%、「あらゆる相談に応じること」20.7%となっている。

- 年齢（6区分）別にみると、10～20代、30代、40代では「子どもの育成に関すること」が30～50%台と、60代、70代以上では「高齢者の介護や見守りなどに関すること」が40%以上とほかの年代に比べて多くなっている。

また、50代では「ボランティアの育成に関すること」22.7%がほかの年代に比べて多くなっている。

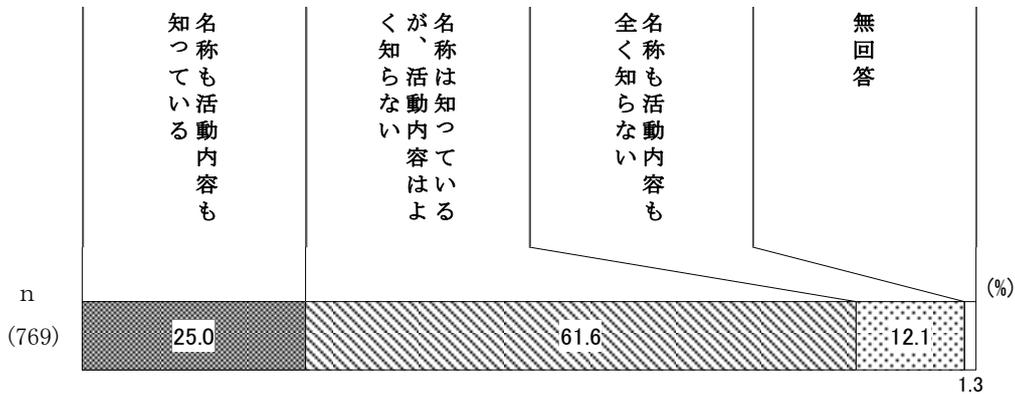
【性・年齢（6区分）・世帯構成・居住地区別】

	調査数	高齢者の介護や見守りなどに関すること	福祉に関する情報の発信	地域福祉活動や住民参加を支援すること	子どもの育成に関すること	あらゆる相談に応じること	障がい者の支援に関すること	福祉教育や福祉活動に関すること	ボランティアの育成に関すること	災害時のボランティア受入調整に関すること	生活困窮者の支援に関すること	各種団体やサークル活動等との育成や連携を図ること	権利擁護に関すること	その他	特になし	無回答
全体	769	286	203	183	181	159	114	108	94	84	68	61	13	8	77	25
	100.0	37.2	26.4	23.8	23.5	20.7	14.8	14.0	12.2	10.9	8.8	7.9	1.7	1.0	10.0	3.3
性別																
男性	296	114	69	83	71	48	42	45	37	34	28	28	3	3	33	7
	100.0	38.5	23.3	28.0	24.0	16.2	14.2	15.2	12.5	11.5	9.5	9.5	1.0	1.0	11.1	2.4
女性	410	146	119	86	95	89	59	53	52	42	36	31	10	5	41	17
	100.0	35.6	29.0	21.0	23.2	21.7	14.4	12.9	12.7	10.2	8.8	7.6	2.4	1.2	10.0	4.1
年齢（6区分）																
10～20代	68	18	21	13	26	12	16	6	6	7	7	8	2	1	9	-
	100.0	26.5	30.9	19.1	38.2	17.6	23.5	8.8	8.8	10.3	10.3	11.8	2.9	1.5	13.2	-
30代	115	35	22	17	60	26	15	19	7	14	13	7	1	1	11	1
	100.0	30.4	19.1	14.8	52.2	22.6	13.0	16.5	6.1	12.2	11.3	6.1	0.9	0.9	9.6	0.9
40代	141	54	36	25	44	29	24	28	11	18	7	11	2	2	12	2
	100.0	38.3	25.5	17.7	31.2	20.6	17.0	19.9	7.8	12.8	5.0	7.8	1.4	1.4	8.5	1.4
50代	132	48	35	33	20	33	16	20	30	20	13	12	2	1	13	-
	100.0	36.4	26.5	25.0	15.2	25.0	12.1	15.2	22.7	15.2	9.8	9.1	1.5	0.8	9.8	-
60代	169	72	55	55	18	35	21	25	22	14	15	10	3	1	15	7
	100.0	42.6	32.5	32.5	10.7	20.7	12.4	14.8	13.0	8.3	8.9	5.9	1.8	0.6	8.9	4.1
70代以上	134	56	32	37	12	23	21	8	16	9	12	12	2	2	16	15
	100.0	41.8	23.9	27.6	9.0	17.2	15.7	6.0	11.9	6.7	9.0	9.0	1.5	1.5	11.9	11.2
世帯構成																
単身世帯	35	12	9	10	3	10	6	1	7	5	5	1	-	1	5	-
	100.0	34.3	25.7	28.6	8.6	28.6	17.1	2.9	20.0	14.3	14.3	2.9	-	2.9	14.3	-
夫婦のみ（一世帯世帯）	194	71	50	61	37	38	29	27	25	18	18	12	-	-	23	9
	100.0	36.6	25.8	31.4	19.1	19.6	14.9	13.9	12.9	9.3	9.3	6.2	-	-	11.9	4.6
親と子（二世帯世帯）	413	150	109	87	110	86	61	63	46	43	37	40	8	3	39	10
	100.0	36.3	26.4	21.1	26.6	20.8	14.8	15.3	11.1	10.4	9.0	9.7	1.9	0.7	9.4	2.4
親と子と孫（三世帯世帯）	103	44	26	21	26	21	13	13	14	15	7	8	4	2	10	4
	100.0	42.7	25.2	20.4	25.2	20.4	12.6	12.6	13.6	14.6	6.8	7.8	3.9	1.9	9.7	3.9
その他	13	7	5	2	2	3	4	2	2	1	-	-	1	1	-	1
	100.0	53.8	38.5	15.4	15.4	23.1	30.8	15.4	15.4	7.7	-	-	7.7	7.7	-	7.7
居住地区																
増田地区	150	48	32	30	42	36	25	19	17	17	13	18	3	1	16	5
	100.0	32.0	21.3	20.0	28.0	24.0	16.7	12.7	11.3	11.3	8.7	12.0	2.0	0.7	10.7	3.3
増田西地区	99	34	26	27	16	22	14	15	10	16	8	3	2	-	17	3
	100.0	34.3	26.3	27.3	16.2	22.2	14.1	15.2	10.1	16.2	8.1	3.0	2.0	-	17.2	3.0
名取が丘地区	62	29	17	15	10	12	13	6	8	5	7	4	1	-	5	2
	100.0	46.8	27.4	24.2	16.1	19.4	21.0	9.7	12.9	8.1	11.3	6.5	1.6	-	8.1	3.2
関上地区	13	7	4	1	2	8	3	2	-	-	-	-	-	-	-	1
	100.0	53.8	30.8	7.7	15.4	61.5	23.1	15.4	-	-	-	-	-	-	-	7.7
下増田地区	64	20	10	13	19	16	12	7	9	6	3	2	1	2	7	1
	100.0	31.3	15.6	20.3	29.7	25.0	18.8	10.9	14.1	9.4	4.7	3.1	1.6	3.1	10.9	1.6
館腰地区	72	21	24	22	14	7	11	10	12	7	7	6	-	1	9	3
	100.0	29.2	33.3	30.6	19.4	9.7	15.3	13.9	16.7	9.7	9.7	8.3	-	1.4	12.5	4.2
愛島地区	82	37	27	16	15	16	13	8	8	7	8	6	3	2	5	3
	100.0	45.1	32.9	19.5	18.3	19.5	15.9	9.8	9.8	8.5	9.8	7.3	3.7	2.4	6.1	3.7
高館地区	61	29	14	14	16	12	8	9	7	7	7	5	2	1	9	1
	100.0	47.5	23.0	23.0	26.2	19.7	13.1	14.8	11.5	11.5	11.5	8.2	3.3	1.6	14.8	1.6
ゆりが丘・みどり台地区	82	32	22	24	21	17	7	14	12	12	7	12	-	-	5	1
	100.0	39.0	26.8	29.3	25.6	20.7	8.5	17.1	14.6	14.6	8.5	14.6	-	-	6.1	1.2
相互台地区	39	15	13	10	14	3	3	9	5	2	4	2	-	1	2	4
	100.0	38.5	33.3	25.6	35.9	7.7	7.7	23.1	12.8	5.1	10.3	5.1	-	2.6	5.1	10.3
那智が丘地区	35	11	11	9	11	9	4	7	5	3	2	3	1	-	2	-
	100.0	31.4	31.4	25.7	31.4	25.7	11.4	20.0	14.3	8.6	5.7	8.6	2.9	-	5.7	-

7. 民生委員・児童委員や各種制度について

（1）民生委員・児童委員の存在や活動内容の認知度

問 22 民生委員・児童委員の存在や活動内容について知っていますか。（○は1つ）



民生委員・児童委員の存在や活動内容の認知度についてたずねたところ、「名称は知っているが、活動内容はよく知らない」が最も多く61.6%を占めており、以下「名称も活動内容も知っている」25.0%となっている。

なお、「名称も活動内容も全く知らない」は12.1%となっている。

用語の説明

民生委員・児童委員

民生委員・児童委員は地域住民の中から選ばれ、厚生労働大臣の委嘱を受けて活動します。給与は支給されません。

常に住民の立場に立って相談に応じ、住民と行政や専門機関をつなぎ、問題解決をサポートします。

名取市内では129名が活動しています。

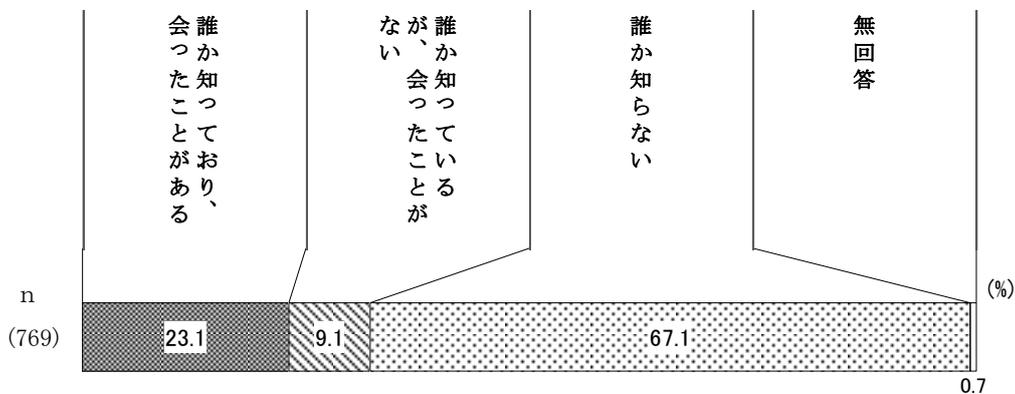
- 性別にみると、女性では「名称も活動内容も知っている」「名称は知っているが、活動内容はよく知らない」と回答した認知している人は88.8%と男性をやや上回っている。
- 年齢（6区分）別にみると、おおむね年代が上がるほど「名称も活動内容も知っている」「名称は知っているが、活動内容はよく知らない」と回答した認知している人が多く、50代、60代、70代以上では95%以上を占めている。

【性・年齢（6区分）・世帯構成・居住地区別】

	調査数	名称も活動内容も知っている	名称は知っているが、活動内容はよく知らない	名称も活動内容も全く知らない	無回答
上段：件数 下段：%					
全体	769 100.0	192 25.0	474 61.6	93 12.1	10 1.3
性別					
男性	296 100.0	70 23.6	181 61.1	42 14.2	3 1.0
女性	410 100.0	102 24.9	262 63.9	41 10.0	5 1.2
年齢（6区分）					
10～20代	68 100.0	4 5.9	33 48.5	30 44.1	1 1.5
30代	115 100.0	19 16.5	62 53.9	33 28.7	1 0.9
40代	141 100.0	24 17.0	95 67.4	18 12.8	4 2.8
50代	132 100.0	38 28.8	88 66.7	5 3.8	1 0.8
60代	169 100.0	56 33.1	109 64.5	3 1.8	1 0.6
70代以上	134 100.0	48 35.8	80 59.7	4 3.0	2 1.5
世帯構成					
単身世帯	35 100.0	11 31.4	19 54.3	4 11.4	1 2.9
夫婦のみ（一世帯世帯）	194 100.0	63 32.5	110 56.7	19 9.8	2 1.0
親と子（二世帯世帯）	413 100.0	86 20.8	260 63.0	62 15.0	5 1.2
親と子と孫（三世帯世帯）	103 100.0	29 28.2	65 63.1	7 6.8	2 1.9
その他	13 100.0	1 7.7	12 92.3	-	-
居住地区					
増田地区	150 100.0	39 26.0	88 58.7	20 13.3	3 2.0
増田西地区	99 100.0	24 24.2	60 60.6	14 14.1	1 1.0
名取が丘地区	62 100.0	17 27.4	33 53.2	11 17.7	1 1.6
閑上地区	13 100.0	3 23.1	10 76.9	-	-
下増田地区	64 100.0	14 21.9	45 70.3	4 6.3	1 1.6
館腰地区	72 100.0	20 27.8	40 55.6	11 15.3	1 1.4
愛島地区	82 100.0	20 24.4	54 65.9	7 8.5	1 1.2
高館地区	61 100.0	15 24.6	35 57.4	11 18.0	-
ゆりが丘・みどり台地区	82 100.0	19 23.2	54 65.9	8 9.8	1 1.2
相互台地区	39 100.0	9 23.1	25 64.1	5 12.8	-
那智が丘地区	35 100.0	10 28.6	23 65.7	2 5.7	-

（2）地域の民生委員・児童委員の個人認知度

問 23 あなたの住んでいる地域の民生委員・児童委員が誰か知っていますか。（○は1つ）



地域の民生委員・児童委員の個人認知度についてたずねたところ、「誰か知り、会ったことがある」23.1%、「誰か知っているが、会ったことがない」9.1%となっている。

なお、最も多かったのは「誰か知らない」67.1%となっている。

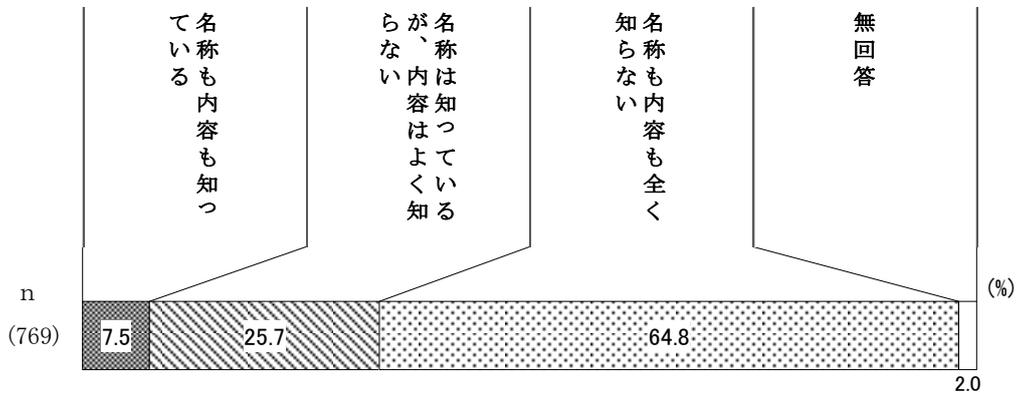
- 性別にみると、男性では「誰か知り、会ったことがある」「誰か知っているが、会ったことがない」と回答した認知している人は33.1%と女性をやや上回っている。
- 年齢（6区分）別にみると、年代が上がるほど「誰か知り、会ったことがある」が多く、70代以上では48.5%となっている。
- 居住地区別にみると、閑上地区、那智が丘地区では「誰か知り、会ったことがある」が30～40%台とほかの居住地区に比べて多くなっている。
一方、増田地区、下増田地区、愛島地区、相互台地区では「誰か知らない」が70%以上と多くなっている。

【性・年齢（6区分）・世帯構成・居住地区別】

	調査数	誰か知っており、会ったことがある	誰か知っているが、会ったことがない	誰か知らない	無回答
上段：件数 下段：%					
全体	769 100.0	178 23.1	70 9.1	516 67.1	5 0.7
性別					
男性	296 100.0	71 24.0	27 9.1	197 66.6	1 0.3
女性	410 100.0	90 22.0	39 9.5	277 67.6	4 1.0
年齢（6区分）					
10～20代	68 100.0	3 4.4	3 4.4	62 91.2	- -
30代	115 100.0	10 8.7	3 2.6	102 88.7	- -
40代	141 100.0	19 13.5	13 9.2	106 75.2	3 2.1
50代	132 100.0	30 22.7	18 13.6	84 63.6	- -
60代	169 100.0	49 29.0	16 9.5	102 60.4	2 1.2
70代以上	134 100.0	65 48.5	17 12.7	52 38.8	- -
世帯構成					
単身世帯	35 100.0	11 31.4	3 8.6	21 60.0	- -
夫婦のみ（一世帯世帯）	194 100.0	55 28.4	15 7.7	123 63.4	1 0.5
親と子（二世帯世帯）	413 100.0	79 19.1	40 9.7	291 70.5	3 0.7
親と子と孫（三世帯世帯）	103 100.0	27 26.2	10 9.7	65 63.1	1 1.0
その他	13 100.0	4 30.8	1 7.7	8 61.5	- -
居住地区					
増田地区	150 100.0	29 19.3	12 8.0	107 71.3	2 1.3
増田西地区	99 100.0	25 25.3	7 7.1	67 67.7	- -
名取が丘地区	62 100.0	18 29.0	7 11.3	37 59.7	- -
閑上地区	13 100.0	6 46.2	2 15.4	5 38.5	- -
下増田地区	64 100.0	12 18.8	6 9.4	45 70.3	1 1.6
館腰地区	72 100.0	21 29.2	5 6.9	46 63.9	- -
愛島地区	82 100.0	14 17.1	4 4.9	63 76.8	1 1.2
高笹地区	61 100.0	17 27.9	7 11.5	37 60.7	- -
ゆりが丘・みどり台地区	82 100.0	15 18.3	10 12.2	56 68.3	1 1.2
相互台地区	39 100.0	6 15.4	5 12.8	28 71.8	- -
那智が丘地区	35 100.0	12 34.3	5 14.3	18 51.4	- -

（3）日常生活自立支援事業の認知度

問 24 日常生活自立支援事業について知っていますか。（○は1つ）



日常生活自立支援事業の認知度についてたずねたところ、「名称は知っているが、内容はよく知らない」25.7%、「名称も内容も知っている」7.5%となっている。

なお、最も多かったのは「名称も内容も全く知らない」64.8%となっている。

用語の説明

日常生活自立支援事業

判断能力の不十分な方々を対象に、福祉サービス利用手続きに関する相談・援助、日常的な金銭管理等を行う制度です。
窓口業務等を名取市の社会福祉協議会で行っています。（愛称「まもりーぶ」）

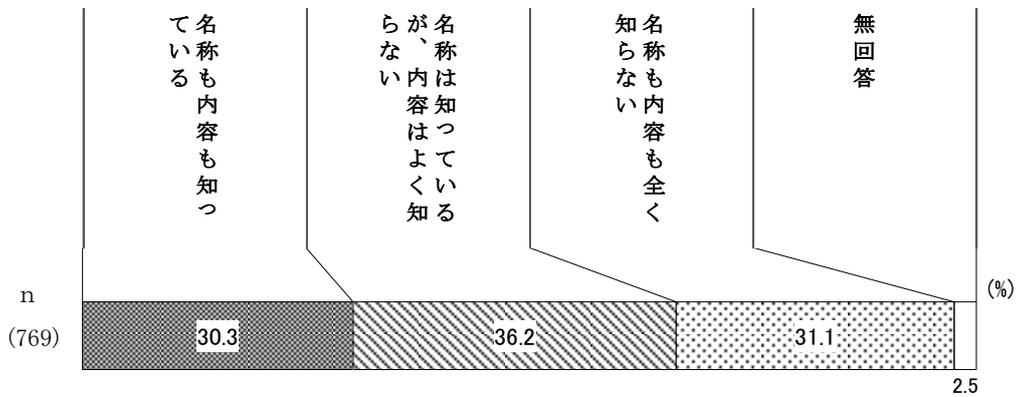
- 性別にみると、女性では「名称も内容も知っている」「名称は知っているが、内容はよく知らない」と回答した認知している人は34.4%と男性をやや上回っている。
- 年齢（6区分）別にみると、おおむね年代が上がるほど「名称も内容も知っている」「名称は知っているが、内容はよく知らない」と回答した認知している人が多く、70代以上では50.0%となっている。

【性・年齢（6区分）・世帯構成・居住地区別】

	調査数	名称も内容も知っている	名称は知っているが、内容はよく知らない	名称も内容も全く知らない	無回答
上段：件数 下段：%					
全体	769 100.0	58 7.5	198 25.7	498 64.8	15 2.0
性別					
男性	296 100.0	15 5.1	76 25.7	201 67.9	4 1.4
女性	410 100.0	35 8.5	106 25.9	262 63.9	7 1.7
年齢（6区分）					
10～20代	68 100.0	2 2.9	12 17.6	51 75.0	3 4.4
30代	115 100.0	7 6.1	18 15.7	90 78.3	-
40代	141 100.0	11 7.8	23 16.3	107 75.9	-
50代	132 100.0	5 3.8	43 32.6	84 63.6	-
60代	169 100.0	18 10.7	45 26.6	103 60.9	3 1.8
70代以上	134 100.0	14 10.4	53 39.6	59 44.0	8 6.0
世帯構成					
単身世帯	35 100.0	3 8.6	15 42.9	16 45.7	1 2.9
夫婦のみ（一世帯世帯）	194 100.0	17 8.8	57 29.4	116 59.8	4 2.1
親と子（二世帯世帯）	413 100.0	25 6.1	89 21.5	295 71.4	4 1.0
親と子と孫（三世帯世帯）	103 100.0	12 11.7	30 29.1	57 55.3	4 3.9
その他	13 100.0	-	4 30.8	8 61.5	1 7.7
居住地区					
増田地区	150 100.0	13 8.7	38 25.3	97 64.7	2 1.3
増田西地区	99 100.0	7 7.1	32 32.3	58 58.6	2 2.0
名取が丘地区	62 100.0	6 9.7	14 22.6	41 66.1	1 1.6
閑上地区	13 100.0	-	7 53.8	6 46.2	-
下増田地区	64 100.0	4 6.3	13 20.3	43 67.2	4 6.3
館腰地区	72 100.0	5 6.9	27 37.5	39 54.2	1 1.4
愛島地区	82 100.0	5 6.1	14 17.1	63 76.8	-
高館地区	61 100.0	4 6.6	18 29.5	37 60.7	2 3.3
ゆりが丘・みどり台地区	82 100.0	7 8.5	15 18.3	59 72.0	1 1.2
相互台地区	39 100.0	4 10.3	9 23.1	25 64.1	1 2.6
那智が丘地区	35 100.0	2 5.7	9 25.7	24 68.6	-

（4）成年後見制度の認知度

問 25 成年後見制度について知っていますか。（○は1つ）



成年後見制度の認知度についてたずねたところ、「名称は知っているが、内容はよく知らない」36.2%、「名称も内容も知っている」30.3%となっている。

なお、「名称も内容も全く知らない」は31.1%となっている。

用語の説明

成年後見制度

認知症、知的障がい、精神障がい、発達障がい等によって物事を判断する能力が十分でない方について、「成年後見人」等を選ぶことで、法律的に支援する制度です。

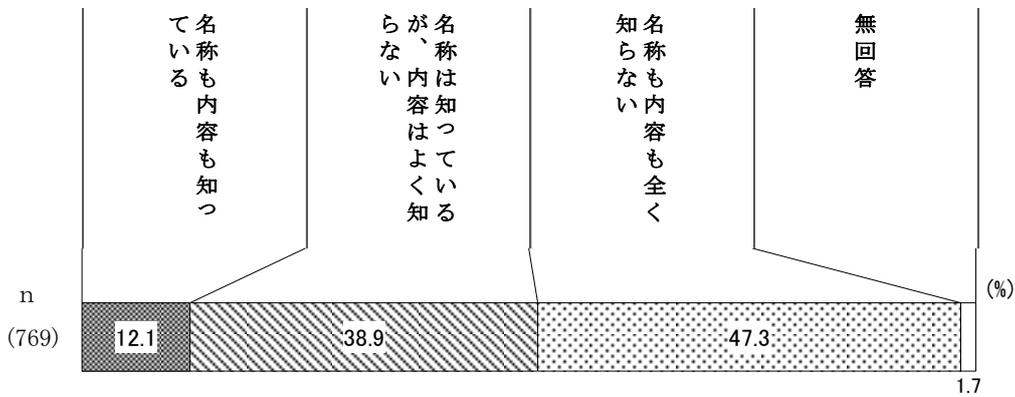
- 年齢（6区分）別にみると、おおむね年代が若いほど「名称も内容も全く知らない」が多く、10～20代では48.5%となっている。

【性・年齢（6区分）・世帯構成・居住地区別】

	調査数	名称も内容も知っている	名称は知っているが、内容はよく知らない	名称も内容も全く知らない	無回答
上段：件数 下段：%					
全体	769 100.0	233 30.3	278 36.2	239 31.1	19 2.5
性別					
男性	296 100.0	92 31.1	105 35.5	94 31.8	5 1.7
女性	410 100.0	123 30.0	154 37.6	122 29.8	11 2.7
年齢（6区分）					
10～20代	68 100.0	8 11.8	25 36.8	33 48.5	2 2.9
30代	115 100.0	30 26.1	38 33.0	47 40.9	-
40代	141 100.0	45 31.9	47 33.3	48 34.0	1 0.7
50代	132 100.0	46 34.8	53 40.2	32 24.2	1 0.8
60代	169 100.0	62 36.7	57 33.7	44 26.0	6 3.6
70代以上	134 100.0	37 27.6	57 42.5	31 23.1	9 6.7
世帯構成					
単身世帯	35 100.0	9 25.7	14 40.0	11 31.4	1 2.9
夫婦のみ（一世帯世帯）	194 100.0	67 34.5	69 35.6	52 26.8	6 3.1
親と子（二世帯世帯）	413 100.0	121 29.3	145 35.1	142 34.4	5 1.2
親と子と孫（三世帯世帯）	103 100.0	29 28.2	45 43.7	24 23.3	5 4.9
その他	13 100.0	3 23.1	4 30.8	5 38.5	1 7.7
居住地区					
増田地区	150 100.0	42 28.0	61 40.7	44 29.3	3 2.0
増田西地区	99 100.0	35 35.4	27 27.3	34 34.3	3 3.0
名取が丘地区	62 100.0	16 25.8	19 30.6	26 41.9	1 1.6
閑上地区	13 100.0	3 23.1	6 46.2	3 23.1	1 7.7
下増田地区	64 100.0	15 23.4	25 39.1	20 31.3	4 6.3
館腰地区	72 100.0	21 29.2	26 36.1	21 29.2	4 5.6
愛島地区	82 100.0	24 29.3	32 39.0	26 31.7	-
高笹地区	61 100.0	18 29.5	19 31.1	23 37.7	1 1.6
ゆりが丘・みどり台地区	82 100.0	30 36.6	34 41.5	18 22.0	-
相互台地区	39 100.0	15 38.5	12 30.8	11 28.2	1 2.6
那智が丘地区	35 100.0	11 31.4	16 45.7	8 22.9	-

（5）生活困窮者自立支援法の認知度

問 26 生活困窮者自立支援法について知っていますか。（○は1つ）



生活困窮者自立支援法の認知度についてたずねたところ、「名称は知っているが、内容はよく知らない」38.9%、「名称も内容も知っている」12.1%となっている。

なお、最も多かったのは「名称も内容も全く知らない」47.3%となっている。

用語の説明

生活困窮者自立支援法

生活保護に至る前の段階の方が、自立した生活を送れるよう支援するための法律です。
 名取市役所では、生活困窮者自立相談支援員が、就労や住まいなど自立に向けた相談を受け付けています。

■ 属性別にみても大きな違いはみられない。

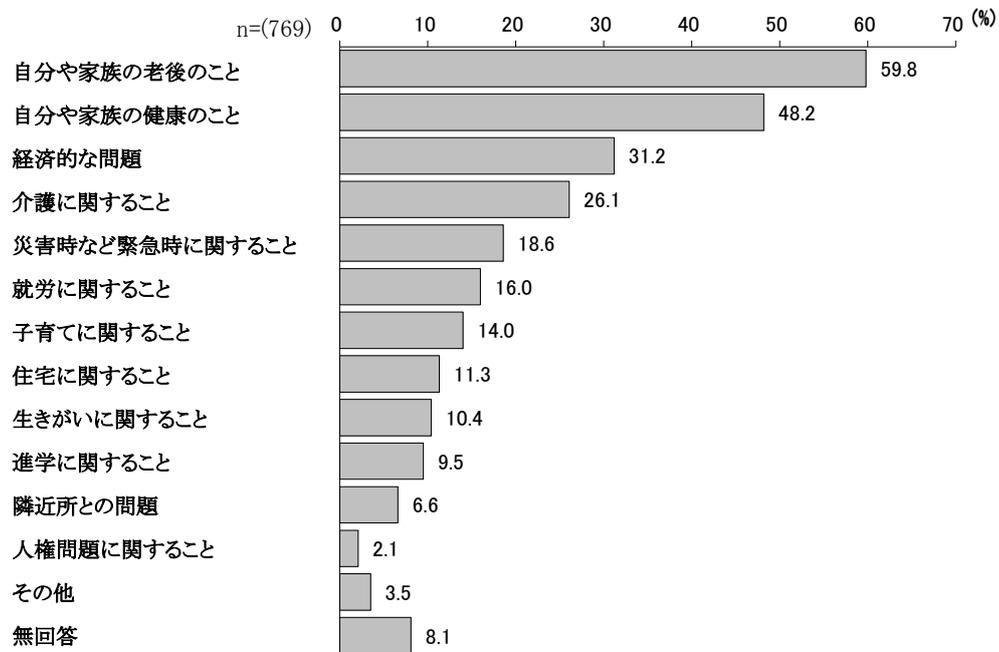
【性・年齢（6区分）・世帯構成・居住地区別】

	調査数	名称も内容も知っている	名称は知っているが、内容はよく知らない	名称も内容も全く知らない	無回答
上段：件数 下段：%					
全体	769 100.0	93 12.1	299 38.9	364 47.3	13 1.7
性別					
男性	296 100.0	30 10.1	115 38.9	146 49.3	5 1.7
女性	410 100.0	58 14.1	156 38.0	191 46.6	5 1.2
年齢（6区分）					
10～20代	68 100.0	10 14.7	20 29.4	36 52.9	2 2.9
30代	115 100.0	13 11.3	33 28.7	69 60.0	-
40代	141 100.0	19 13.5	49 34.8	73 51.8	-
50代	132 100.0	14 10.6	60 45.5	58 43.9	-
60代	169 100.0	18 10.7	63 37.3	84 49.7	4 2.4
70代以上	134 100.0	17 12.7	68 50.7	42 31.3	7 5.2
世帯構成					
単身世帯	35 100.0	1 2.9	22 62.9	12 34.3	-
夫婦のみ（一世帯世帯）	194 100.0	23 11.9	74 38.1	93 47.9	4 2.1
親と子（二世帯世帯）	413 100.0	54 13.1	148 35.8	208 50.4	3 0.7
親と子と孫（三世帯世帯）	103 100.0	14 13.6	42 40.8	42 40.8	5 4.9
その他	13 100.0	1 7.7	7 53.8	4 30.8	1 7.7
居住地区					
増田地区	150 100.0	19 12.7	50 33.3	79 52.7	2 1.3
増田西地区	99 100.0	13 13.1	40 40.4	43 43.4	3 3.0
名取が丘地区	62 100.0	5 8.1	27 43.5	29 46.8	1 1.6
閑上地区	13 100.0	2 15.4	4 30.8	7 53.8	-
下増田地区	64 100.0	8 12.5	26 40.6	27 42.2	3 4.7
館腰地区	72 100.0	5 6.9	38 52.8	28 38.9	1 1.4
愛島地区	82 100.0	10 12.2	27 32.9	44 53.7	1 1.2
高笹地区	61 100.0	6 9.8	24 39.3	30 49.2	1 1.6
ゆりが丘・みどり台地区	82 100.0	17 20.7	31 37.8	34 41.5	-
相互台地区	39 100.0	5 12.8	12 30.8	21 53.8	1 2.6
那智が丘地区	35 100.0	3 8.6	15 42.9	17 48.6	-

8. 生活上の悩みや手助け等について

（1）日々の生活での悩みや不安

問 27 日々の生活で悩みや不安を感じていることがありますか。（○はいくつでも）



日々の生活での悩みや不安についてたずねたところ、「自分や家族の老後のこと」59.8%が最も多く、以下「自分や家族の健康のこと」48.2%、「経済的な問題」31.2%、「介護に関すること」26.1%、「災害時など緊急時に関すること」18.6%となっている。

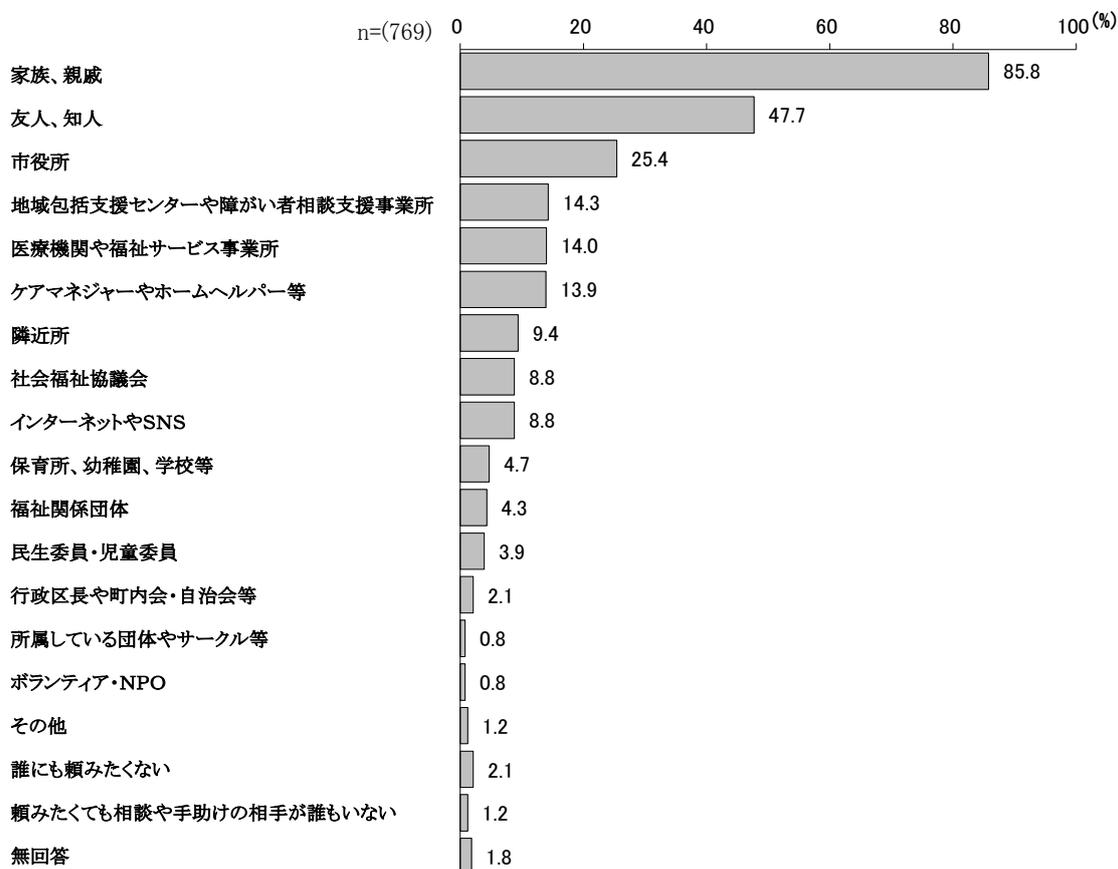
- 年齢（6区分）別にみると、10～20代では「就労に関すること」が47.1%と、30代では「子育てに関すること」が47.8%と、50代、60代では「自分や家族の老後のこと」が60～70%台とそれぞれほかの年代に比べて多くなっている。
- 世帯構成別にみると、単身世帯では「経済的な問題」「災害時など緊急時に関すること」がほかの世帯構成に比べて多くなっている。

【性・年齢（6区分）・世帯構成・居住地区別】

	調査数	自分や家族の老後のこと	自分や家族の健康のこと	経済的な問題	介護に関すること	災害時など緊急時に関すること	就労に関すること	子育てに関すること	住宅に関すること	生きがいに関すること	進学に関すること	隣近所との問題	人権問題に関すること	その他	無回答
全体	769	460	371	240	201	143	123	108	87	80	73	51	16	27	62
	100.0	59.8	48.2	31.2	26.1	18.6	16.0	14.0	11.3	10.4	9.5	6.6	2.1	3.5	8.1
性別															
男性	296	185	153	92	77	54	50	38	34	38	19	21	6	8	25
	100.0	62.5	51.7	31.1	26.0	18.2	16.9	12.8	11.5	12.8	6.4	7.1	2.0	2.7	8.4
女性	410	242	196	131	109	80	68	62	48	38	48	28	10	15	29
	100.0	59.0	47.8	32.0	26.6	19.5	16.6	15.1	11.7	9.3	11.7	6.8	2.4	3.7	7.1
年齢（6区分）															
10～20代	68	37	30	25	9	17	32	9	6	13	6	2	3	1	3
	100.0	54.4	44.1	36.8	13.2	25.0	47.1	13.2	8.8	19.1	8.8	2.9	4.4	1.5	4.4
30代	115	55	51	50	13	22	32	55	19	11	26	12	5	3	5
	100.0	47.8	44.3	43.5	11.3	19.1	27.8	47.8	16.5	9.6	22.6	10.4	4.3	2.6	4.3
40代	141	81	66	46	34	18	26	34	16	15	26	9	3	4	8
	100.0	57.4	46.8	32.6	24.1	12.8	18.4	24.1	11.3	10.6	18.4	6.4	2.1	2.8	5.7
50代	132	94	67	41	46	25	22	5	21	15	11	10	1	5	6
	100.0	71.2	50.8	31.1	34.8	18.9	16.7	3.8	15.9	11.4	8.3	7.6	0.8	3.8	4.5
60代	169	111	79	43	50	31	10	2	11	17	1	11	3	8	19
	100.0	65.7	46.7	25.4	29.6	18.3	5.9	1.2	6.5	10.1	0.6	6.5	1.8	4.7	11.2
70代以上	134	77	74	33	47	27	1	-	12	8	2	7	1	5	21
	100.0	57.5	55.2	24.6	35.1	20.1	0.7	-	9.0	6.0	1.5	5.2	0.7	3.7	15.7
世帯構成															
単身世帯	35	19	15	15	9	10	4	2	7	4	3	3	-	2	1
	100.0	54.3	42.9	42.9	25.7	28.6	11.4	5.7	20.0	11.4	8.6	8.6	-	5.7	2.9
夫婦のみ（一世帯世帯）	194	126	105	49	47	35	25	9	21	24	3	10	2	9	21
	100.0	64.9	54.1	25.3	24.2	18.0	12.9	4.6	10.8	12.4	1.5	5.2	1.0	4.6	10.8
親と子（二世帯世帯）	413	238	201	143	110	73	78	80	50	44	55	33	12	11	27
	100.0	57.6	48.7	34.6	26.6	17.7	18.9	19.4	12.1	10.7	13.3	8.0	2.9	2.7	6.5
親と子と孫（三世帯世帯）	103	63	41	25	29	20	14	12	6	8	9	5	2	3	10
	100.0	61.2	39.8	24.3	28.2	19.4	13.6	11.7	5.8	7.8	8.7	4.9	1.9	2.9	9.7
その他	13	9	8	6	3	4	1	2	2	-	1	-	-	1	1
	100.0	69.2	61.5	46.2	23.1	30.8	7.7	15.4	15.4	-	7.7	-	-	7.7	7.7
居住地区															
増田地区	150	83	79	40	37	27	23	26	14	15	13	6	3	3	13
	100.0	55.3	52.7	26.7	24.7	18.0	15.3	17.3	9.3	10.0	8.7	4.0	2.0	2.0	8.7
増田西地区	99	62	42	33	18	20	18	15	15	7	9	6	1	8	4
	100.0	62.6	42.4	33.3	18.2	20.2	18.2	15.2	15.2	7.1	9.1	6.1	1.0	8.1	4.0
名取が丘地区	62	40	28	30	19	13	10	5	10	7	5	6	1	1	7
	100.0	64.5	45.2	48.4	30.6	21.0	16.1	8.1	16.1	11.3	8.1	9.7	1.6	1.6	11.3
関上地区	13	10	10	3	4	2	4	-	3	2	-	1	-	1	-
	100.0	76.9	76.9	23.1	30.8	15.4	30.8	-	23.1	15.4	-	7.7	-	7.7	-
下増田地区	64	31	33	18	16	11	7	10	3	6	7	2	2	1	7
	100.0	48.4	51.6	28.1	25.0	17.2	10.9	15.6	4.7	9.4	10.9	3.1	3.1	1.6	10.9
館腰地区	72	40	37	24	12	21	12	9	9	7	3	7	4	2	8
	100.0	55.6	51.4	33.3	16.7	29.2	16.7	12.5	12.5	9.7	4.2	9.7	5.6	2.8	11.1
愛島地区	82	50	34	20	26	9	16	9	5	8	6	6	1	3	2
	100.0	61.0	41.5	24.4	31.7	11.0	19.5	11.0	6.1	9.8	7.3	7.3	1.2	3.7	2.4
高館地区	61	45	34	24	21	18	9	8	7	9	8	5	2	1	4
	100.0	73.8	55.7	39.3	34.4	29.5	14.8	13.1	11.5	14.8	13.1	8.2	3.3	1.6	6.6
ゆりが丘・みどり台地区	82	52	38	19	19	11	9	11	8	11	9	6	2	3	9
	100.0	63.4	46.3	23.2	23.2	13.4	11.0	13.4	9.8	13.4	11.0	7.3	2.4	3.7	11.0
相互台地区	39	22	17	12	16	5	9	10	5	5	7	3	-	1	4
	100.0	56.4	43.6	30.8	41.0	12.8	23.1	25.6	12.8	12.8	17.9	7.7	-	2.6	10.3
那智が丘地区	35	22	15	13	10	4	6	3	6	2	4	2	-	2	4
	100.0	62.9	42.9	37.1	28.6	11.4	17.1	8.6	17.1	5.7	11.4	5.7	-	5.7	11.4

（2）生活上の問題について相談や手助けを頼みたい意向

問 28 生活上の問題で相談や助けを必要とするとき、誰に相談したり、手助けを頼んだりしたいですか。（○は5つまで）



生活上の問題について相談や手助けを頼みたい意向についてたずねたところ、「家族、親戚」85.8%が最も多く、以下「友人、知人」47.7%、「市役所」25.4%、「地域包括支援センターや障がい者相談支援事業所」14.3%、「医療機関や福祉サービス事業所」14.0%、「ケアマネジャーやホームヘルパー等」13.9%となっている。

用語の説明

地域包括支援センター	高齢者やその家族に対し、介護の方法や介護保険サービス利用などに関する相談に応じたり、高齢者の権利擁護や介護予防のためのサービス、あるいは介護サービス事業者などとの調整を行っています。
障がい者相談支援事業所	障がい者（児）やその家族が地域で安心して日常生活や社会生活を営むことができるよう、相談支援専門員が障害福祉サービス利用のための相談や日常生活全般に関する相談等に応じます。 障がいの程度や生活状況に応じて、適切なサービスを提供するため「サービス等利用計画案」の作成も行います。
ケアマネジャー	介護保険制度による各種介護サービスを利用するにあたって、それぞれの状況に応じた適切なサービス利用のための個別計画を作成したり、サービス提供事業者との調整などを行います。
ホームヘルパー	介護を必要とする高齢者や障がい者などの家事や身体介護のお手伝いをします。
SNS	ソーシャル・ネットワーキング・サービス（Social Networking Service）の略。インターネット上において、利用者同士のつながりを支援するためのサービス。LINE、ツイッター、フェイスブック、インスタグラムなどがあります。

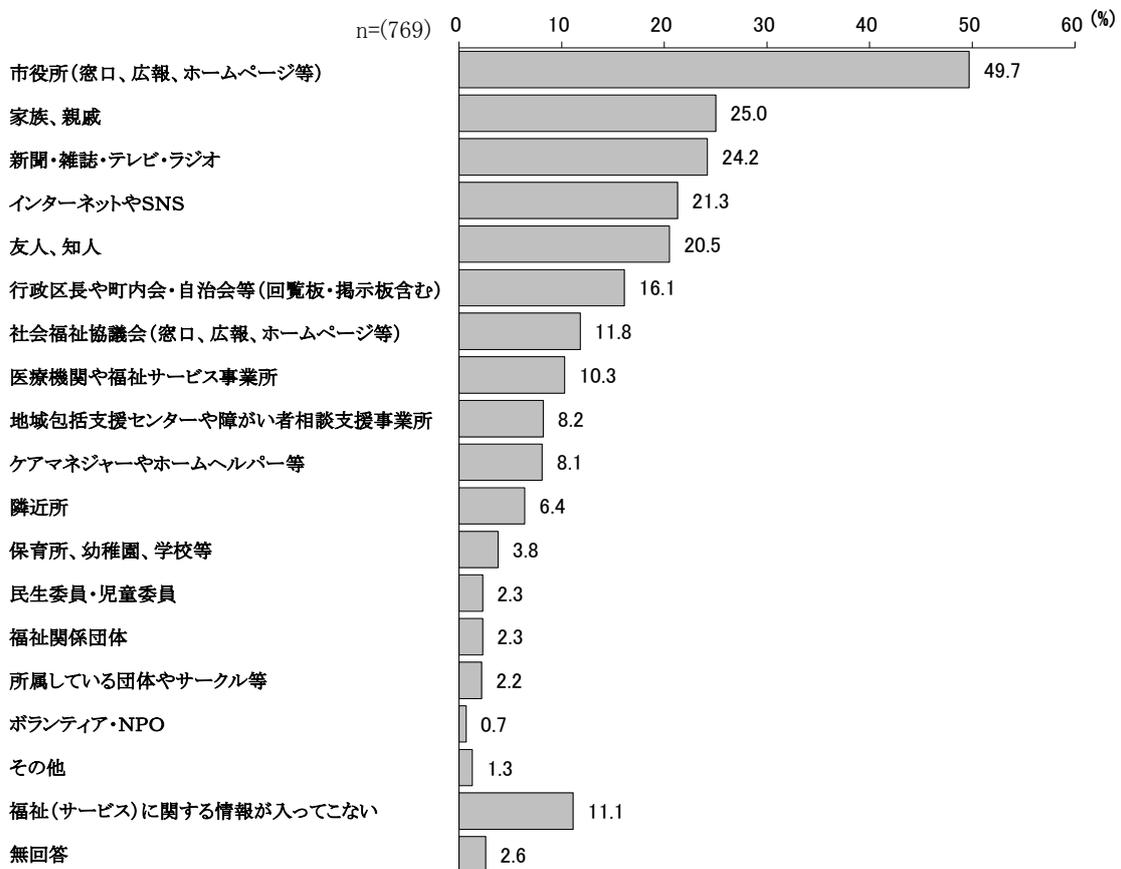
- 性別にみると、女性では「友人、知人」51.7%が男性に比べて多くなっている。
一方、男性では「市役所」が30.4%と女性に比べて多くなっている。
- 年齢（6区分）別にみると、おおむね年代が若いほど「友人、知人」が多く、10～20代では70.6%を占めている。
70代以上では「地域包括支援センターや障がい者相談支援事業所」「医療機関や福祉サービス事業所」「ケアマネジャーやホームヘルパー等」がほかの年代に比べて多くなっている。

【性・年齢（6区分）・世帯構成・居住地区別】

	調査数	家族、親戚	友人、知人	市役所	地域包括支援センターや障がい者相談支援事業所	医療機関や福祉サービス事業所	ケアマネジャーやホームヘルパー等	隣近所	社会福祉協議会	インターネットやSNS	保育所、幼稚園、学校等	福祉関係団体	民生委員・児童委員	行政長官や町内会・自治会等	所属している団体やサークル等	ボランティア・NPO	その他	誰にも頼みたくない	頼みたくないが相談や手助けの相手が誰もいない	無回答
全体	769	660	367	195	110	108	107	72	68	68	36	33	30	16	6	6	9	16	9	14
	100.0	85.8	47.7	25.4	14.3	14.0	13.9	9.4	8.8	8.8	4.7	4.3	3.9	2.1	0.8	0.8	1.2	2.1	1.2	1.8
性別																				
男性	296	252	131	90	36	42	41	29	26	30	15	11	12	9	1	1	2	6	5	6
	100.0	85.1	44.3	30.4	12.2	14.2	13.9	9.8	8.8	10.1	5.1	3.7	4.1	3.0	0.3	0.3	0.7	2.0	1.7	2.0
女性	410	352	212	90	63	56	58	39	36	34	20	20	15	5	4	4	7	8	4	5
	100.0	85.9	51.7	22.0	15.4	13.7	14.1	9.5	8.8	8.3	4.9	4.9	3.7	1.2	1.0	1.0	1.7	2.0	1.0	1.2
年齢（6区分）																				
10～20代	68	59	48	19	4	3	3	3	4	14	3	-	1	1	2	-	-	-	2	2
	100.0	86.8	70.6	27.9	5.9	4.4	4.4	4.4	5.9	20.6	4.4	-	1.5	1.5	2.9	-	-	-	2.9	2.9
30代	115	94	66	29	3	14	5	9	5	18	23	5	1	-	2	1	1	5	2	2
	100.0	81.7	57.4	25.2	2.6	12.2	4.3	7.8	4.3	15.7	20.0	4.3	0.9	-	1.7	0.9	0.9	4.3	1.7	1.7
40代	141	122	82	35	10	14	11	11	8	15	8	2	3	4	-	-	2.1	2.1	1.4	-
	100.0	86.5	58.2	24.8	7.1	9.9	7.8	7.8	5.7	10.6	5.7	1.4	2.1	2.8	-	-	2.1	2.1	1.4	-
50代	132	117	71	32	25	22	23	14	10	8	1	7	2	3	1	2	1	3	1	1
	100.0	88.6	53.8	24.2	18.9	16.7	17.4	10.6	7.6	6.1	0.8	5.3	1.5	2.3	0.8	1.5	0.8	2.3	0.8	0.8
60代	169	147	63	47	26	34	18	20	11	1	10	8	3	-	2	3	2	2	2	3
	100.0	87.0	37.3	27.8	15.4	20.1	10.7	11.8	6.5	0.6	5.9	4.7	1.8	-	1.2	1.8	1.2	1.2	1.2	1.8
70代以上	134	112	35	30	40	28	30	15	18	1	-	7	13	5	1	1	1	2	-	-
	100.0	83.6	26.1	22.4	29.9	20.9	22.4	11.2	13.4	0.7	-	5.2	9.7	3.7	0.7	0.7	1.5	-	-	4.5
世帯構成																				
単身世帯	35	28	18	13	8	5	2	2	2	1	1	-	2	2	-	1	-	-	-	-
	100.0	80.0	51.4	37.1	22.9	14.3	5.7	5.7	5.7	2.9	2.9	-	5.7	5.7	-	2.9	-	-	-	-
夫婦のみ（一世代世帯）	194	169	81	41	27	38	28	14	7	15	3	9	10	3	1	2	6	4	2	3
	100.0	87.1	41.8	21.1	13.9	19.6	14.4	7.2	3.6	7.7	1.5	4.6	5.2	1.5	0.5	1.0	3.1	2.1	1.0	1.5
親と子（二世代世帯）	413	356	214	109	50	50	53	40	44	46	25	19	10	8	5	3	3	9	7	4
	100.0	86.2	51.8	26.4	12.1	12.1	12.8	9.7	10.7	11.1	6.1	4.6	2.4	1.9	1.2	0.7	0.7	2.2	1.7	1.0
親と子と孫（三世代世帯）	103	85	45	26	22	14	18	12	11	4	6	4	6	3	-	-	-	3	-	6
	100.0	82.5	43.7	25.2	21.4	13.6	17.5	11.7	10.7	3.9	5.8	3.9	5.8	2.9	-	-	-	2.9	-	5.8
その他	13	11	5	3	2	1	5	1	4	1	-	1	1	-	-	-	-	-	-	1
	100.0	84.6	38.5	23.1	15.4	7.7	38.5	7.7	30.8	7.7	-	7.7	7.7	-	-	-	-	-	-	7.7
居住地区																				
増田地区	150	126	64	36	16	22	24	13	17	7	6	6	4	3	2	-	1	5	-	3
	100.0	84.0	42.7	24.0	10.7	14.7	16.0	8.7	11.3	4.7	4.0	4.0	2.7	2.0	1.3	-	0.7	3.3	-	2.0
増田西地区	99	86	50	21	15	19	10	9	7	10	6	4	4	1	1	-	1	1	-	3
	100.0	86.9	50.5	21.2	15.2	19.2	10.1	9.1	7.1	10.1	6.1	4.0	4.0	1.0	1.0	-	1.0	1.0	-	3.0
名取が丘地区	62	54	26	20	14	18	7	7	8	5	4	3	3	5	1	2	1	-	1	1
	100.0	87.1	41.9	32.3	22.6	29.0	11.3	11.3	12.9	8.1	6.5	4.8	4.8	8.1	1.6	3.2	1.6	-	1.6	1.6
関上地区	13	10	10	3	3	1	3	1	1	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
	100.0	76.9	76.9	23.1	23.1	7.7	23.1	7.7	7.7	7.7	-	-	-	7.7	-	-	-	-	-	-
下増田地区	64	55	30	13	10	4	12	6	3	9	6	1	-	-	1	-	1	-	1	3
	100.0	85.9	46.9	20.3	15.6	6.3	18.8	9.4	4.7	14.1	9.4	1.6	-	-	1.6	-	1.6	-	1.6	4.7
館腰地区	72	60	39	19	11	8	11	9	7	8	5	3	3	2	-	-	1	1	2	-
	100.0	83.3	54.2	26.4	15.3	11.1	15.3	12.5	9.7	11.1	6.9	4.2	4.2	2.8	-	-	1.4	1.4	2.8	-
愛島地区	82	74	37	15	14	7	12	2	6	2	2	4	4	1	-	2	1	3	1	-
	100.0	90.2	45.1	18.3	17.1	8.5	14.6	2.4	7.3	2.4	2.4	4.9	4.9	1.2	-	2.4	1.2	3.7	1.2	-
高籬地区	61	51	29	16	9	8	12	10	5	6	-	5	4	1	-	-	-	3	2	1
	100.0	83.6	47.5	26.2	14.8	13.1	19.7	16.4	8.2	9.8	-	8.2	6.6	1.6	-	-	-	4.9	3.3	1.6
ゆりが丘・みどり台地区	82	75	40	27	12	11	10	10	8	7	4	4	3	1	-	-	2	1	-	-
	100.0	91.5	48.8	32.9	14.6	13.4	12.2	12.2	9.8	8.5	4.9	4.9	3.7	1.2	-	-	2.4	1.2	-	-
相互台地区	39	34	22	11	1	5	3	1	3	4	2	1	2	1	1	-	-	-	1	1
	100.0	87.2	56.4	28.2	2.6	12.8	7.7	2.6	7.7	10.3	5.1	2.6	5.1	2.6	2.6	-	-	-	2.6	2.6
那智が丘地区	35	26	16	10	4	4	3	3	2	8	1	2	1	-	-	1	1	2	1	2
	100.0	74.3	45.7	28.6	11.4	11.4	8.6	8.6	5.7	22.9	2.9	5.7	2.9	-	-	2.9	2.9	5.7	2.9	5.7

（3）福祉サービスに関する情報の入手先

問 29 福祉サービスに関する情報をどこから入手していますか（○は5つまで）



福祉サービスに関する情報の入手先についてたずねたところ、「市役所（窓口、広報、ホームページ等）」49.7%が最も多く、以下「家族、親戚」25.0%、「新聞・雑誌・テレビ・ラジオ」24.2%、「インターネットやSNS」21.3%、「友人、知人」20.5%、「行政区長や町内会・自治会等（回覧板・掲示板含む）」16.1%となっている。

- 性別にみると、男性は「市役所（窓口、広報、ホームページ等）」「行政区長や町内会・自治会等（回覧板・掲示板含む）」などで女性に比べて多くなっている。
一方、女性では「友人、知人」24.1%が男性に比べて多くなっている。
- 年齢（6区分）別にみると、おおむね年代が上がるほど「市役所（窓口、広報、ホームページ等）」が多くなっている。
また、おおむね年代が若いほど「インターネットやSNS」が多く、10～20代では38.2%となっている。

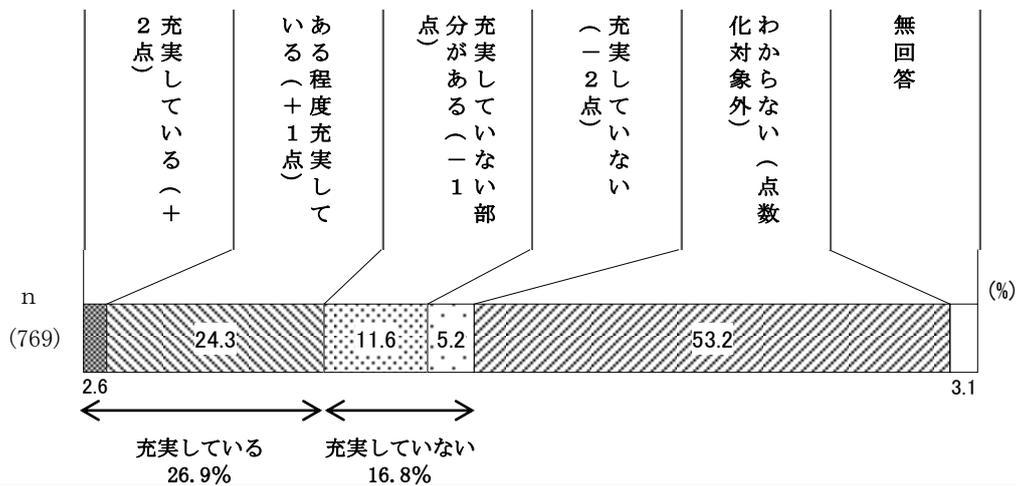
【性・年齢（6区分）・世帯構成・居住地区別】

	調査数	市役所（窓口、広報、ホームページ等）	家族親戚	新聞・雑誌・テレビ・ラジオ	インターネットやSNS	友人、知人	行政機関や町内会・自治会等（回覧板・掲示板含む）	社会福祉協議会（窓口、広報、ホームページ等）	医療機関や福祉サービス事業所	相談支援事業所	地域包括支援センターや障がい者等ケアマネジャーやホームヘルパー	隣近所	保育所、幼稚園、学校等	民生委員・児童委員	福祉関係団体	所属している団体やサークル等	ボランティア・NPO	その他	福祉（サービス）に関する情報が入っていない	無回答	
全体	769	382	192	186	164	158	124	91	79	63	62	49	29	18	18	17	5	10	85	20	
	100.0	49.7	25.0	24.2	21.3	20.5	16.1	11.8	10.3	8.2	8.1	6.4	3.8	2.3	2.3	2.2	0.7	1.3	11.1	2.6	
性別																					
男性	296	159	77	79	66	43	61	36	27	26	25	17	9	6	6	4	1	2	28	4	
	100.0	53.7	26.0	26.7	22.3	14.5	20.6	12.2	9.1	8.8	8.4	5.7	3.0	2.0	2.0	1.4	0.3	0.7	9.5	1.4	
女性	410	197	101	92	87	99	48	48	44	31	32	28	19	11	9	12	3	6	52	11	
	100.0	48.0	24.6	22.4	21.2	24.1	11.7	11.7	10.7	7.6	7.8	6.8	4.6	2.7	2.2	2.9	0.7	1.5	12.7	2.7	
年齢（6区分）																					
10～20代	68	16	29	18	26	14	9	5	2	-	1	-	5	-	1	2	1	3	12	-	
	100.0	23.5	42.6	26.5	38.2	20.6	13.2	7.4	2.9	-	1.5	-	7.4	-	1.5	2.9	1.5	4.4	17.6	-	
30代	115	50	27	15	30	21	17	13	13	3	2	2	14	-	2	-	-	2	19	2	
	100.0	43.5	23.5	13.0	26.1	18.3	14.8	11.3	11.3	2.6	1.7	1.7	12.2	-	-	-	-	1.7	16.5	1.7	
40代	141	77	36	35	40	33	17	14	11	4	6	9	8	-	2	-	-	1	18	1	
	100.0	54.6	25.5	24.8	28.4	23.4	12.1	9.9	7.8	2.8	4.3	6.4	5.7	-	1.4	-	-	0.7	12.8	0.7	
50代	132	76	28	29	35	30	14	16	17	13	13	8	2	1	7	2	-	3	16	3	
	100.0	57.6	21.2	22.0	26.5	22.7	10.6	12.1	12.9	9.8	9.8	6.1	1.5	0.8	5.3	1.5	-	2.3	12.1	2.3	
60代	169	98	34	41	25	38	22	15	19	23	16	-	8	2	3	2	-	-	13	5	
	100.0	58.0	20.1	24.3	14.8	16.6	22.5	13.0	8.9	11.2	13.6	9.5	-	4.7	1.2	1.8	1.2	-	7.7	3.0	
70代以上	134	59	36	48	6	20	29	19	19	23	17	13	-	9	4	8	2	1	6	8	
	100.0	44.0	26.9	35.8	4.5	22.4	21.6	14.2	14.2	17.2	12.7	9.7	-	6.7	3.0	6.0	1.5	0.7	4.5	6.0	
世帯構成																					
単身世帯	35	17	5	12	7	7	4	2	5	3	4	-	1	2	-	1	-	-	7	-	
	100.0	48.6	14.3	34.3	20.0	11.4	5.7	14.3	8.6	11.4	-	-	2.9	-	-	-	-	-	20.0	-	
夫婦のみ（一世代世帯）	194	98	46	52	34	40	37	23	18	15	14	15	1	10	4	4	4	2	20	5	
	100.0	50.5	23.7	26.8	17.5	20.6	19.1	11.9	9.3	7.7	7.2	7.7	0.5	5.2	2.1	2.1	1.0	10.3	2.6	2.6	
親と子（二世帯世帯）	413	202	99	91	86	61	52	39	27	31	27	22	3	11	8	1	8	49	10	10	
	100.0	48.9	24.0	22.0	23.7	14.8	12.6	9.4	6.5	7.5	6.5	5.3	0.7	2.7	1.9	0.2	1.9	11.9	2.4	2.4	
親と子と孫（三世帯世帯）	103	53	35	24	20	22	18	11	14	16	10	6	4	3	4	-	-	8	3	3	
	100.0	51.5	34.0	23.3	19.4	21.4	17.5	10.7	13.6	15.5	9.7	5.8	3.9	2.9	2.9	3.9	-	7.8	2.9	2.9	
その他	13	5	5	4	3	1	3	2	3	1	1	1	1	-	-	-	-	-	1	-	
	100.0	38.5	38.5	30.8	23.1	7.7	23.1	15.4	23.1	7.7	7.7	7.7	7.7	-	-	-	-	-	7.7	-	
居住地区																					
増田地区	150	68	38	34	33	30	15	20	15	10	14	7	6	3	3	4	1	1	14	5	
	100.0	45.3	25.3	22.7	22.0	20.0	10.0	13.3	10.0	6.7	9.3	4.7	4.0	2.0	2.0	2.7	0.7	0.7	9.3	3.3	
増田西地区	99	55	27	21	24	20	12	13	10	8	3	7	5	3	2	5	-	-	9	4	
	100.0	55.6	27.3	21.2	24.2	20.2	12.1	13.1	10.1	8.1	3.0	7.1	5.1	3.0	2.0	5.1	-	-	9.1	4.0	
名取が丘地区	62	29	24	17	11	14	16	6	9	5	3	6	1	3	2	-	2	1	7	2	
	100.0	46.8	38.7	27.4	17.7	22.6	25.8	9.7	14.5	8.1	4.8	9.7	1.6	4.8	3.2	-	3.2	1.6	11.3	3.2	
関上地区	13	7	4	4	1	2	2	3	2	3	1	-	-	-	-	-	-	-	1	1	
	100.0	53.8	30.8	30.8	7.7	15.4	15.4	23.1	15.4	23.1	7.7	-	-	-	-	-	-	-	7.7	7.7	
下増田地区	64	27	15	18	17	9	11	5	5	7	10	4	4	1	3	2	-	-	2	5	
	100.0	42.2	23.4	28.1	26.6	14.1	17.2	7.8	7.8	10.9	15.6	6.3	6.3	1.6	4.7	3.1	-	-	3.1	7.8	
館腰地区	72	34	17	19	11	18	15	15	6	6	9	8	2	2	2	2	-	-	1	11	
	100.0	47.2	23.6	26.4	15.3	25.0	20.8	20.8	8.3	8.3	12.5	11.1	2.8	2.8	2.8	2.8	-	-	1.4	15.3	
愛島地区	82	41	12	7	15	13	10	11	10	7	10	4	5	2	2	1	-	-	1	14	
	100.0	50.0	14.6	8.5	18.3	15.9	12.2	13.4	12.2	8.5	12.2	4.9	6.1	2.4	2.4	1.2	-	-	1.2	17.1	
高籬地区	61	31	15	20	12	16	15	5	6	8	5	5	3	2	2	-	-	-	1	9	
	100.0	50.8	24.6	32.8	19.7	26.2	24.6	8.2	9.8	13.1	8.2	8.2	4.9	3.3	3.3	-	-	-	1.6	14.8	
ゆりが丘・みどり台地区	82	43	21	23	19	17	13	8	9	6	2	3	2	1	2	2	1	2	7	-	
	100.0	52.4	25.6	28.0	23.2	20.7	15.9	9.8	11.0	7.3	2.4	3.7	2.4	1.2	2.4	1.2	2.4	2.4	8.5	-	
相互台地区	39	22	8	11	6	6	7	4	4	-	3	3	1	-	-	1	-	-	5	2	
	100.0	56.4	20.5	28.2	15.4	15.4	17.9	10.3	10.3	-	7.7	7.7	2.6	-	-	2.6	-	-	12.8	5.1	
那智が丘地区	35	19	10	10	12	11	8	1	2	2	1	2	-	-	-	-	1	-	3	1	
	100.0	54.3	28.6	28.6	34.3	31.4	22.9	2.9	5.7	5.7	2.9	5.7	-	-	-	-	2.9	-	8.6	2.9	

9. 今後の福祉行政のあり方について

（1）行政が行っている福祉サービスの水準

問 30 現在、行政が行っている福祉サービスの水準について、あなたのお考えに近いものを選んでください。（○は1つ）



行政が行っている福祉サービスの水準についてたずねたところ、「ある程度充実している (+1点)」24.3%が最も多く、以下「充実していない部分がある (-1点)」11.6%、「充実していない (-2点)」5.2%となっている。

行政が行っている福祉サービスの水準が“充実している”派は26.9%と“充実していない”派16.8%を上回っている。

なお、「わからない (点数化対象外)」が53.2%となっており、評価できない回答が最も多かった。

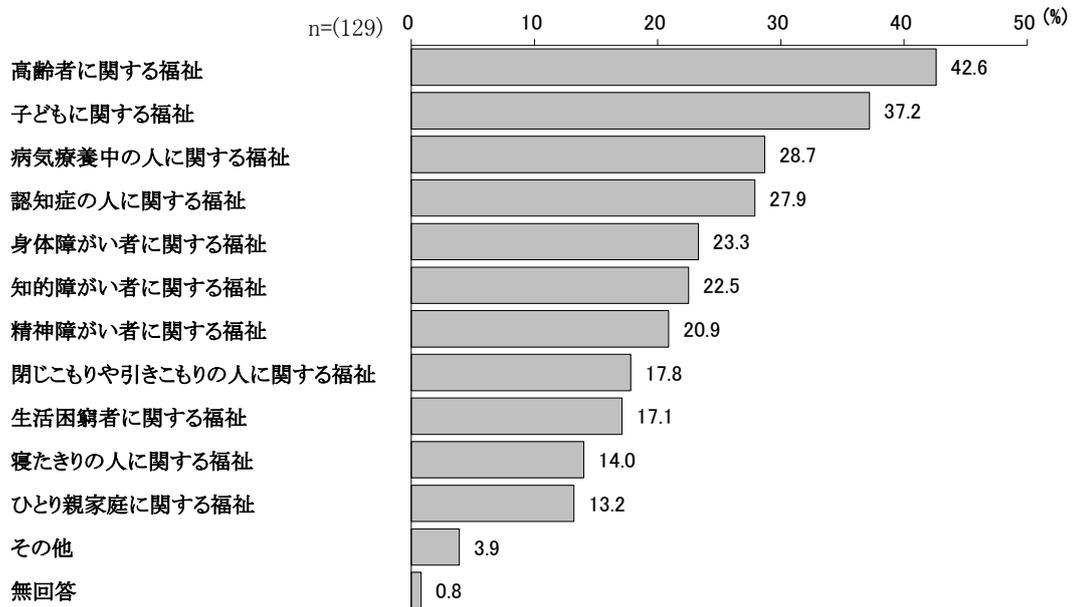
- 年齢（6区分）別にみると、70代以上では“充実している”派が39.5%とほかの年代に比べて多くなっている。
一方、30代では“充実していない”派が23.5%とほかの年代に比べて多くなっている。

【性・年齢（6区分）・世帯構成・居住地区別】

	調査数	充実している（+2点）	ある程度充実している（+1点）	点充実していない部分がある（-1点）	充実していない（-2点）	わからない（点数化対象外）	無回答	【上段】合計 【下段】平均
全体	769 100.0	20 2.6	187 24.3	89 11.6	40 5.2	409 53.2	24 3.1	58 0.17
性別								
男性	296 100.0	8 2.7	78 26.4	33 11.1	19 6.4	151 51.0	7 2.4	23 0.17
女性	410 100.0	11 2.7	91 22.2	51 12.4	18 4.4	223 54.4	16 3.9	26 0.15
年齢（6区分）								
10～20代	68 100.0	2 2.9	15 22.1	8 11.8	1 1.5	41 60.3	1 1.5	9 0.35
30代	115 100.0	1 0.9	15 13.0	17 14.8	10 8.7	69 60.0	3 2.6	-20 -0.47
40代	141 100.0	3 2.1	37 26.2	13 9.2	4 2.8	84 59.6	-	22 0.39
50代	132 100.0	3 2.3	32 24.2	20 15.2	6 4.5	69 52.3	2 1.5	6 0.10
60代	169 100.0	1 0.6	44 26.0	21 12.4	13 7.7	85 50.3	5 3.0	-1 -0.01
70代以上	134 100.0	9 6.7	44 32.8	9 6.7	6 4.5	54 40.3	12 9.0	41 0.60
世帯構成								
単身世帯	35 100.0	1 2.9	10 28.6	6 17.1	3 8.6	13 37.1	2 5.7	0 0.00
夫婦のみ（一世代世帯）	194 100.0	3 1.5	49 25.3	16 8.2	14 7.2	106 54.6	6 3.1	11 0.13
親と子（二世代世帯）	413 100.0	13 3.1	91 22.0	48 11.6	20 4.8	232 56.2	9 2.2	29 0.17
親と子と孫（三世代世帯）	103 100.0	3 2.9	31 30.1	14 13.6	3 2.9	46 44.7	6 5.8	17 0.33
その他	13 100.0	-	5 38.5	2 15.4	-	5 38.5	1 7.7	3 0.43
居住地区								
増田地区	150 100.0	2 1.3	36 24.0	16 10.7	8 5.3	83 55.3	5 3.3	8 0.13
増田西地区	99 100.0	2 2.0	25 25.3	12 12.1	7 7.1	47 47.5	6 6.1	3 0.07
名取が丘地区	62 100.0	3 4.8	10 16.1	10 16.1	3 4.8	35 56.5	1 1.6	0 0.00
閑上地区	13 100.0	-	5 38.5	-	1 7.7	7 53.8	-	3 0.50
下増田地区	64 100.0	1 1.6	21 32.8	4 6.3	2 3.1	34 53.1	2 3.1	15 0.54
館腰地区	72 100.0	3 4.2	18 25.0	9 12.5	5 6.9	37 51.4	-	5 0.14
愛島地区	82 100.0	5 6.1	22 26.8	10 12.2	3 3.7	42 51.2	-	16 0.40
高館地区	61 100.0	1 1.6	19 31.1	7 11.5	3 4.9	26 42.6	5 8.2	8 0.27
ゆりが丘・みどり台地区	82 100.0	2 2.4	17 20.7	10 12.2	1 1.2	50 61.0	2 2.4	9 0.30
相互台地区	39 100.0	-	6 15.4	7 17.9	3 7.7	21 53.8	2 5.1	-7 -0.44
那智が丘地区	35 100.0	1 2.9	8 22.9	3 8.6	2 5.7	20 57.1	1 2.9	3 0.21

（2）充実していないと考える福祉サービス

（問 30 で「3. 充実していない部分がある」、「4. 充実していない」と回答した方に）
 問 30-1 どの分野の福祉サービスが充実していないとお考えですか。（〇はいくつでも）



充実していないと考える福祉サービスについてたずねたところ、「高齢者に関する福祉」42.6%が最も多く、以下「子どもに関する福祉」37.2%、「病気療養中の人に関する福祉」28.7%、「認知症の人に関する福祉」27.9%、「身体障がい者に関する福祉」23.3%、「知的障がい者に関する福祉」22.5%、「精神障がい者に関する福祉」20.9%となっている。

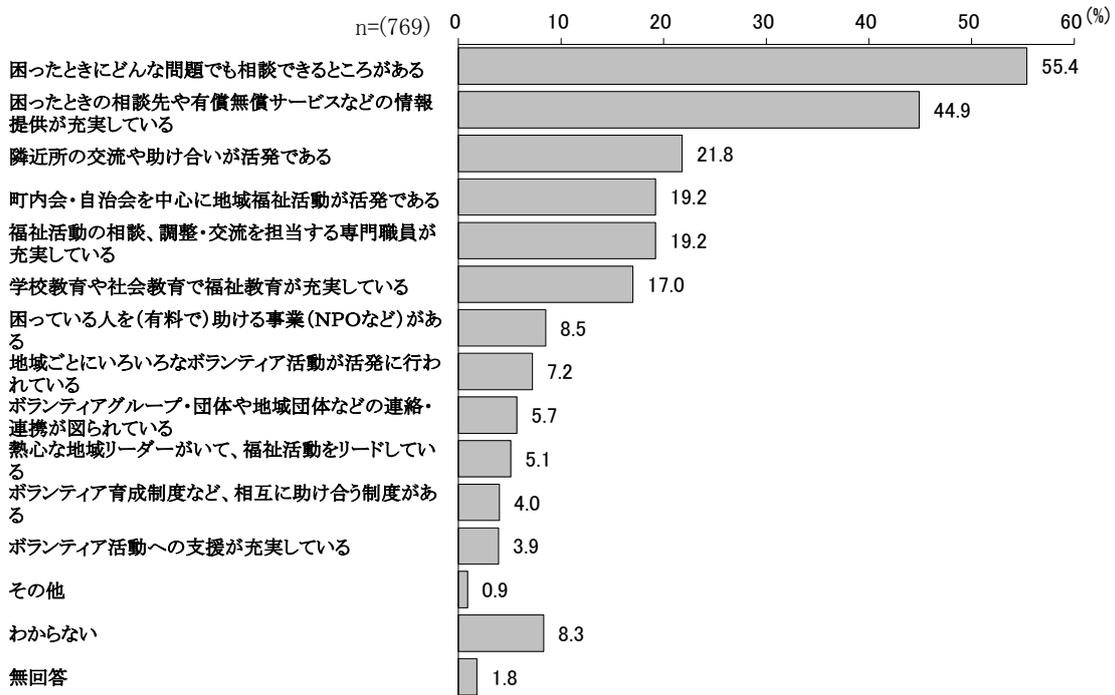
- 性別にみると、男性では「子どもに関する福祉」42.3%が最も多く、女性に比べて多くなっている。また「寝たきりの人に関する福祉」21.2%についても女性を大きく上回っている。一方、女性は「高齢者に関する福祉」「身体障がい者に関する福祉」「知的障がい者に関する福祉」「精神障がい者に関する福祉」「閉じこもりや引きこもりの人に関する福祉」「ひとり親家庭に関する福祉」などで男性に比べて多くなっている。
- 年齢（6区分）別にみると、おおむね年齢が上がるほど「高齢者に関する福祉」が多く、70代以上では66.7%となっている。一方、30代では「子どもに関する福祉」92.6%がほかの年代に比べて多くなっている。

【性・年齢（6区分）・世帯構成・居住地区別】

	調査数	高齢者に関する福祉	子どもに関する福祉	病気療養中の人に関する福祉	認知症の人に関する福祉	身体障がい者に関する福祉	知的障がい者に関する福祉	精神障がい者に関する福祉	閉じこもりや引きこもりの人に関する福祉	生活困窮者に関する福祉	寝たきりの人に関する福祉	ひとり親家庭に関する福祉	その他	無回答
全体	129 100.0	55 42.6	48 37.2	37 28.7	36 27.9	30 23.3	29 22.5	27 20.9	23 17.8	22 17.1	18 14.0	17 13.2	5 3.9	1 0.8
性別														
男性	52 100.0	19 36.5	22 42.3	16 30.8	15 28.8	7 13.5	9 17.3	9 17.3	7 13.5	9 17.3	11 21.2	6 11.5	2 3.8	1 1.9
女性	69 100.0	32 46.4	23 33.3	21 30.4	20 29.0	20 29.0	18 26.1	17 24.6	14 20.3	13 18.8	7 10.1	11 15.9	2 2.9	-
年齢（6区分）														
10～20代	9 100.0	-	4 44.4	2 22.2	1 11.1	1 11.1	1 11.1	2 22.2	3 33.3	4 44.4	-	3 33.3	-	1 11.1
30代	27 100.0	9 33.3	25 92.6	5 18.5	7 25.9	3 11.1	2 7.4	3 11.1	4 14.8	4 14.8	4 14.8	6 22.2	-	-
40代	17 100.0	7 41.2	9 52.9	7 41.2	5 29.4	3 17.6	4 23.5	3 17.6	1 5.9	3 17.6	2 11.8	2 11.8	-	-
50代	26 100.0	10 38.5	2 7.7	7 26.9	8 30.8	11 42.3	11 42.3	10 38.5	7 26.9	5 19.2	4 15.4	2 7.7	3 11.5	-
60代	34 100.0	19 55.9	6 17.6	11 32.4	11 32.4	6 17.6	6 17.6	6 17.6	4 11.8	3 8.8	4 11.8	3 8.8	2 5.9	-
70代以上	15 100.0	10 66.7	1 6.7	5 33.3	4 26.7	5 33.3	4 26.7	2 13.3	4 26.7	3 20.0	4 26.7	1 6.7	-	-
世帯構成														
単身世帯	9 100.0	4 44.4	2 22.2	3 33.3	-	3 33.3	2 22.2	3 33.3	1 11.1	1 11.1	1 11.1	-	-	-
夫婦のみ（一世帯世帯）	30 100.0	19 63.3	9 30.0	12 40.0	15 50.0	9 30.0	8 26.7	9 30.0	6 20.0	6 20.0	7 23.3	5 16.7	2 6.7	-
親と子（二世帯世帯）	68 100.0	22 32.4	25 36.8	17 25.0	14 20.6	13 19.1	14 20.6	11 16.2	13 19.1	13 19.1	7 10.3	8 11.8	3 4.4	1 1.5
親と子と孫（三世帯世帯）	17 100.0	8 47.1	9 52.9	4 23.5	7 41.2	3 17.6	4 23.5	2 11.8	2 11.8	1 5.9	3 17.6	3 17.6	-	-
その他	2 100.0	1 50.0	1 50.0	1 50.0	-	1 50.0	-	1 50.0	1 50.0	1 50.0	-	-	-	-
居住地区														
増田地区	24 100.0	12 50.0	11 45.8	5 20.8	8 33.3	6 25.0	6 25.0	5 20.8	6 25.0	4 16.7	2 8.3	4 16.7	-	-
増田西地区	19 100.0	5 26.3	6 31.6	3 15.8	4 21.1	6 31.6	8 42.1	6 31.6	2 10.5	2 10.5	3 15.8	1 5.3	-	-
名取が丘地区	13 100.0	7 53.8	5 38.5	6 46.2	4 30.8	2 15.4	-	2 15.4	4 30.8	4 30.8	1 7.7	3 23.1	-	-
関上地区	1 100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1 100.0
下増田地区	6 100.0	1 16.7	3 50.0	-	1 16.7	1 16.7	1 16.7	1 16.7	1 16.7	1 16.7	-	-	-	-
館腰地区	14 100.0	4 28.6	3 21.4	5 35.7	4 28.6	5 35.7	6 42.9	4 28.6	2 14.3	3 21.4	4 28.6	1 7.1	-	-
愛島地区	13 100.0	3 23.1	6 46.2	2 15.4	1 7.7	4 30.8	1 7.7	3 23.1	1 7.7	1 7.7	-	-	1 7.7	-
高館地区	10 100.0	7 70.0	3 30.0	4 40.0	2 20.0	-	-	-	1 10.0	1 10.0	3 30.0	1 10.0	1 10.0	-
ゆりが丘・みどり台地区	11 100.0	4 36.4	5 45.5	3 27.3	4 36.4	1 9.1	1 9.1	1 9.1	1 9.1	1 9.1	1 9.1	2 18.2	1 9.1	-
相互台地区	10 100.0	7 70.0	4 40.0	6 60.0	5 50.0	3 30.0	4 40.0	2 20.0	2 20.0	3 30.0	2 20.0	4 40.0	-	-
那智が丘地区	5 100.0	4 80.0	1 20.0	2 40.0	3 60.0	1 20.0	1 20.0	2 40.0	2 40.0	1 20.0	2 40.0	1 20.0	2 40.0	-

（3）助け合えるまちとしての理想像

問31 困ったときに助けあえるまちとは、どのようなまちだと思いますか。（○は3つまで）



助け合えるまちとしての理想像についてたずねたところ、「困ったときにどんな問題でも相談できるところがある」55.4%が最も多く、以下「困ったときの相談先や有償無償サービスなどの情報提供が充実している」44.9%、「隣近所の交流や助け合いが活発である」21.8%、「町内会・自治会を中心に地域福祉活動が活発である」「福祉活動の相談、調整・交流を担当する専門職員が充実している」ともに19.2%、「学校教育や社会教育で福祉教育が充実している」17.0%となっている。

■ 性別にみると、男性では「隣近所の交流や助け合いが活発である」「町内会・自治会を中心に地域福祉活動が活発である」が女性に比べて多くなっている。

一方、女性では「困ったときの相談先や有償無償サービスなどの情報提供が充実している」49.3%など専門的なものへの期待が大きく、男性に比べて多くなっている。

■ 年齢（6区分）別にみると、60代までの上位2位に変わりはないが、3位以降に違いがみられ、10～20代、30代、40代では「学校教育や社会教育で福祉教育が充実している」、50代では「福祉活動の相談、調整・交流を担当する専門職員が充実している」、60代では「隣近所の交流や助け合いが活発である」となっている。

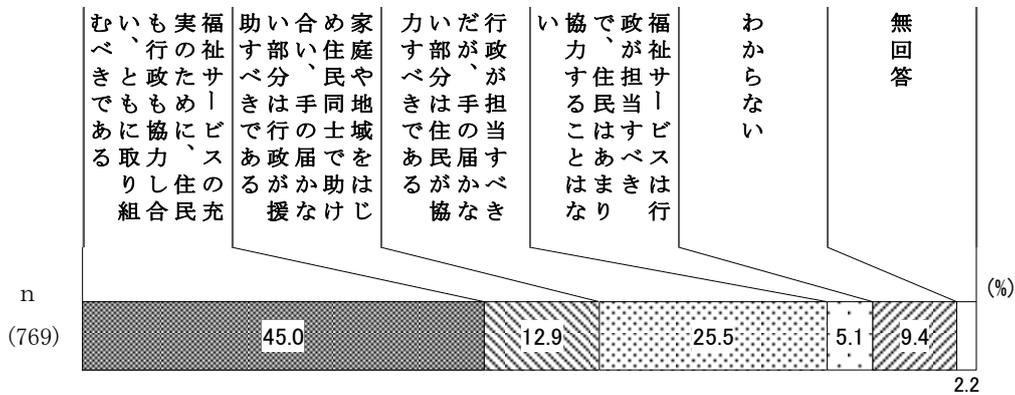
なお、70代以上では「困ったときにどんな問題でも相談できるところがある」42.5%が最も多く、以下「町内会・自治会を中心に地域福祉活動が活発である」32.8%、「困ったときの相談先や有償無償サービスなどの情報提供が充実している」31.3%となっている。

【性・年齢（6区分）・世帯構成・居住地区別】

	調査数	で困ったときにどんな問題でも相談できるところがある	てサービスなどの情報提供が充実している	ある隣近所の交流や助け合いが活発である	活動が活発である町内会・自治会を中心に地域福祉	当する専門職員が充実している調整・交流を担	充実している学校教育や社会教育で福祉教育が	充実している学校（NPOなど）がある	困っている人を（有料で）助ける	地域ごとに行われるボランティア活動が活発に行われている	地域団体のつながりやボランティアグループ・団体や地域のつながり	熱心な地域リーダーがいて、活動をリードしている	ボランティア育成制度など、相互に助け合う制度がある	ボランティア活動への支援が充実している	その他	わからない	無回答
	上段：件数 下段：%																
全体	769 100.0	426 55.4	345 44.9	168 21.8	148 19.2	148 19.2	131 17.0	65 8.5	55 7.2	44 5.7	39 5.1	31 4.0	30 3.9	7 0.9	64 8.3	14 1.8	
性別																	
男性	296 100.0	161 54.4	119 40.2	74 25.0	78 26.4	51 17.2	49 16.6	26 8.8	23 7.8	19 6.4	12 4.1	12 4.1	14 4.7	4 1.4	22 7.4	4 1.4	
女性	410 100.0	229 55.9	202 49.3	86 21.0	59 14.4	84 20.5	73 17.8	32 7.8	27 6.6	22 5.4	22 5.4	18 4.4	12 2.9	1 0.2	35 8.5	10 2.4	
年齢（6区分）																	
10～20代	68 100.0	41 60.3	36 52.9	19 27.9	8 11.8	11 16.2	20 29.4	7 10.3	1 1.5	2 2.9	1 1.5	2 2.9	5 7.4	-	3 4.4	1 1.5	
30代	115 100.0	67 58.3	59 51.3	17 14.8	16 13.9	12 10.4	42 36.5	9 7.8	9 7.8	8 7.0	2 1.7	8 7.0	4 3.5	1 0.9	9 7.8	-	
40代	141 100.0	75 53.2	66 46.8	38 27.0	21 14.9	23 16.3	40 28.4	15 10.6	8 5.7	8 5.7	6 4.3	2 1.4	4 2.8	2 1.4	9 6.4	1 0.7	
50代	132 100.0	84 63.6	68 51.5	27 20.5	21 15.9	36 27.3	3 2.3	10 7.6	6 4.5	5 6.1	7 5.3	6 4.5	6 4.5	0.8	12 9.1	-	
60代	169 100.0	95 56.2	69 40.8	40 23.7	38 22.5	38 22.5	12 7.1	13 7.7	19 11.2	8 4.7	10 5.9	6 3.6	8 4.7	1 0.6	15 8.9	4 2.4	
70代以上	134 100.0	57 42.5	42 31.3	27 20.1	44 32.8	26 19.4	13 9.7	9 6.7	11 8.2	10 7.5	13 9.7	6 4.5	3 2.2	2 1.5	16 11.9	7 5.2	
世帯構成																	
単身世帯	35 100.0	17 48.6	13 37.1	4 11.4	3 8.6	7 20.0	4 11.4	5 14.3	4 11.4	3 8.6	3 8.6	5 14.3	-	-	7 20.0	-	
夫婦のみ（一世帯世帯）	194 100.0	105 54.1	78 40.2	43 22.2	49 25.3	37 19.1	21 10.8	13 6.7	19 9.8	11 5.7	7 3.6	9 4.6	7 3.6	3 1.5	21 10.8	3 1.5	
親と子（二世帯世帯）	413 100.0	239 57.9	201 48.7	84 20.3	66 16.0	79 19.1	82 19.9	36 8.7	25 6.1	23 5.6	21 5.1	16 3.9	15 3.6	3 0.7	32 7.7	6 1.5	
親と子と孫（三世帯世帯）	103 100.0	51 49.5	40 38.8	31 30.1	27 26.2	20 19.4	19 18.4	7 6.8	5 4.9	7 6.8	8 7.8	1 1.0	7 6.8	1 1.0	3.9 3.9	4 3.9	
その他	13 100.0	7 53.8	7 53.8	4 30.8	3 23.1	4 30.8	2 15.4	1 7.7	1 7.7	-	-	-	1 7.7	-	-	1 7.7	
居住地区																	
増田地区	150 100.0	77 51.3	65 43.3	27 18.0	23 15.3	29 19.3	34 22.7	15 10.0	11 7.3	12 8.0	6 4.0	4 2.7	6 4.0	2 1.3	17 11.3	4 2.7	
増田西地区	99 100.0	56 56.6	51 51.5	21 21.2	12 12.1	22 22.2	14 14.1	7 7.1	8 8.1	5 5.1	3 3.0	6 6.1	5 5.1	-	6 6.1	3 3.0	
名取が丘地区	62 100.0	37 59.7	25 40.3	13 21.0	14 22.6	13 21.0	9 14.5	5 8.1	5 8.1	1 1.6	4 6.5	5 8.1	2 3.2	-	6 9.7	2 3.2	
関上地区	13 100.0	11 84.6	3 23.1	2 15.4	2 15.4	1 7.7	2 15.4	-	2 15.4	-	3 23.1	-	2 15.4	-	1 7.7	-	
下増田地区	64 100.0	31 48.4	34 53.1	14 21.9	17 26.6	9 14.1	14 21.9	7 10.9	4 6.3	3 4.7	2 3.1	-	1 1.6	-	2 3.1	1 1.6	
館腰地区	72 100.0	39 54.2	36 50.0	16 22.2	17 23.6	11 15.3	5 6.9	4 5.6	3 4.2	3 4.2	6 8.3	4 5.6	4 5.6	1 1.4	8 11.1	-	
愛島地区	82 100.0	35 42.7	32 39.0	24 29.3	15 18.3	24 29.3	9 11.0	5 6.1	7 8.5	3 3.7	2 2.4	5 6.1	1 1.2	-	8 9.8	-	
高館地区	61 100.0	36 59.0	25 41.0	19 31.1	15 24.6	8 13.1	8 13.1	6 9.8	3 4.9	3 4.9	7 11.5	1 1.6	4 6.6	1 1.6	5 8.2	3 4.9	
ゆりが丘・みどり台地区	82 100.0	48 58.5	40 48.8	18 22.0	17 20.7	17 20.7	17 20.7	7 8.5	5 6.1	5 6.1	3 3.7	2 2.4	2 2.4	3 3.7	5 6.1	-	
相互台地区	39 100.0	24 61.5	13 33.3	8 20.5	11 28.2	9 23.1	10 25.6	2 5.1	1 2.6	3 7.7	2 5.1	2 5.1	2 5.1	-	3 7.7	1 2.6	
那智が丘地区	35 100.0	25 71.4	18 51.4	6 17.1	5 14.3	6 17.1	3 8.6	4 11.4	4 11.4	5 14.3	1 2.9	2 5.7	1 2.9	-	1 2.9	-	

（4）住民と行政とのあるべき関係

問 32 地域での福祉活動を推進していくうえで、住民と行政との関係はどうあるべきだとお考えですか。（○は1つ）



住民と行政とのあるべき関係についてたずねたところ、「福祉サービスの充実のために、住民も行政も協力し合い、ともに取り組むべきである」45.0%が最も多く、以下「行政が担当すべきだが、手の届かない部分は住民が協力すべきである」25.5%、「家庭や地域をはじめ住民同士で助け合い、手の届かない部分は行政が援助すべきである」12.9%、「福祉サービスは行政が担当すべきで、住民はあまり協力することはない」5.1%となっている。

- 性別にみると、男性は「福祉サービスの充実のために、住民も行政も協力し合い、ともに取り組むべきである」が女性に比べてやや多くなっている。
- 年齢（6区分）別にみると、10～20代、30代では「わからない」が10%以上とほかの年代に比べて多くなっている。
- 世帯構成別にみると、単身世帯、夫婦のみ（一世帯世帯）では「わからない」が10%以上とほかの世帯構成に比べて多くなっている。

【性・年齢（6区分）・世帯構成・居住地区別】

	調査数	福祉サービスも協力し合い、ともに取り組むべきである	福祉サービスの充実のために、住民も行政も協力し合い、ともに取り組むべきである	家庭や地域の助けを借りて、地域生活が充実するべきである	行政が住民の生活に責任を負うべきである	行政が住民の生活に責任を負うべきである	わからない	無回答
	上段：件数 下段：%							
全体	769 100.0	346 45.0	99 12.9	196 25.5	39 5.1	72 9.4	17 2.2	
性別								
男性	296 100.0	142 48.0	35 11.8	76 25.7	13 4.4	23 7.8	7 2.4	
女性	410 100.0	179 43.7	54 13.2	104 25.4	23 5.6	41 10.0	9 2.2	
年齢（6区分）								
10～20代	68 100.0	24 35.3	12 17.6	19 27.9	2 2.9	9 13.2	2 2.9	
30代	115 100.0	45 39.1	17 14.8	28 24.3	4 3.5	21 18.3	-	
40代	141 100.0	61 43.3	16 11.3	45 31.9	6 4.3	12 8.5	1 0.7	
50代	132 100.0	70 53.0	11 8.3	32 24.2	7 5.3	10 7.6	2 1.5	
60代	169 100.0	76 45.0	21 12.4	47 27.8	13 7.7	9 5.3	3 1.8	
70代以上	134 100.0	65 48.5	22 16.4	20 14.9	7 5.2	11 8.2	9 6.7	
世帯構成								
単身世帯	35 100.0	12 34.3	2 5.7	8 22.9	4 11.4	8 22.9	1 2.9	
夫婦のみ（一世帯世帯）	194 100.0	78 40.2	29 14.9	52 26.8	9 4.6	21 10.8	5 2.6	
親と子（二世帯世帯）	413 100.0	193 46.7	50 12.1	105 25.4	19 4.6	39 9.4	7 1.7	
親と子と孫（三世帯世帯）	103 100.0	53 51.5	13 12.6	23 22.3	7 6.8	4 3.9	3 2.9	
その他	13 100.0	7 53.8	2 15.4	3 23.1	-	-	1 7.7	
居住地区								
増田地区	150 100.0	72 48.0	14 9.3	42 28.0	10 6.7	10 6.7	2 1.3	
増田西地区	99 100.0	38 38.4	9 9.1	31 31.3	4 4.0	12 12.1	5 5.1	
名取が丘地区	62 100.0	27 43.5	9 14.5	15 24.2	3 4.8	5 8.1	3 4.8	
閑上地区	13 100.0	7 53.8	3 23.1	1 7.7	1 7.7	1 7.7	-	
下増田地区	64 100.0	33 51.6	12 18.8	13 20.3	1 1.6	3 4.7	2 3.1	
館腰地区	72 100.0	36 50.0	9 12.5	17 23.6	4 5.6	6 8.3	-	
愛島地区	82 100.0	35 42.7	12 14.6	21 25.6	5 6.1	9 11.0	-	
高館地区	61 100.0	26 42.6	9 14.8	12 19.7	4 6.6	8 13.1	2 3.3	
ゆりが丘・みどり台地区	82 100.0	35 42.7	12 14.6	20 24.4	4 4.9	9 11.0	2 2.4	
相互台地区	39 100.0	16 41.0	6 15.4	8 20.5	2 5.1	6 15.4	1 2.6	
那智が丘地区	35 100.0	19 54.3	3 8.6	11 31.4	1 2.9	1 2.9	-	

10. 自由意見

問33 地域福祉や福祉全般についてご希望やご意見等がありましたら、自由にお書きください。

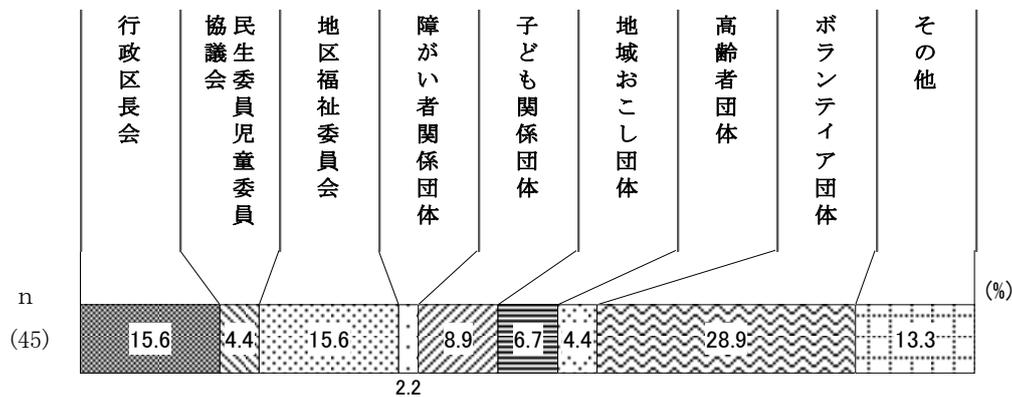
地域福祉や福祉全般について希望や意見をたずねたところ、回答者数は138人となっており、意見数は216件となった。以下は、意見内容を分類し、多い順に示した結果である。

順位	意見内容	件数
1	市に期待する事・意見	48
2	地域福祉・地域活動	32
3	高齢者支援	22
4	交通・道路について	17
4	障がい者支援	17
6	子育て支援	15
7	経済不安	14
8	アンケートについて	11
9	医療	8
9	私の生活	8
11	ボランティア活動	7
12	自分がして欲しい事・希望	5
13	復興・防災について	4
-	その他	8
	合 計	216

第3章 調査結果の分析（団体）

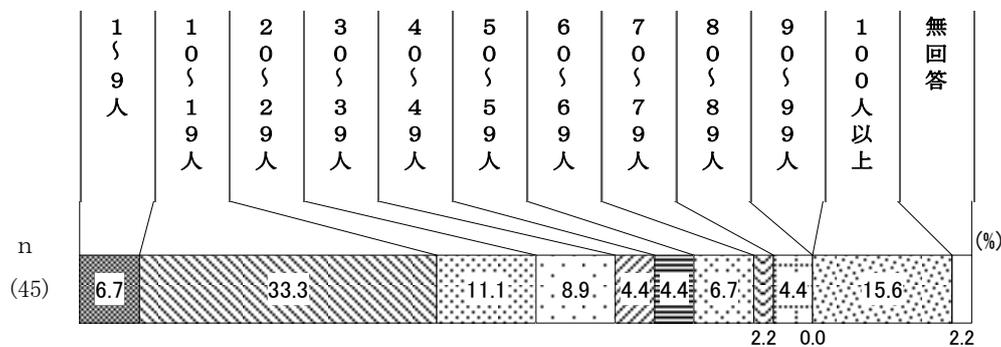
1. 回答者の属性

（1）団体の種別



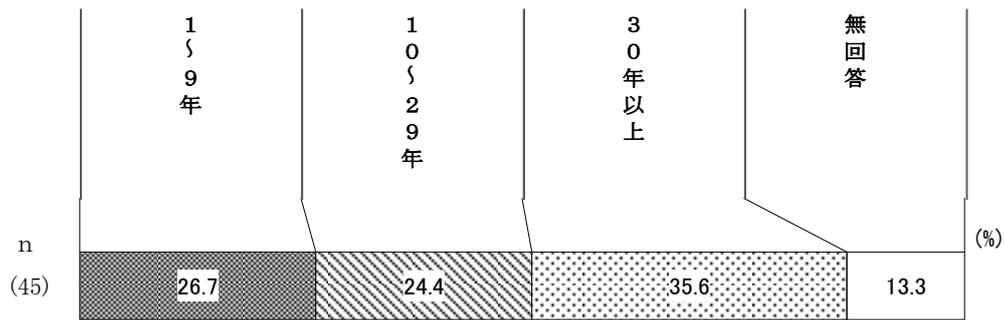
団体の種別については、「ボランティア団体」28.9%が最も多く、以下「行政区長会」「地区福祉委員会」ともに15.6%、「子ども関係団体」8.9%、「地域おこし団体」6.7%となっている。

（2）会員数



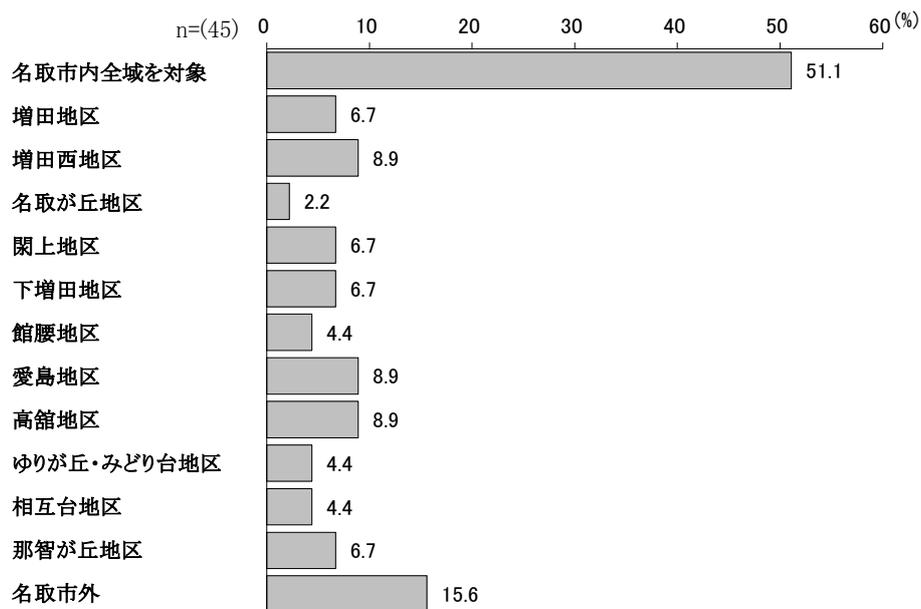
会員数については、「10～19人」33.3%が最も多く、以下「100人以上」15.6%、「20～29人」11.1%、「30～39人」8.9%、「1～9人」「60～69人」ともに6.7%となっている。

（3）活動年数



活動年数については、「30年以上」35.6%が最も多く、以下「1～9年」26.7%、「10～29年」24.4%となっている。

（4）活動エリア



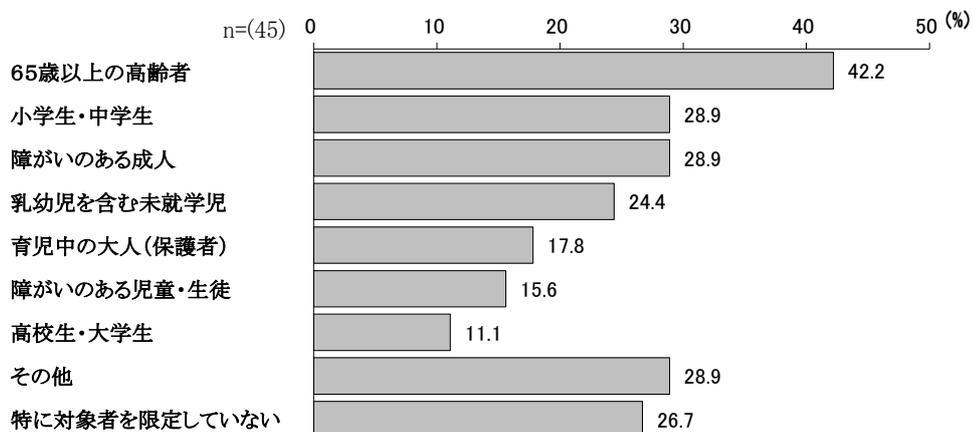
活動エリアについては、「名取市内全域を対象」51.1%が最も多く、以下「増田西地区」「愛島地区」「高館地区」いずれも 8.9%、「増田地区」「閑上地区」「下増田地区」「那智が丘地区」いずれも 6.7%となっている。

なお、「名取市外」は 15.6%となっている。

2. 団体の活動について

（1）対象者

問1 貴団体の活動の主な対象者を教えてください。（〇はいくつでも）

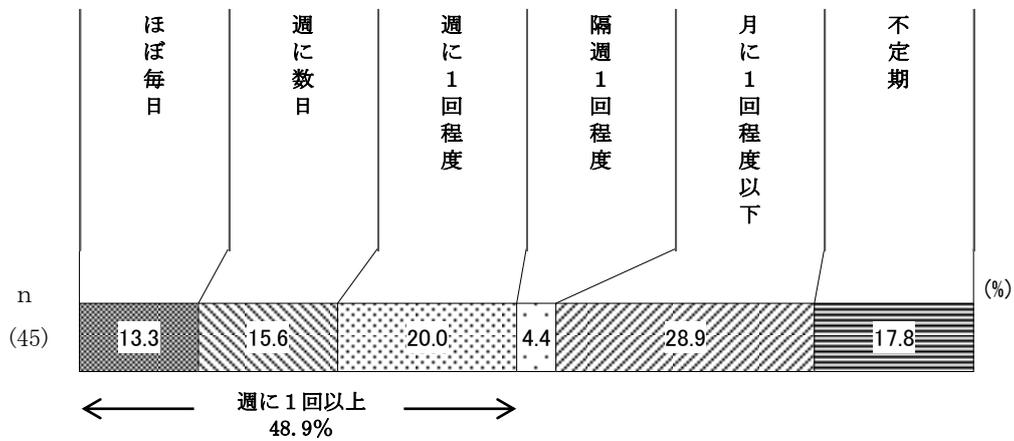


対象者についてたずねたところ、「65歳以上の高齢者」42.2%が最も多く、以下「小学生・中学生」「障がいのある成人」ともに28.9%、「乳幼児を含む未就学児」24.4%となっている。

なお、「その他」は28.9%となっており、「主に、仮設、復興公営住宅等にお住いの皆さん」「名取市内で活動する市民団体への中間支援」「介護している家族、生活困窮者」などの回答があった。

（2）活動頻度

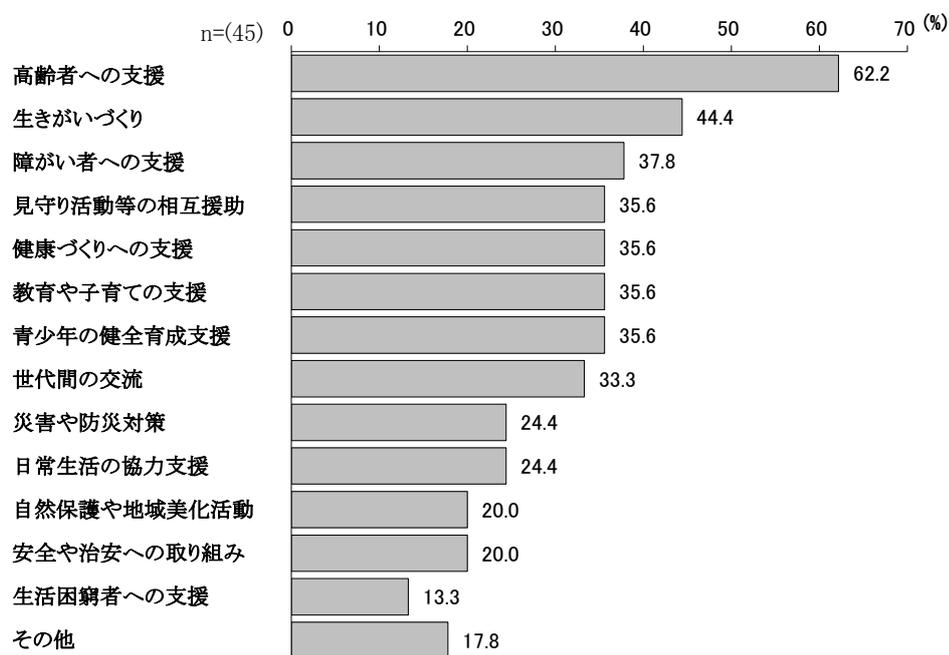
問2 貴団体はどれくらいの頻度で活動を行っていますか。（○は1つ）



活動頻度についてたずねたところ、「月に1回程度以下」28.9%が最も多く、以下「週に1回程度」20.0%、「不定期」17.8%、「週に数日」15.6%、「ほぼ毎日」13.3%、「隔週1回程度」4.4%となっており、“週に1回以上”は48.9%となっている。

（3）活動内容

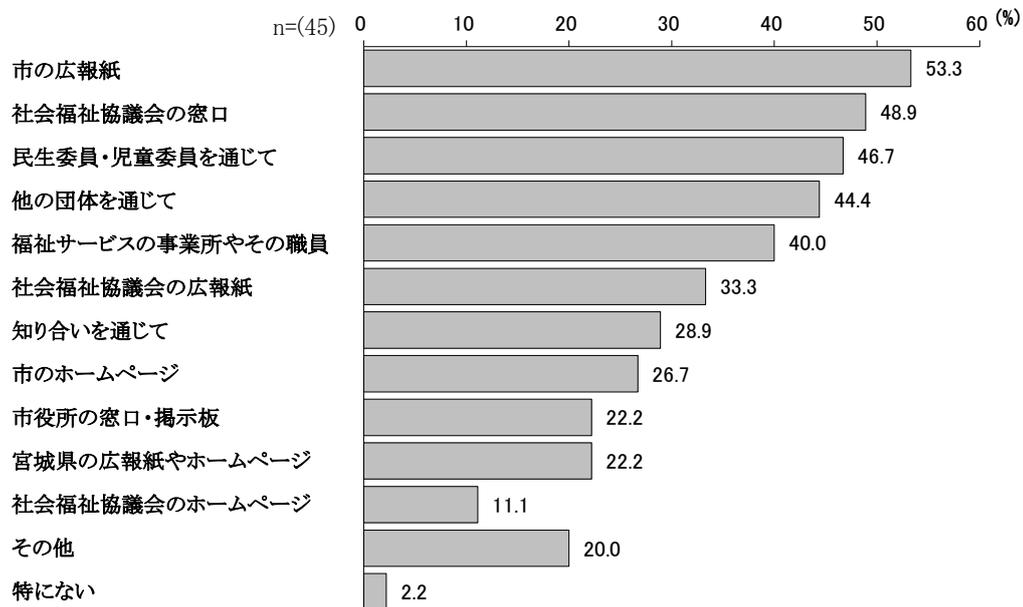
問3 貴団体の活動内容について教えてください。（〇はいくつでも）



活動内容についてたずねたところ、「高齢者への支援」62.2%が最も多く、以下「生きがいづくり」44.4%、「障がい者への支援」37.8%、「見守り活動等の相互援助」「健康づくりへの支援」「教育や子育ての支援」「青少年の健全育成支援」いずれも35.6%、「世代間の交流」33.3%となっている。

（4）活動に必要な情報の入手先

問4 貴団体は活動に必要な情報をどこから入手していますか。（○はいくつでも）

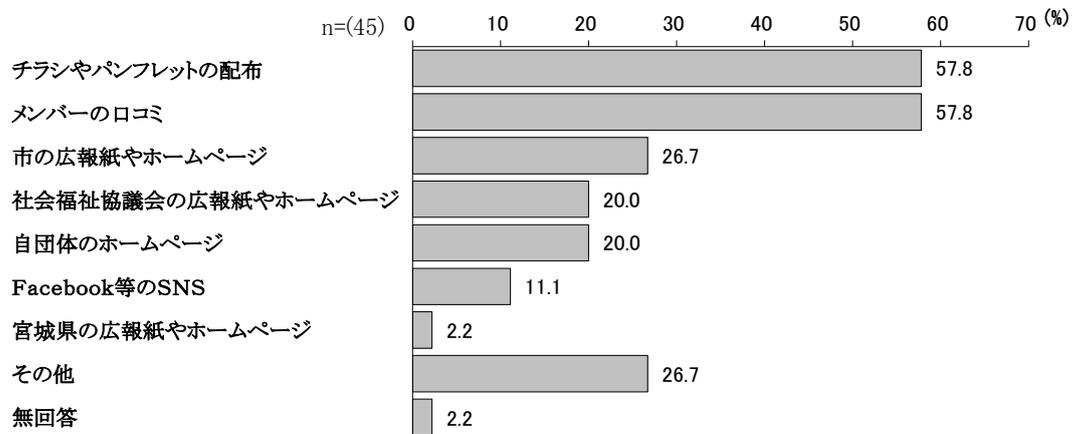


活動に必要な情報の入手先についてたずねたところ、「市の広報紙」53.3%が最も多く、以下「社会福祉協議会の窓口」48.9%、「民生委員・児童委員を通じて」46.7%、「他の団体を通じて」44.4%、「福祉サービスの事業所やその職員」40.0%、「社会福祉協議会の広報紙」33.3%、「知り合いを通じて」28.9%、「市のホームページ」26.7%、「市役所の窓口・掲示板」「宮城県の広報紙やホームページ」ともに22.2%、「社会福祉協議会のホームページ」11.1%となっている。

なお、「その他」は20.0%となっており、「仙台保護観察所」「利用者」「公民館」などの回答があった。

（5）情報や活動内容の発信の仕方

問5 貴団体の情報や活動内容をどのように発信していますか。（○はいくつでも）

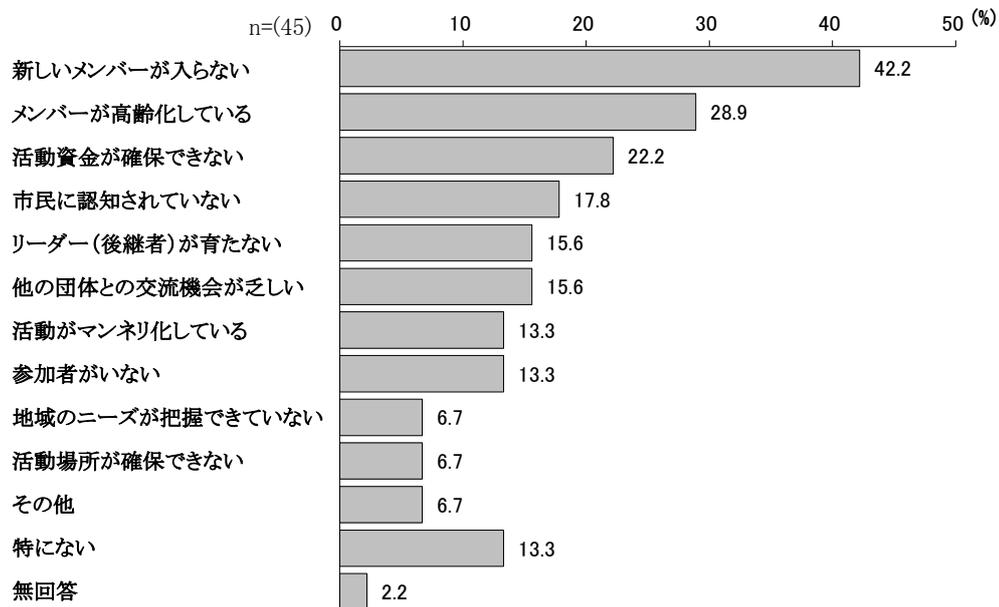


情報や活動内容の発信の仕方についてたずねたところ、「ちらしやパンフレットの配布」「メンバーのロコミ」ともに 57.8%が最も多く、以下「市の広報紙やホームページ」26.7%、「社会福祉協議会の広報紙やホームページ」「自団体のホームページ」ともに 20.0%となっている。

なお、「その他」は 26.7%となっており、「公民館便り」「総会」などの回答があった。

(6) 活動している中で困っていること

問6 貴団体が現在活動している中で困っていることを教えてください。（〇はいくつでも）



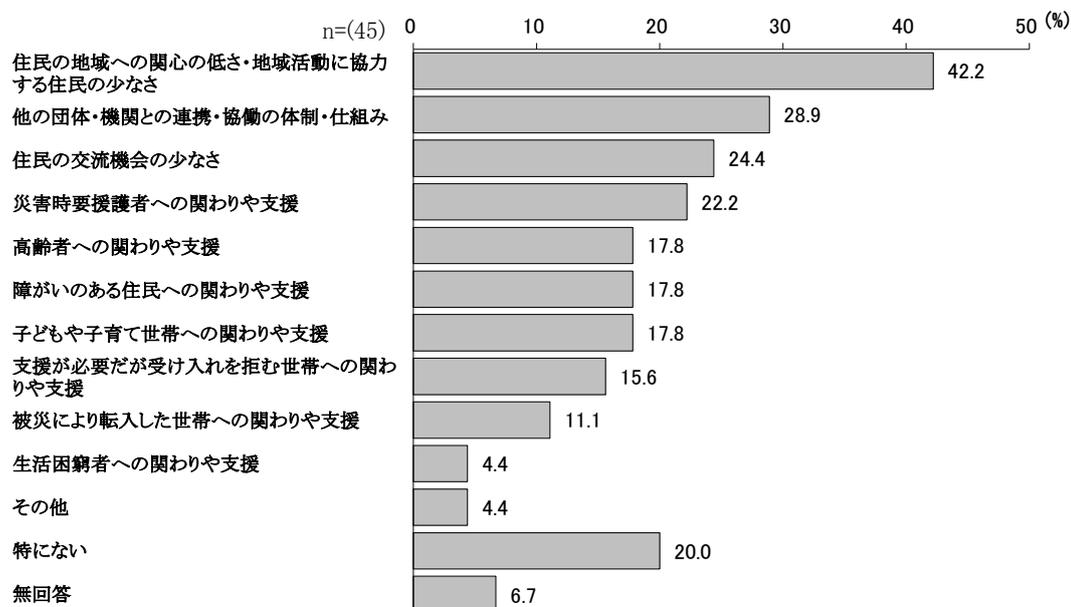
活動している中で困っていることについてたずねたところ、「新しいメンバーが入らない」42.2%が最も多く、以下「メンバーが高齢化している」28.9%、「活動資金が確保できない」22.2%、「市民に認知されていない」17.8%、「リーダー（後継者）が育たない」「他の団体との交流機会が乏しい」ともに15.6%、「活動がマンネリ化している」「参加者がいない」ともに13.3%となっている。

3. 地域福祉について

（1）地域福祉の観点での課題

問7 貴団体で地域福祉の観点で課題となったことはどのようなことですか。

（〇はいくつでも）



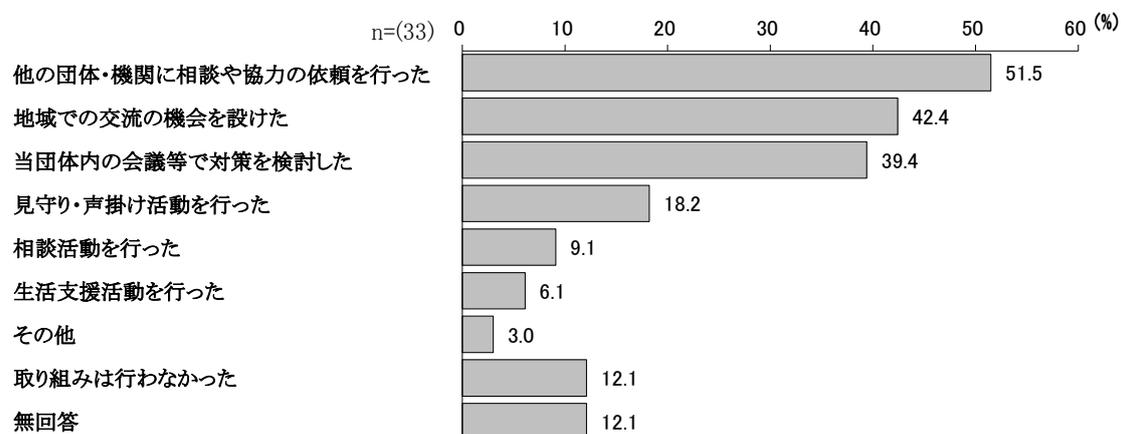
地域福祉の観点での課題についてたずねたところ、「住民の地域への関心の低さ・地域活動に協力する住民の少なさ」42.2%が最も多く、以下「他の団体・機関との連携・協働の体制・仕組み」28.9%、「住民の交流機会の少なさ」24.4%、「災害時要援護者への関わりや支援」22.2%となっている。

（2）地域福祉の観点での課題の解決に向けての取り組み

（問7で「1～11」のいずれかの課題があると回答した方に）

問7-1 問7の課題の解決に向けて、貴団体ではどのような取り組みをしましたか。

（○はいくつでも）

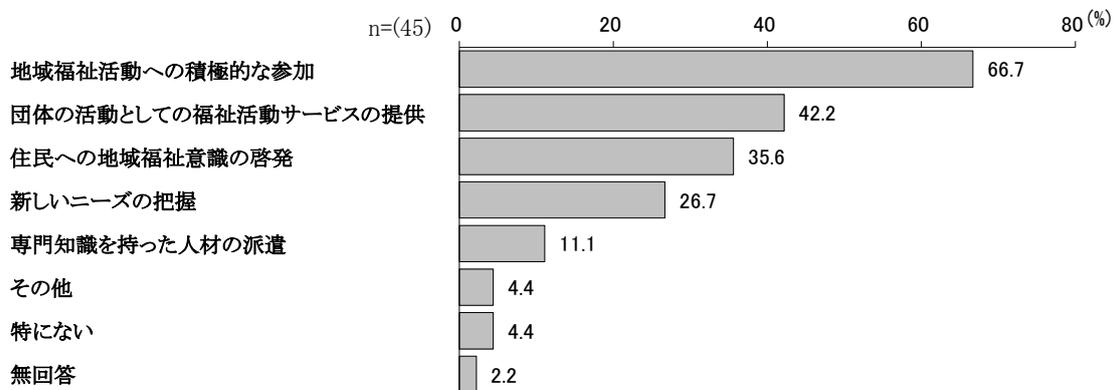


地域福祉の観点での課題の解決に向けての取り組みについてたずねたところ、「他の団体・機関に相談や協力の依頼を行った」51.5%が最も多く、以下「地域での交流の機会を設けた」42.4%、「当団体内の会議等で対策を検討した」39.4%、「見守り・声掛け活動を行った」18.2%となっている。

（3）活性化するため協力できること

問8 地域の福祉活動を活性化するために、貴団体が協力できることはどんなことですか。

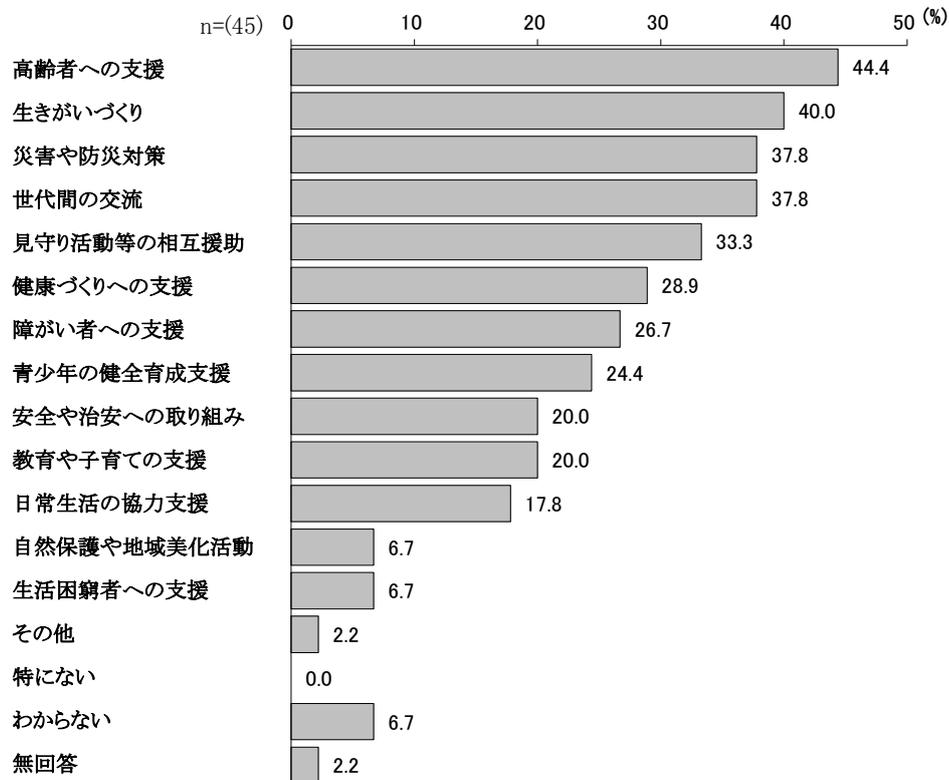
（○はいくつでも）



活性化するため協力できることについてたずねたところ、「地域福祉活動への積極的な参加」66.7%が最も多く、以下「団体の活動としての福祉活動サービスの提供」42.2%、「住民への地域福祉意識の啓発」35.6%、「新しいニーズの把握」26.7%、「専門知識を持った人材の派遣」11.1%となっている。

（4）地域の役割や人が協力して取り組むにあたって必要なこと

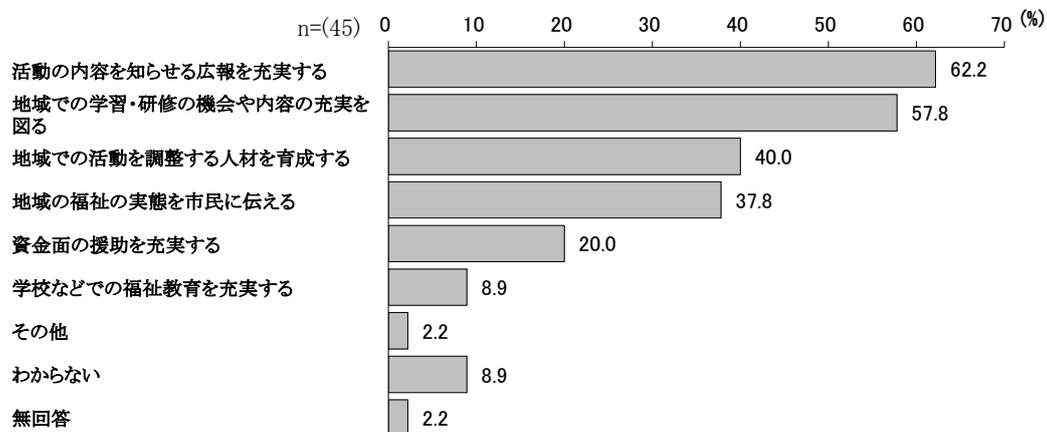
問9 地域福祉に関して、地域としての役割や地域の人が協力して取り組むことについて、貴団体は特にどのようなことが必要だと思いますか。（〇は5つまで）



地域の役割や協力して取り組むことに必要なことについてたずねたところ、「高齢者への支援」44.4%が最も多く、以下「生きがいづくり」40.0%、「災害や防災対策」「世代間の交流」ともに37.8%、「見守り活動等の相互援助」33.3%となっている。

（5）ボランティア活動の輪を広げるために重要なこと

問10 ボランティア活動の輪を広げるために、貴団体は今後どのようなことが特に重要だと考えますか。（○はいくつでも）



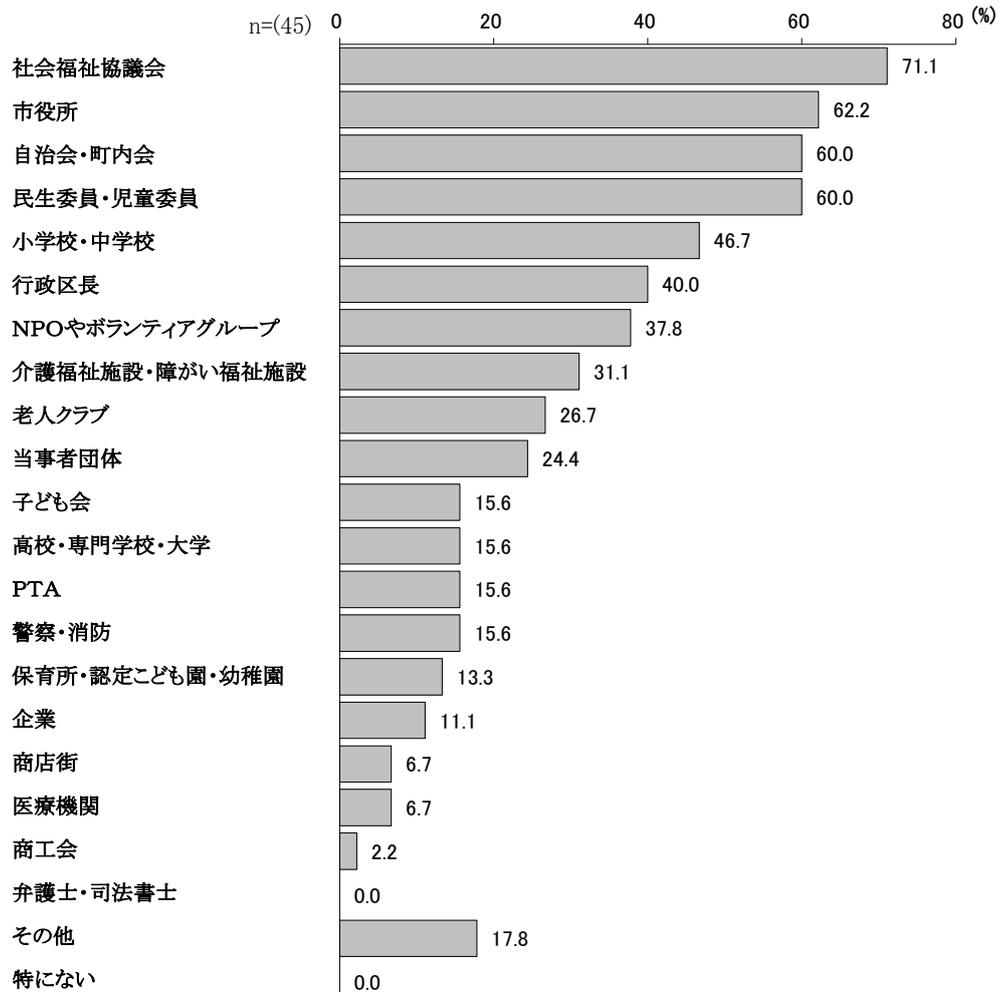
ボランティア活動の輪を広げるために重要なことについてたずねたところ、「活動の内容を知らせる広報を充実する」62.2%が最も多く、以下「地域での学習・研修の機会や内容の充実を図る」57.8%、「地域での活動を調整する人材を育成する」40.0%、「地域の福祉の実態を市民に伝える」37.8%、「資金面の援助を充実する」20.0%となっている。

4. 他の関係機関等との連携について

（1）連携している地域の他の団体・機関

問11 貴団体が活動を行う上で、連携している地域の他の団体・機関を教えてください。

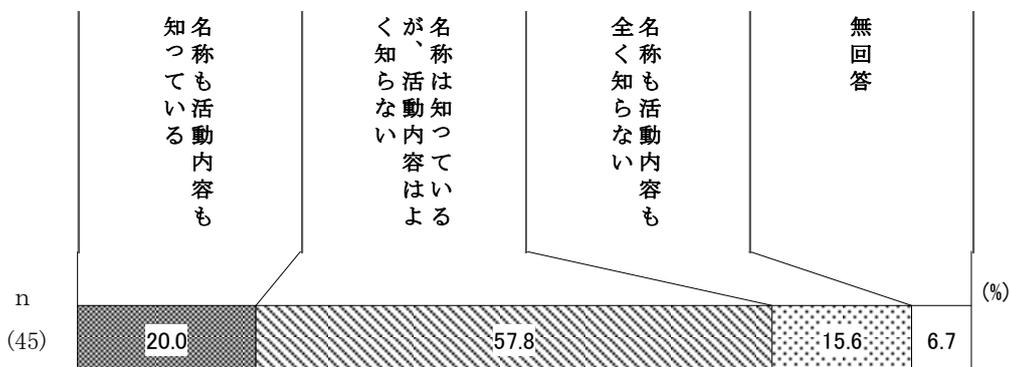
（○はいくつでも）



連携している地域の他の団体・機関についてたずねたところ、「社会福祉協議会」71.1%が最も多く、以下「市役所」62.2%、「自治会・町内会」「民生委員・児童委員」ともに60.0%、「小学校・中学校」46.7%、「行政区長」40.0%、「NPOやボランティアグループ」37.8%、「介護福祉施設・障がい福祉施設」31.1%、「老人クラブ」26.7%、「当事者団体」24.4%となっている。

（2）コミュニティソーシャルワーカーの認知度

問12 貴団体ではコミュニティソーシャルワーカーについて知っていますか。（○は1つ）



コミュニティソーシャルワーカーの認知度についてたずねたところ、「名称は知っているが、活動内容はよく知らない」が最も多く57.8%を占めており、以下「名称も活動内容も知っている」20.0%、「名称も活動内容も全く知らない」15.6%となっている。

用語の説明

コミュニティソーシャルワーカー

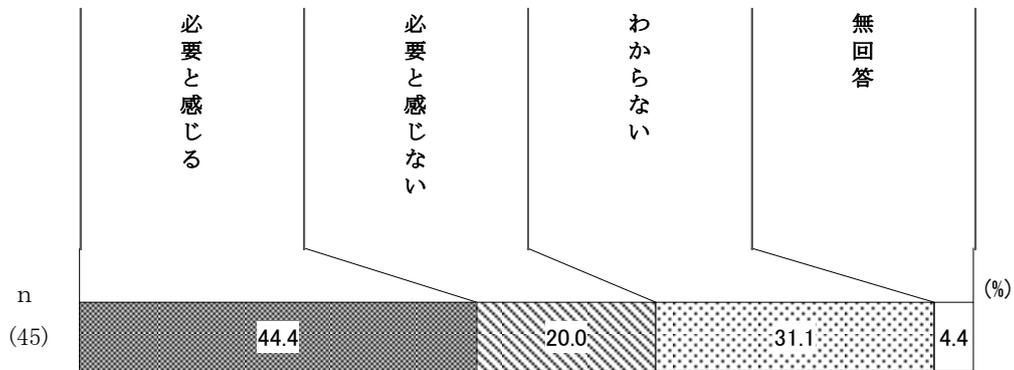
日常的に地域の状況を把握し、住民の活動の支援や様々な機関・団体のネットワークづくりを通して、地域の福祉課題の解決を進める人のことです。

名取市では、現在配置されていません。

(3) コミュニティソーシャルワーカーとの関わりの必要性

問13 貴団体ではコミュニティソーシャルワーカーとの関わりを必要と感じますか。

(○は1つ)

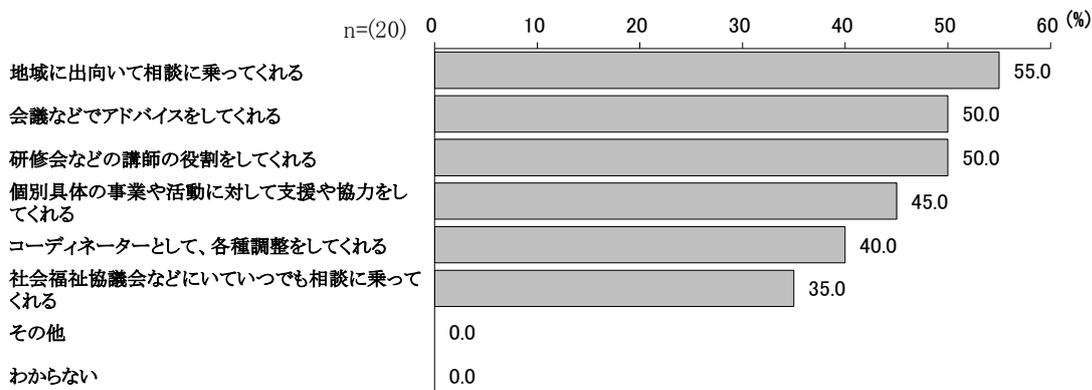


コミュニティソーシャルワーカーとの関わりの必要性についてたずねたところ、「必要と感じる」44.4%が「必要と感じない」20.0%を上回っている。

（4）コミュニティソーシャルワーカーに希望する連携の仕方

（問13で「1. 必要と感じる」と回答した方に）

問13-1 貴団体ではコミュニティソーシャルワーカーとどのような連携の仕方を望みますか。（○はいくつでも）

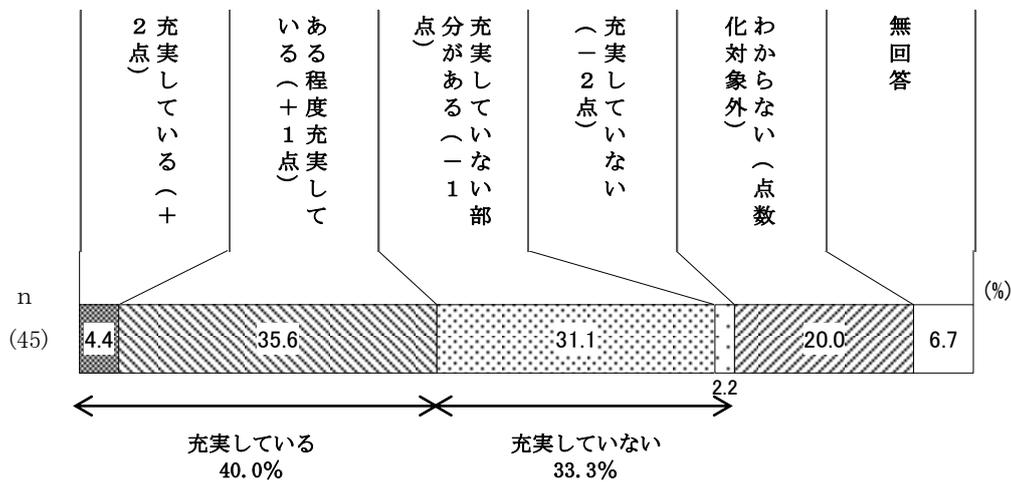


コミュニティソーシャルワーカーに希望する連携の仕方についてたずねたところ、「地域に出向いて相談に乗ってくれる」55.0%が最も多く、以下「会議などでアドバイスをしてくれる」「研修会などの講師の役割をしてくれる」ともに50.0%、「個別具体の事業や活動に対して支援や協力をしてくれる」45.0%、「コーディネーターとして、各種調整をしてくれる」40.0%となっている。

5. 今後の福祉行政のあり方について

（1）行政が行っている福祉サービスの水準

問 14 現在、行政が行っている福祉サービスの水準について、貴団体のお考えに近いものを選んでください。（○は1つ）

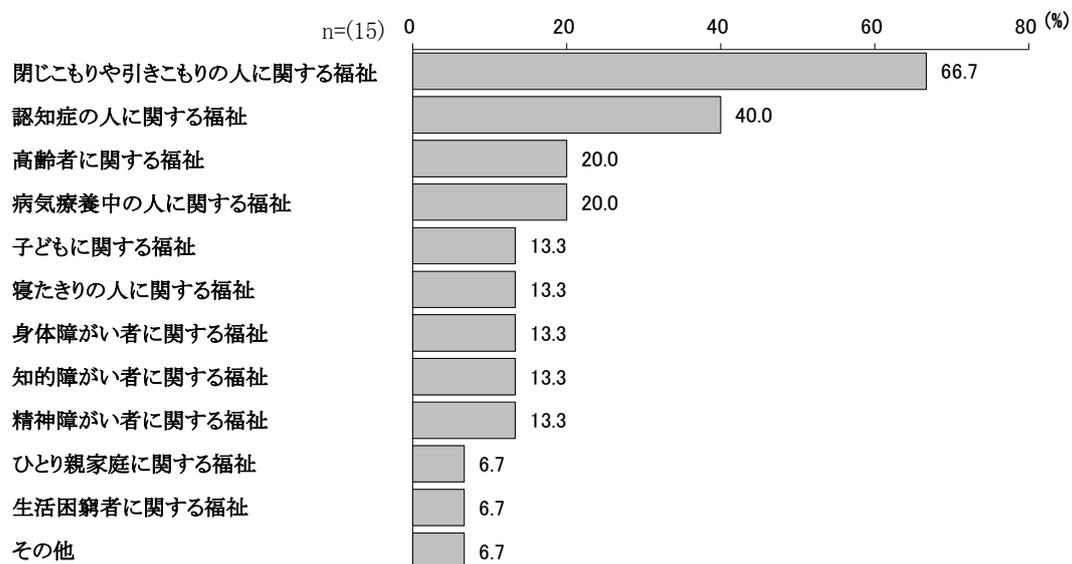


行政が行っている福祉サービスの水準についてたずねたところ、「ある程度充実にしている (+1点)」35.6%が最も多く、以下「充実にしている部分がない (-1点)」31.1%、「充実にしている (+2点)」4.4%となっている。

行政が行っている福祉サービスの水準が“充実にしている”派は40.0%と“充実にしていない”派33.3%を上回っている。

（2）充実していないと考える福祉サービス

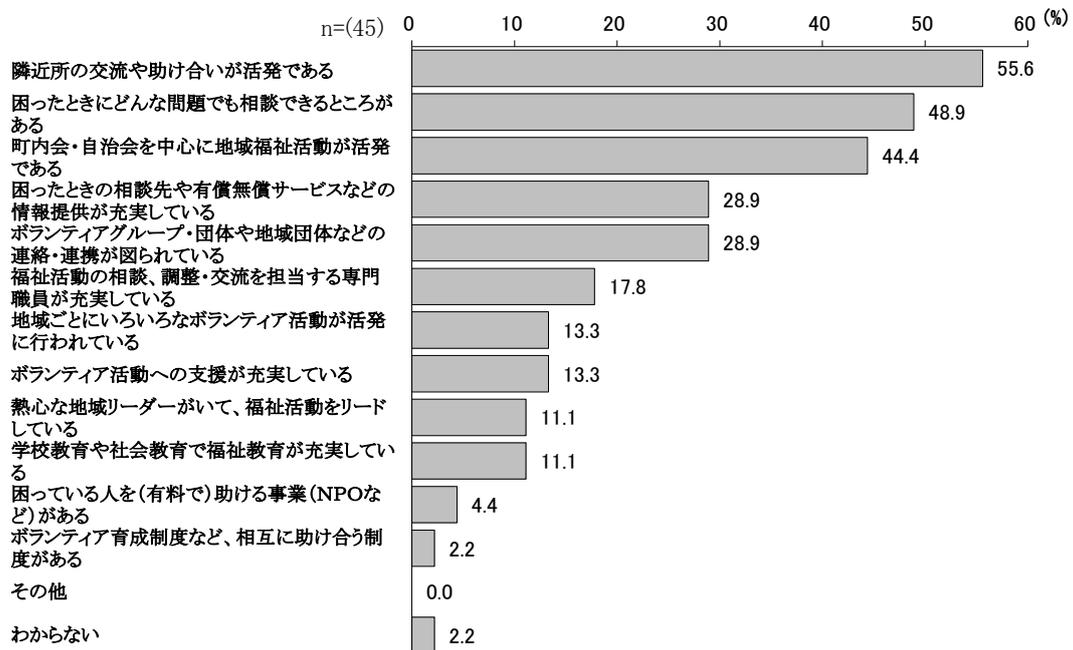
（問14で「3. 充実していない部分がある」、「4. 充実していない」と回答した方に）
 問14-1 どの分野の福祉サービスが充実していないとお考えですか。（〇はいくつでも）



充実していないと考える福祉サービスについてたずねたところ、「閉じこもりや引きこもりの人に関する福祉」66.7%が最も多く、以下「認知症の人に関する福祉」40.0%、「高齢者に関する福祉」「病気療養中の人に関する福祉」とともに20.0%、「子どもに関する福祉」「寝たきりの人に関する福祉」「身体障がい者に関する福祉」「知的障がい者に関する福祉」「精神障がい者に関する福祉」いずれも13.3%となっている。

（3）助け合えるまちとしての理想像

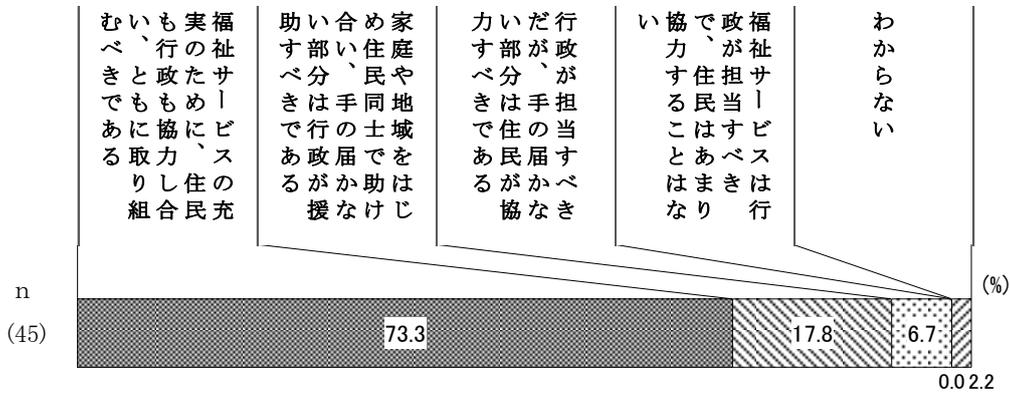
問15 困ったときに助けあえるまちとは、どのようなまちだと思いますか。（○は3つまで）



助け合えるまちとしての理想像についてたずねたところ、「隣近所の交流や助け合いが活発である」55.6%が最も多く、以下「困ったときにどんな問題でも相談できる場所がある」48.9%、「町内会・自治会を中心に地域福祉活動が活発である」44.4%、「困ったときの相談先や有償無償サービスなどの情報提供が充実している」「ボランティアグループ・団体や地域団体などの連絡・連携が図られている」ともに28.9%となっている。

（4）住民と行政とのあるべき関係

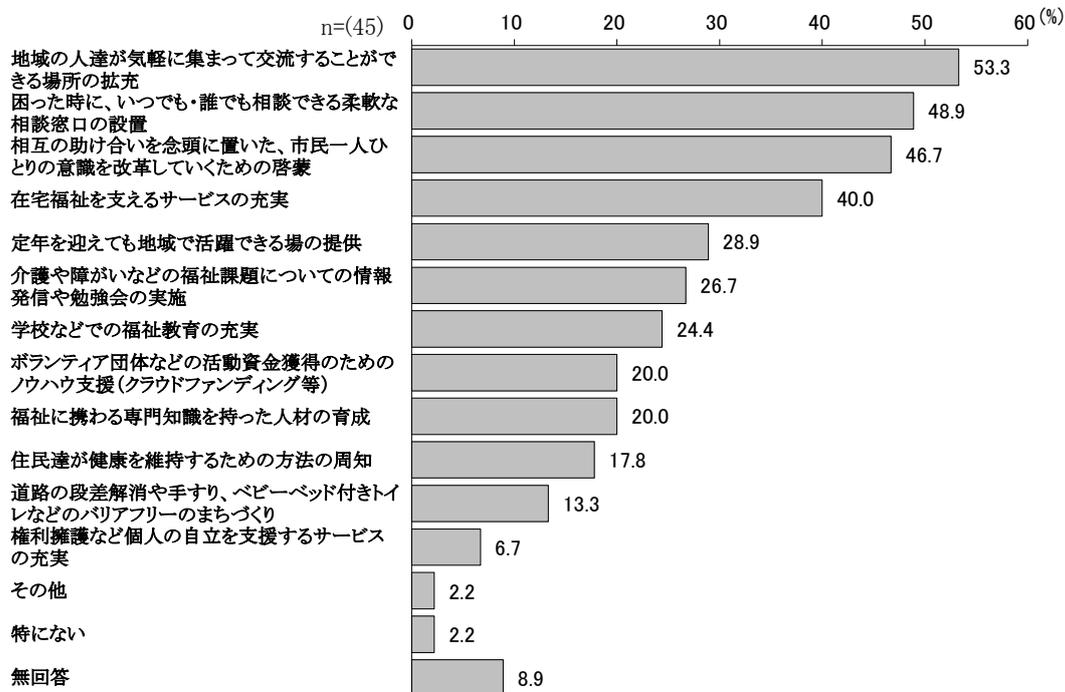
問16 地域での福祉活動を推進していくうえで、住民と行政との関係はどうあるべきだとお考えですか。（○は1つ）



住民と行政とのあるべき関係についてたずねたところ、「福祉サービスの充実のために、住民も行政も協力し合い、ともに取り組むべきである」が最も多く73.3%を占めており、以下「家庭や地域をはじめ住民同士で助け合い、手の届かない部分は行政が援助すべきである」17.8%、「行政が担当すべきだが、手の届かない部分は住民が協力すべきである」6.7%となっている。

（5）住民の活動を推進するうえで、行政に期待すること

問17 地域における住民の福祉活動を推進していく上で、貴団体が行政に期待することを教えてください。（〇はいくつでも）



住民の活動を推進するうえで、行政に期待することについてたずねたところ、「地域の人達が気軽に集まって交流することができる場所の拡充」53.3%が最も多く、以下「困った時に、いつでも・誰でも相談できる柔軟な相談窓口の設置」48.9%、「相互の助け合いを念頭に置いた、市民一人ひとりの意識を改革していくための啓蒙」46.7%、「在宅福祉を支えるサービスの充実」40.0%、「定年を迎えても地域で活躍できる場の提供」28.9%、「介護や障がいなどの福祉課題についての情報発信や勉強会の実施」26.7%、「学校などでの福祉教育の充実」24.4%、「ボランティア団体などの活動資金獲得のためのノウハウ支援（クラウドファンディング等）」「福祉に携わる専門知識を持った人材の育成」ともに20.0%となっている。

6. 自由意見

問 18 地域福祉や福祉全般についてご希望やご意見等がありましたら、自由にお書きください。

地域福祉や福祉全般について希望や意見をたずねたところ、回答団体数は 23 団体となり、意見数は 49 件となった。以下は、意見内容を分類し、多い順に示した結果である。

順位	意見内容	件数
1	市に期待する事・意見	13
2	地域福祉について	10
2	団体について	10
4	市民の積極的参加の必要性	8
5	地域活動の担い手不足について	3
5	アンケートについて	3
	その他	2
	合 計	49

第4章 市民と団体の違いについて

1. 地域福祉のために必要なこと・できることについて

(市民：P32-33/問9、P34-35/問10、団体：P99/問9、P98/問8)

地域福祉の観点での課題（団体：P96/問7）

地域の役割や人が協力して取り組むにあたって必要なことは、市民の76.2%が「災害や防災対策」を回答し、以下の「安全や治安への取り組み」54.5%、「高齢者への支援」42.9%、「見守り活動等の相互援助」33.6%、「教育や子育ての支援」32.6%を大きく上回っている。

市民自身ができると思う活動は、必要なことで76.2%が回答した「災害や防災対策」42.5%が最も多いが実際にできるとの回答は約30ポイント下回っている。以下「自然保護や地域美化活動」29.1%、「安全や治安への取り組み」26.1%、「見守り活動等の相互援助」24.6%、「高齢者への支援」20.0%となっている。

性別にみると、男性では「災害や防災対策」「安全や治安への取り組み」など環境への取り組みが、女性では「高齢者への支援」「教育や子育ての支援」「健康づくりへの支援」「障がい者への支援」など人への支援が多くなっている。

年齢（6区分）別にみると、おおむね年代が上がるほど「高齢者への支援」「日常生活の協力体制」が多いが、30代、40代では「教育や子育ての支援」が20~30%台であるなど、ライフステージに対応した活動を回答している。

なお、10~20代、30代では「わからない」が20%以上であり、情報の提供や参加しやすいきっかけづくりが必要である。

団体が考える地域福祉の観点での課題は、「住民の地域への関心の低さ・地域活動に協力する住民の少なさ」42.2%が最も多く、以下「他の団体・機関との連携・協働の体制・仕組み」28.9%、「住民の交流機会の少なさ」24.4%、「災害時要援護者への関わりや支援」22.2%となっている。

地域の役割や人が協力して取り組むにあたって団体が必要なことは、「高齢者への支援」44.4%、「生きがいづくり」40.0%、「災害や防災対策」「世代間の交流」とともに37.8%、「見守り活動等の相互援助」33.3%と現在の各団体が主として取り組んでいる活動を回答している。

地域を活性化するために団体が協力できることは、「地域福祉活動への積極的な参加」66.7%が最も多く、以下「団体の活動としての福祉活動サービスの提供」42.2%、「住民への地域福祉意識の啓発」35.6%、「新しいニーズの把握」26.7%、「専門知識を持った人材の派遣」11.1%となっている。

団体は、これまで通りの各種福祉活動全体への参画はもちろんのこと、課題と考える参画する住民を増やすための意識啓発や人材の派遣を可能とする団体もあり、団体相互の関係強化のみならず、市民を巻き込んだ幅広い地域福祉活動の実践が重要である。

また、平成30年12月に名取駅前再開発事業が完了し、名取市図書館や増田公民館が名取駅前に移転するなど新しい集いの場が増えたことにより、住民による自発的取り組みや多世代交流が活発となることが期待できる。

2. ボランティア活動の参加意向と団体が困っていることについて

ボランティア活動の今後の参加意向（市民：P53-54/問18）

活動している中で困っていること（団体：P95/問6）

市民のボランティア活動に対する今後の参加意向は、「関心はあるが、参加する機会がない」44.0%が最も多く、「何らかの活動に参加したい（あるいは今後も活動を続けたい）」は18.1%となっている。なお、「参加するつもりはない」は28.9%である。

年齢（6区分）別にみると、10～20代、40代では「関心はあるが、参加する機会がない」が50%以上、50代、60代では「何らかの活動に参加したい（あるいは今後も活動を続けたい）」が20%以上と、他の年代を上回っており、ライフステージ別に訴求するきっかけづくりが必要である。

団体が活動している中で困っていることは、「新しいメンバーが入らない」42.2%が最も多く、以下「メンバーが高齢化している」28.9%、「活動資金が確保できない」22.2%、「市民に認知されていない」17.8%、「リーダー（後継者）が育たない」「他の団体との交流機会が乏しい」ともに15.6%、「活動がマンネリ化している」「参加者がいない」ともに13.3%となっており、団体は担い手不足、市民は参加のきっかけを求めているなど、アンマッチが見受けられる。

3. 取り組んでみたいボランティア活動や助け合い活動と参加に必要な支援について

取り組んでみたいボランティア活動や助け合い活動（市民：P55-56/問18-1）

ボランティア活動が行いやすくなると思う支援（市民：P57-58/問19）

ボランティア活動の輪を広げるために重要なこと（団体：P100/問10）

市民が取り組んでみたいボランティア活動や助け合い活動は、「災害時の支援」32.5%が最も多く、以下「環境美化活動・エコ活動」27.9%、「地域での見守り活動（相談や安否確認）」23.1%、「スポーツやレクリエーション活動の支援」20.8%、「交通安全活動」17.2%、「被災者への支援」17.0%、「防火・防犯活動」16.6%となっている。

性別にみると、男性では「災害時の支援」「環境美化活動・エコ活動」「地域での見守り活動（相談や安否確認）」「スポーツやレクリエーション活動の支援」「交通安全活動」「防火・防犯活動」など、どちらかといえばアクティブな活動が上位となっている。

女性は「子育て支援」が上位となり、「福祉施設での活動・慰問など」「各種福祉事業のスタッフ協力」など福祉分野の意向が目立っている。

年齢（6区分）別にみると、10～20代は「スポーツやレクリエーション活動の支援」「環境美化活動・エコ活動」「教育・学習の支援」の活動が上位であり、30代、40代はそれに加えて「子育て支援」が多く、ここでもライフステージに応じた活動に対する関心が高いことがわかる。さらに、おおむね年齢が上がるほど「災害時の支援交通安全活動」「被災者への支援」「防火・防犯活動」「地域振興活動支援」などが多くなっており、高齢者層が意欲的であることがうかがえる。

市民にとってボランティア活動が行いやすいと思う支援は、「ボランティア活動に関する情報提供」56.6%が最も多く、以下「ボランティア活動先の紹介（マッチング）」30.2%、「ボランティアに関する活動費の補助（交通費等）」26.8%、「ボランティア休暇等、職場からの支援」25.1%、「ボランティア活動に対する職場の理解」21.3%となっている。

性別にみると、男性では「ボランティア休暇等、職場からの支援」「ボランティア活動に対する職場の理解」がやや多い。

年齢（6区分）別にみると、10～20代では「ボランティア活動先の紹介（マッチング）」「ボランティアに関する活動費の補助（交通費等）」、30代では「ボランティア休暇等、職場からの支援」がほかの年代に比べて多く、若い世代では情報提供と経費の支援、働き盛りでは職場環境の理解が重要となっている。

団体が考えるボランティア活動の輪を広げるために重要なことは、「活動の内容を知らせる広報を充実する」62.2%が最も多く、次いで「地域での学習・研修の機会や内容の充実を図る」57.8%が続き、以下「地域での活動を調整する人材を育成する」40.0%、「地域の福祉の実態を市民に伝える」37.8%となっており、様々な形で活動を知らせる取り組みの充実とそれによる人材の育成・確保が提案されており、広報やマッチング等の重要性は明らかである。

4. 社会福祉協議会や行政に期待する役割について

（市民：P61-62/問21、団体：P109/問17）

市民が社会福祉協議会に期待する役割は、「高齢者の介護や見守りなどに関すること」37.2%が最も多く、以下「福祉に関する情報の発信」26.4%、「地域福祉活動や住民参加を支援すること」23.8%、「子どもの育成に関すること」23.5%、「あらゆる相談に応じること」20.7%となっており、10～20代、30代、40代では「子どもの育成に関すること」が30～50%台、60代、70代以上では「高齢者の介護や見守りなどに関すること」が40%以上と、ライフステージに応じた関わりを期待していることがわかる。なお、50代では「ボランティアの育成に関すること」22.7%がほかの年代に比べてやや多く、一定数の住民は、子育てが一段落した後や定年後にボランティア活動を考えていることが推察できる。

社会福祉協議会の活動内容には福祉の担い手である面に加え、ボランティアなどの人材育成が含まれており、適時、適切な手法での情報発信や講座等の開催等も求められる。

住民の活動を推進するうえで、団体が行政に期待することとしては、「地域の人達が気軽に集まって交流することができる場所の拡充」53.3%が最も多く、以下「困った時に、いつでも・誰でも相談できる柔軟な相談窓口の設置」48.9%、「相互の助け合いを念頭に置いた、市民一人ひとりの意識を改革していくための啓蒙」46.7%が僅差で続き、交流の場所の拡充や、いつでも・誰でも相談できる窓口の設置と合わせ、住民への意識啓発の重要性をあげている。

5. 必要な情報の入手先について

(市民：P77-78/問29、団体：P93/問4)

市民が福祉サービスに関する情報を入手する先は、「市役所（窓口、広報、ホームページ等）」49.7%が最も多く、以下の「家族、親戚」25.0%、「新聞・雑誌・テレビ・ラジオ」24.2%、「インターネットやSNS」21.3%、「友人、知人」20.5%、「行政区長や町内会・自治会等（回覧板・掲示板含む）」16.1%を大きく引き離して一番の頼りとされている。

性別にみると、男性は「行政区長や町内会・自治会等（回覧板・掲示板含む）」、女性は「友人、知人」24.1%がやや多くなっている。

年齢（6区分）別にみると、おおむね年代が上がるほど「市役所（窓口、広報、ホームページ等）」が多く、一方、年代が若いほど「インターネットやSNS」が多く、10～20代では38.2%を占めている。

世代により情報入手の手段が変わっている、また即応性が求められていることは明らかであり、若い世代への情報提供のあり方のひとつとして、市民が情報を求めてくることを待たず、自動的に発信することができるSNS等の導入検討も必要である。

団体が活動に必要な情報を入手する先は、「市の広報紙」53.3%が最も多く、以下「社会福祉協議会の窓口」48.9%、「民生委員・児童委員を通じて」46.7%、「他の団体を通じて」44.4%、「福祉サービスの事業所やその職員」40.0%が僅差で続き、やや離れて「社会福祉協議会の広報紙」33.3%、「知り合いを通じて」28.9%、「市のホームページ」26.7%、「市役所の窓口・掲示板」「宮城県の広報紙やホームページ」ともに22.2%、「社会福祉協議会のホームページ」11.1%となっており、市民同様、市の発信する情報を一番に頼りにはしているものの、社会福祉協議会、民生委員・児童委員という福祉に特化した組織の重要性も明らかであり、情報の発信先として今後も期待が大きいところである。

6. 行政が行っている福祉サービス水準の評価について

(市民：P79-80/問30、団体：P105/問14)

充実していないと考える福祉サービス（市民：P81-82/問30-1、団体：P105/問14-1）

行政が行っている福祉サービスの水準について、市民は、「充実している」派は26.9%と「充実していない」派16.8%を上回っているが、「わからない（点数化対象外）」が53.2%を占め評価できない回答が最も多かった。

年齢（6区分）別にみると、70代以上では「充実している」派が39.5%で他の年代を上廻り、30代では評価は高くない。

団体は「充実している」派が40.0%と「充実していない」派33.3%を上回って市民より評価が高い。

市民が充実していないと考える福祉サービスは、「高齢者に関する福祉」42.6%が最も多く、以下「子どもに関する福祉」37.2%、「病気療養中の人に関する福祉」28.7%、「認知症の人に

関する福祉」27.9%、「身体障がい者に関する福祉」23.3%、「知的障がい者に関する福祉」22.5%、「精神障がい者に関する福祉」20.9%となっている。

女性は「高齢者に関する福祉」「身体障がい者に関する福祉」「知的障がい者に関する福祉」「精神障がい者に関する福祉」「閉じこもりや引きこもりの人に関する福祉」「ひとり親家庭に関する福祉」などで弱者支援への対策が必要という点で男性を上回っている。

年齢（6区分）別にみると、おおむね年齢が上がるほど「高齢者に関する福祉」が増加し、70代以上では66.7%を占め、一方、30代では「子どもに関する福祉」92.6%と圧倒的であり、ここでも回答者のライフステージによる違いが顕著となっている。

団体が充実していないと考える福祉サービスは、「閉じこもりや引きこもりの人に関する福祉」66.7%が最も多く、以下「認知症の人に関する福祉」40.0%であり、住民の着眼とは異なり、団体の活動を通じて実感したと思われる各種制度の狭間にある事例や、既存のサービスのみでは対応が難しい分野が上位となっており、行政と市民をつなぐ存在である団体との課題解決に向けた連携が必要である。

7. 助け合えるまちとしての理想像について

（市民：P83-84/問31、団体：P107/問15）

市民にとって助け合えるまちとしての理想像は、「困ったときにどんな問題でも相談できるところがある」55.4%が最も多く、「困ったときの相談先や有償無償サービスなどの情報提供が充実している」44.9%が続き、離れて「隣近所の交流や助け合いが活発である」21.8%、「町内会・自治会を中心に地域福祉活動が活発である」「福祉活動の相談、調整・交流を担当する専門職員が充実している」ともに19.2%、「学校教育や社会教育で福祉教育が充実している」17.0%となっている。

性別にみると、男性では「隣近所の交流や助け合いが活発である」「町内会・自治会を中心に地域福祉活動が活発である」が、女性では「困ったときの相談先や有償無償サービスなどの情報提供が充実している」への期待が大きい。

年齢（6区分）別にみると、60代までの上位2位に変わりはないが、3位以降に違いがみられ、10～20代、30代、40代では「学校教育や社会教育で福祉教育が充実している」、50代では「福祉活動の相談、調整・交流を担当する専門職員が充実している」、60代では「隣近所の交流や助け合いが活発である」とここでもライフステージにおける違いは顕著である。

団体は、「隣近所の交流や助け合いが活発である」55.6%が最も多く、市民の回答を約30ポイント以上、上回っている。以下「困ったときにどんな問題でも相談できるところがある」48.9%、「町内会・自治会を中心に地域福祉活動が活発である」44.4%が続き、以下離れて「困ったときの相談先や有償無償サービスなどの情報提供が充実している」「ボランティアグループ・団体や地域団体などの連絡・連携が図られている」ともに28.9%となっている。

助け合えるまちの理想像は、市民は、相談先やサービスがあればよいという考えが多くを占めるが、専門家で地域課題に直面する団体は、隣近所の交流や助け合いこそが大切であるとし、考えにかい離が大きいため、この違いを理解して、まちづくりを進める必要がある。

8. 住民と行政とのあるべき関係について

(市民：P85-86/問 32、団体：P108/問 16)

住民と行政とのあるべき関係については、市民も団体も「福祉サービスの充実のために、住民も行政も協力し合い、ともに取り組むべきである」ことに違いはないが、回答比率は市民は45.0%であるが、団体では73.3%と約30ポイントの開きがある。

市民の回答の次点は「行政が担当すべきだが、手の届かない部分は住民が協力すべきである」25.5%であり、団体と比べ行政主導の期待も一部に大きく、理想とする＜住民も行政も協力し合い、ともに取り組む＞ためには多種多様な機会を通じ、共同参画について取り組んでいくことが重要である。

9. 共通の課題について

- 限られた参加者による各種活動の担い手不足
- 我が事・丸ごとの地域共生社会に対する共感を市民が現実の地域づくりに結び付ける仕組みづくり
- 地域で気軽に集まれる場づくり（多世代交流）
- 各種情報を速やかに効果的に情報提供・入手できる仕組みづくり（ライフステージ別）
- 各種活動に参加しやすい環境づくり（家庭・学校・勤務先・地域など）
- 各種活動と参加希望者を結び付けるマッチングの必要性（ライフステージ別）
- 地域の住民、各種団体、専門職が地域課題に取り組める場の設定
- 制度の狭間にある事例への対応の必要性
- 地域包括ケアシステムの実践による各種福祉サービスの提供
- 各種活動のリーダーの育成
- 各種団体が相談できる先の重要性（コミュニティソーシャルワーカーの必要性）
- 公的な包括的な相談支援体制の整備の必要性

資料

市民調査票

市民用

名取市地域福祉に関するアンケート調査

～ご協力をお願い～

日ごろから市政に対しご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

現在、地域福祉の推進のため、名取市は「名取市地域福祉計画」を、名取市社会福祉協議会は「地域福祉活動計画」の策定を進めています。

これらの計画は、誰もが住みなれた地域で福祉サービスなどを利用しながら健康で明るく生きがいのある生活ができるよう、また、市民の皆さまの主体的な活動による福祉のまちづくりを目指すためのものです。

このアンケート調査は、市民の皆さまの現状や考え、ご意見などをお聞きし、計画策定の基礎資料とするもので、市内にお住いの18歳以上の方から無作為に抽出した2,000名の方に調査をお願いしております。

調査は無記名であり、ご回答いただいた内容は統計的に処理します。個人の内容を公表するなど、ご迷惑をおかけすることは一切ございませんので、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

平成30年10月

名取市長 山田 司郎



《ご記入にあたってのお願い》

- 1 封筒宛名のご本人様にご記入ください。ご本人様が記入できない場合は、代理の方がご本人様の意思を尊重してご回答くださいますようお願いいたします。
- 2 回答は、あてはまる番号を○で囲んでください。設問ごとに「○は1つ」「○はいくつでも」など、それぞれ指定されていますので、ご注意ください。
- 3 ご記入いただいた調査票は、同封の返信用封筒にて、10月31日（水）までにご返送ください。

《問い合わせ先》

名取市 健康福祉部 社会福祉課 庶務係
電話 022-724-7106



計画づくりに
あなたの声を！

あなたご自身のことについて

それぞれの項目ごとに、あてはまる番号を選んでください。

(1) 居住地区 (○は1つ)	1. 増田地区 2. 増田西地区 3. 名取が丘地区 4. 閑上地区 5. 下増田地区 6. 館腰地区	7. 愛島地区 8. 高館地区 9. ゆりが丘・みどり台地区 10. 相互台地区 11. 那智が丘地区
(2) 性別 (○は1つ)	1. 男性	2. 女性
(3) 年齢 (○は1つ)	1. 10代 2. 20代 3. 30代 4. 40代	5. 50代 6. 60代 7. 70代以上
(4) 世帯構成 (○は1つ)	1. 単身世帯 2. 夫婦のみ (一世代世帯) 3. 親と子 (二世代世帯)	4. 親と子と孫 (三世代世帯) 5. その他 ()
(5) 住居の種類 (○は1つ)	1. 持ち家 (一戸建て) 2. 持ち家 (集合住宅) 3. 賃貸住宅 (一戸建て)	4. 賃貸住宅 (集合住宅) 5. 社宅・官舎・寮 6. その他 ()
(6) 職業 (○は1つ)	1. 会社員 2. 公務員、団体職員 3. 農業、林業、漁業 4. 自営業 (商業、サービス業等) 5. 自営業 (工業、製造業等)	6. パート、アルバイトなど 7. 専業主婦 (主夫) 8. 学生 (専門学校生含む) 9. 無職 10. その他 ()
(7) 名取市での 居住年数 (○は1つ)	1. 1年未満 2. 1年以上5年未満 3. 5年以上10年未満	4. 10年以上30年未満 5. 30年以上
(8) 同居家族の中に いる人 (○はいくつでも)	1. 乳児 (1歳未満) 2. 乳児を除く小学校入学前の幼児 3. 小学生 4. 中学生・高校生	5. 65歳以上の人 6. 介護を必要とする人 7. 障がいのある人 8. いずれもない

問1 世帯全体の年間の収入はおおよそいくらぐらいですか。

世帯の年間の収入は、給与や事業の売上、年金や各種給付金、手当、仕送りなどの収入の総計としてお答えください。(○は1つ)

- | | |
|-------------------|-------------------|
| 1. 100万円未満 | 5. 400万円以上500万円未満 |
| 2. 100万円以上200万円未満 | 6. 500万円以上700万円未満 |
| 3. 200万円以上300万円未満 | 7. 700万円以上 |
| 4. 300万円以上400万円未満 | |

問2 ご自身の生活の経済的な状況について、どのように感じていますか。(○は1つ)

- | |
|----------------------------|
| 1. 経済的にかなりゆとりがある |
| 2. 経済的にゆとりがある |
| 3. 経済的には普通だと感じている |
| 4. 経済的にはゆとりはないが、なんとか生活している |
| 5. 経済的にゆとりはなく、生活が苦しい |

ご近所とのつきあいや地域活動などについて

問3 住民が助け合いの活動を行う「地域」とはどの範囲だと思われませんか。(○は1つ)

- | | |
|------------|----------|
| 1. 隣近所 | 5. 市全域 |
| 2. 町内会・自治会 | 6. その他 |
| 3. 小学校区単位 | () |
| 4. 中学校区単位 | 7. わからない |

問4 ご近所との関係は次のどれに最も近いですか。(○は1つ)

- | | |
|---------------------|----------------------|
| 1. 何か困ったときに助け合う人がいる | 4. 会えばあいさつをする程度の人がある |
| 2. お互いに訪問し合う人がいる | 5. ほとんど近所とのつきあいはない |
| 3. 立ち話をする程度の人がある | 6. 隣近所の顔も知らない |

問5 近所づきあいの考え方は、次のどれに近いですか。(○は1つ)

- | |
|------------------------------------|
| 1. 親しく相談したり、助け合ったりするのは必要だと思う |
| 2. わずらわしいと思うが、日常生活に便利なことが多いので必要である |
| 3. わずらわしいことが多いので、あまり必要ではない |
| 4. なくても困らないので、必要がない |
| 5. その他 () |
| 6. わからない |

問6 お住まいの地域で、以下のようなことについてどの程度満足していますか。また、どの程度重要だと思いますか。(ア～ケのそれぞれについて、○は1つずつ)

	満足度							重要度					
	満足	まあ満足	どちらともいえない	やや不満	不満	わからない		重要である	まあ重要である	どちらともいえない	あまり重要でない	重要でない	わからない
ア あいさつなどの声掛け	1	2	3	4	5	6	→	1	2	3	4	5	6
イ 日頃気軽に集まれる場所	1	2	3	4	5	6	→	1	2	3	4	5	6
ウ まちの清掃活動	1	2	3	4	5	6	→	1	2	3	4	5	6
エ 子どもの登下校の見守り	1	2	3	4	5	6	→	1	2	3	4	5	6
オ 手助けが必要な方に対する見守りや目配り	1	2	3	4	5	6	→	1	2	3	4	5	6
カ お祭りや運動会などの行事	1	2	3	4	5	6	→	1	2	3	4	5	6
キ 防災訓練	1	2	3	4	5	6	→	1	2	3	4	5	6
ク 防犯のための巡回	1	2	3	4	5	6	→	1	2	3	4	5	6
ケ 地域で悩みが相談できる関係	1	2	3	4	5	6	→	1	2	3	4	5	6

問7 町内会や自治会に加入していますか。(○は1つ)

1. 現在加入している 2. 以前は加入していたが、現在はしていない 3. 加入したことがない 4. 自分の地域にそのような組織があることを知らない

問8 お住まいの地域で、町内会行事などの地域活動に参加していますか。(○は1つ)

1. 積極的に参加している
2. 都合がつけば、参加するようにしている
3. これまで参加したことがないが、今後機会があれば参加したい
4. これまで参加していたが、今後は参加するつもりはない
5. これまで参加したことがないし、今後も参加するつもりはない

問9 地域としての役割や地域の人が協力して取り組むことについて、特にどのようなことが必要だと思いますか。(○は5つまで)

- | | |
|----------------|----------------|
| 1. 災害や防災対策 | 9. 教育や子育ての支援 |
| 2. 生きがいづくり | 10. 高齢者への支援 |
| 3. 日常生活の協力支援 | 11. 障がい者への支援 |
| 4. 見守り活動等の相互援助 | 12. 青少年の健全育成支援 |
| 5. 世代間の交流 | 13. 生活困窮者への支援 |
| 6. 自然保護や地域美化活動 | 14. その他 () |
| 7. 安全や治安への取り組み | 15. 特にない |
| 8. 健康づくりへの支援 | 16. わからない |

問10 地域としての役割や地域の人が協力して取り組むことについて、**自分**はどのようなことに参加や手助けができると思いますか。(○は5つまで)

- | | |
|----------------|----------------|
| 1. 災害や防災対策 | 9. 教育や子育ての支援 |
| 2. 生きがいづくり | 10. 高齢者への支援 |
| 3. 日常生活の協力体制 | 11. 障がい者への支援 |
| 4. 見守り活動等の相互援助 | 12. 青少年の健全育成支援 |
| 5. 世代間の交流 | 13. 生活困窮者への支援 |
| 6. 自然保護や地域美化活動 | 14. その他 () |
| 7. 安全や治安への取り組み | 15. 特にない |
| 8. 健康づくりへの支援 | 16. わからない |

問11 地域活動に参加するうえで、支障になることがありますか。(○はいくつでも)

- | | |
|----------------------|-------------------|
| 1. 忙しくて時間がとれない | 7. 費用がかかる |
| 2. 健康や体力に自信がない | 8. 家族や職場の支持や理解がない |
| 3. どのような活動があるのかわからない | 9. 交通手段がない |
| 4. 興味の持てる活動が見つからない | 10. その他 |
| 5. 身近なところに活動の場がない | () |
| 6. 人間関係がわずらわしい | 11. 特にない |

問12 今後も名取市に住み続ける予定ですか。(○は1つ)

- | |
|----------------|
| 1. このまま住み続ける予定 |
| 2. いずれ転居する予定 |
| 3. わからない |

地域福祉の考え方について

問13 次のような考え方についてどう思いますか。(ア～クについて、○は1つずつ)

	そう思う	まあそう思う	どちらともいえない	あまりそう思わない	そう思わない	わからない
ア 障がいのある人とない人が、ともに生きるため、役所や事業所は、社会の中にあるバリアを取り除くべき	1	2	3	4	5	6
イ 生活保護を受けている人に対する偏見や差別がある	1	2	3	4	5	6
ウ ひとり親家庭の自立を支援するために、地域のつながりが重要	1	2	3	4	5	6
エ 虐待を防ぐために、地域のつながりが重要	1	2	3	4	5	6
オ DV*被害を防ぐために、地域のつながりが重要	1	2	3	4	5	6
カ 認知症の人やその家族を支えるためには、地域のつながりが重要	1	2	3	4	5	6
キ ひきこもりやニートは、本人だけでなく社会全体の問題	1	2	3	4	5	6
ク ホームレスの問題は、本人だけでなく、社会全体の問題	1	2	3	4	5	6

用語の説明

DV (ドメスティックバイオレンス)	配偶者や恋人など親密な関係にある、またはあった者から振るわれる暴力のことをいいます。
--------------------	--

問 14 「地域共生社会の実現」*という考え方について、共感できますか。(○は1つ)

- | | |
|--------------|--------------|
| 1. そう思う | 4. あまりそう思わない |
| 2. まあそう思う | 5. そう思わない |
| 3. どちらともいえない | 6. わからない |

用語の説明

地域共生社会の 実現

「制度・分野ごとの『縦割り』や『支え手』『受け手』という関係を越えて、地域住民や地域の多様な主体が参画し、人と人、人と資源が世代や分野を越えつながら、住民一人ひとりの暮らしと生きがい、地域をともに創っていく社会を目指す」という考え方です。

福祉への関心について

問 15 「福祉」に関心がありますか。(○は1つ)

- | | | |
|--------------|--------------|----------|
| 1. 関心がある | 3. どちらともいえない | → 問 16 へ |
| 2. ある程度関心がある | 4. あまり関心がない | |
| | 5. 関心がない | |

問 15 で「1. 関心がある」、「2. ある程度関心がある」と回答した方に

問 15-1 関心がある福祉はどのような分野ですか。(○はいくつでも)

- | | |
|------------------------|------------------|
| 1. 子どもに関する福祉 | 8. 身体障がい者に関する福祉 |
| 2. ひとり親家庭に関する福祉 | 9. 知的障がい者に関する福祉 |
| 3. 高齢者に関する福祉 | 10. 精神障がい者に関する福祉 |
| 4. 認知症の人に関する福祉 | 11. 生活困窮者に関する福祉 |
| 5. 病气療養中の人に関する福祉 | 12. その他 |
| 6. 寝たきりの人に関する福祉 | () |
| 7. 閉じこもりや引きこもりの人に関する福祉 | |



再び、全ての方に

問 16 次のようなことを心がけていますか。(○はいくつでも)

1. 優先駐車場には、車を止めないようにしている
2. 点字ブロックの上で立ち止まらない、自転車や荷物などを置かないようにしている
3. 公共交通機関などで席を譲るようにしている
4. 子どもなどがぐずっているとき、迷惑そうなそぶりをしないよう心がけている
5. 困っていると思われる高齢者、障がい者、子ども連れの方などに声をかけるようにしている
6. 車椅子や杖を持った人、ベビーカー等の方の手助けをするようにしている
7. 福祉について報道されているテレビやラジオなど報道を意識して見聞きしている
8. 手話を習ったり、認知症サポーターになるなど人を助けるための行動をしている
9. その他 ()
10. 特にない

ボランティア活動について

問 17 ボランティア活動や助け合い活動を行ったことがありますか。(○は1つ)

- | | | |
|----------------|--------------|---------------|
| 1. 現在活動している | 3. 活動したことがない | -----▶ 問 18 へ |
| 2. 以前活動したことがある | | |

問 17 で「1. 現在活動している」、「2. 以前活動したことがある」と回答した方に

問 17-1 現在取り組んでいる、または取り組んだことがあるボランティア活動や助け合い活動の具体的な内容は次のどれですか。(○はいくつでも)

- | | |
|-----------------------|------------------------|
| 1. 福祉施設での活動・慰問など | 11. 各種福祉事業のスタッフ協力 |
| 2. 地域での見守り活動（相談や安否確認） | 12. スポーツやレクリエーション活動の支援 |
| 3. 教育・学習の支援 | 13. 文化・芸術活動支援 |
| 4. 障がい者への支援 | 14. 地域振興活動支援 |
| 5. 子ども会活動の支援 | 15. 子育て支援 |
| 6. 国際・異年齢交流 | 16. 資金援助（募金活動、寄附も含む） |
| 7. 災害時の支援 | 17. 環境美化活動・エコ活動 |
| 8. 被災者への支援 | 18. その他 |
| 9. 交通安全活動 | () |
| 10. 防火・防犯活動 | |

再び、全ての方に

問 18 ボランティア活動に、今後、参加の意向がありますか。(○は1つ)

- | | |
|---------------------------------|--------|
| 1. 何らかの活動に参加したい(あるいは今後も活動を続けたい) | 問 19 へ |
| 2. 関心はあるが、参加する機会がない | |
| 3. 参加するつもりはない | |

▶ 問 18 で「1. 何らかの活動に参加したい」、「2. 関心はあるが、参加する機会がない」と回答した方に
問 18-1 取り組んでみたいボランティア活動や助け合い活動の具体的な内容は次のどれですか。
(○はいくつでも)

- | | |
|-----------------------|------------------------|
| 1. 福祉施設での活動・慰問など | 11. 各種福祉事業のスタッフ協力 |
| 2. 地域での見守り活動(相談や安否確認) | 12. スポーツやレクリエーション活動の支援 |
| 3. 教育・学習の支援 | 13. 文化・芸術活動支援 |
| 4. 障がい者への支援 | 14. 地域振興活動支援 |
| 5. 子ども会活動の支援 | 15. 子育て支援 |
| 6. 国際・異年齢交流 | 16. 資金援助(募金活動、寄附も含む) |
| 7. 災害時の支援 | 17. 環境美化活動・エコ活動 |
| 8. 被災者への支援 | 18. その他 |
| 9. 交通安全活動 | () |
| 10. 防火・防犯活動 | |

再び、全ての方に

問 19 どのような支援があると、ボランティア活動が行いやすいと思いますか。(○はいくつでも)

- | | |
|---------------------------|---|
| 1. ボランティア活動に関する情報提供 |) |
| 2. ボランティア活動先の紹介(マッチング) | |
| 3. ボランティア活動に関する研修会の機会 | |
| 4. ボランティア活動者同士の交流の場 | |
| 5. ボランティア活動に対する職場の理解 | |
| 6. ボランティア休暇等、職場からの支援 | |
| 7. ボランティアに関する活動費の補助(交通費等) | |
| 8. ボランティア活動に対する証明書などの発行 | |
| 9. ボランティア活動に対する相談対応 | |
| 10. その他() | |
| 11. 特にない | |

社会福祉協議会について

問 20 名取市社会福祉協議会*について知っていますか。(○は1つ)

1. 活動内容も含めて知っている
2. 名前は知っているが、活動内容はわからない
3. 知らない

用語の説明

社会福祉協議会	<ul style="list-style-type: none"> ・「社会福祉法」に基づき設置された社会福祉法人で民間の社会福祉活動を推進することを目的とした営利を目的としない民間組織です。 ・市民の皆さんの協力や民生委員・児童委員、社会福祉関係者など関係団体・機関との連携のもと、各種福祉サービスや相談活動、ボランティア活動の支援、共同募金運動への協力など、さまざまな場面で地域の福祉増進に取り組んでいます。
----------------	---

社会福祉協議会の主な活動内容

相談支援

- ・ 困りごとの総合相談
- ・ 障がい者の相談支援
- ・ 生活困窮者への支援 等

在宅福祉活動

- ・ 在宅生活者への生活支援サービス
- ・ 介護サービスの提供（ホームヘルプなど）
- ・ 障がい者の就労支援 等

地域福祉活動の支援

- ・ 小地域ごとの活動支援
- ・ ボランティア活動の促進
- ・ 地区福祉委員会助成事業
- ・ 地域の見守り活動のサポート 等

その他の福祉活動

- ・ 広報紙の発行や啓発活動
- ・ 障がい者の社会参加の促進
- ・ 権利擁護活動
- ・ 学校や地域での出前講座の開催 等



問21 社会福祉協議会では前ページのような活動を主に行っていますが、今後どのような分野での役割を期待しますか。(○は3つまで)

1. 地域福祉活動や住民参加を支援すること
2. ボランティアの育成に関すること
3. 福祉教育や福祉活動に関すること
4. 福祉に関する情報の発信
5. 高齢者の介護や見守りなどに関すること
6. 障がい者の支援に関すること
7. 子どもの育成に関すること
8. 生活困窮者の支援に関すること
9. あらゆる相談に応じること
10. 各種団体やサークル活動等との育成や連携を図ること
11. 権利擁護に関すること
12. 災害時のボランティア受入調整に関すること
13. その他 ()
14. 特にない

民生委員・児童委員や各種制度について

問22 民生委員・児童委員*の存在や活動内容について知っていますか。(○は1つ)

1. 名称も活動内容も知っている
2. 名称は知っているが、活動内容はよく知らない
3. 名称も活動内容も全く知らない

用語の説明

民生委員・児童委員	<p>民生委員・児童委員は地域住民の中から選ばれ、厚生労働大臣の委嘱を受けて活動します。給与は支給されません。</p> <p>常に住民の立場に立って相談に応じ、住民と行政や専門機関をつなぎ、問題解決をサポートします。</p> <p>名取市内では129名が活動しています。</p>
------------------	---

問23 あなたの住んでいる地域の民生委員・児童委員が誰か知っていますか。(○は1つ)

1. 誰か知っており、会ったことがある
2. 誰か知っているが、会ったことがない
3. 誰か知らない

問 24 日常生活自立支援事業*について知っていますか。(○は1つ)

1. 名称も内容も知っている
2. 名称は知っているが、内容はよく知らない
3. 名称も内容も全く知らない

用語の説明

日常生活自立支援事業	判断能力の不十分な方々を対象に、福祉サービス利用手続きに関する相談・援助、日常的な金銭管理等を行う制度です。 窓口業務等を名取市の社会福祉協議会で行っています。(愛称「まもりーぶ」)
-------------------	--

問 25 成年後見制度*について知っていますか。(○は1つ)

1. 名称も内容も知っている
2. 名称は知っているが、内容はよく知らない
3. 名称も内容も全く知らない

用語の説明

成年後見制度	認知症、知的障がい、精神障がい、発達障がい等によって物事を判断する能力が十分でない方について、「成年後見人」等を選ぶことで、法律的に支援する制度です。
---------------	---

問 26 生活困窮者自立支援法*について知っていますか。(○は1つ)

1. 名称も内容も知っている
2. 名称は知っているが、内容はよく知らない
3. 名称も内容も全く知らない

用語の説明

生活困窮者自立支援法	生活保護に至る前の段階の方が、自立した生活を送れるよう支援するための法律です。 名取市役所では、生活困窮者自立相談支援員が、就労や住まいなど自立に向けた相談を受け付けています。
-------------------	---

問 29 福祉サービスに関する情報をどこから入手していますか（○は5つまで）

1. 家族、親戚	10. 福祉関係団体
2. 友人、知人	11. 医療機関や福祉サービス事業所
3. 隣近所	12. 保育所、幼稚園、学校等
4. 市役所（窓口、広報、ホームページ等）	13. 所属している団体やサークル等
5. 社会福祉協議会 （窓口、広報、ホームページ等）	14. ボランティア・NPO
6. 行政区長や町内会・自治会等 （回覧板・掲示板含む）	15. 新聞・雑誌・テレビ・ラジオ
7. 民生委員・児童委員	16. インターネットや SNS
8. 地域包括支援センターや 障がい者相談支援事業所	17. その他 （ ）
9. ケアマネジャーやホームヘルパー等	18. 福祉（サービス）に関する情報が 入ってこない

今後の福祉行政のあり方について

問30 現在、行政が行っている福祉サービスの水準について、あなたのお考えに近いものを選んでください。（○は1つ）

1. 充実している	→問 31 へ	3. 充実していない部分がある 4. 充実していない
2. ある程度充実している	→問 31 へ	
5. わからない	→問 31 へ	

問 30 で「3. 充実していない部分がある」、「4. 充実していない」と回答した方に

問 30-1 どの分野の福祉サービスが充実していないとお考えですか。（○はいくつでも）

1. 子どもに関する福祉	8. 身体障がい者に関する福祉
2. ひとり親家庭に関する福祉	9. 知的障がい者に関する福祉
3. 高齢者に関する福祉	10. 精神障がい者に関する福祉
4. 認知症の人に関する福祉	11. 生活困窮者に関する福祉
5. 病気療養中の人に関する福祉	12. その他 （ ）
6. 寝たきりの人に関する福祉	
7. 閉じこもりや引きこもりの人に関する福祉	

再び、全ての方に

問31 困ったときに助けあえるまちとは、どのようなまちだと思いますか。(○は3つまで)

1. 困ったときにどんな問題でも相談できるところがある
2. 困ったときの相談先や有償無償サービスなどの情報提供が充実している
3. 隣近所の交流や助け合いが活発である
4. 町内会・自治会を中心に地域福祉活動が活発である
5. 地域ごとにいろいろなボランティア活動が活発に行われている
6. 困っている人を（有料で）助ける事業（NPO など）がある
7. ボランティア育成制度など、相互に助け合う制度がある
8. 熱心な地域リーダーがいて、福祉活動をリードしている
9. ボランティアグループ・団体や地域団体などの連絡・連携が図られている
10. 福祉活動の相談、調整・交流を担当する専門職員が充実している
11. ボランティア活動への支援が充実している
12. 学校教育や社会教育で福祉教育が充実している
13. その他（)
14. わからない

問32 地域での福祉活動を推進していくうえで、住民と行政との関係はどうあるべきだとお考えですか。(○は1つ)

1. 福祉サービスの充実のために、住民も行政も協力し合い、ともに取り組むべきである
2. 家庭や地域をはじめ住民同士で助け合い、手の届かない部分は行政が援助すべきである
3. 行政が担当すべきだが、手の届かない部分は住民が協力すべきである
4. 福祉サービスは行政が担当すべきで、住民はあまり協力することはない
5. わからない



団体調査票

団体用

名取市地域福祉に関するアンケート調査

～ご協力をお願い～

日ごろから市政に対しご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

現在、地域福祉の推進のため、名取市は「名取市地域福祉計画」を、名取市社会福祉協議会は「地域福祉活動計画」の策定を進めています。

これらの計画は、誰もが住みなれた地域で福祉サービスなどを利用しながら健康で明るく生きがいのある生活ができるよう、また、市民の皆さまの主体的な活動による福祉のまちづくりを目指すためのものです。

このアンケート調査は、市内で活動している団体を対象に、活動状況や他団体との連携等についてご意見をお聞きし、計画策定の基礎資料とするものです。

ご回答いただいた内容は、統計的に処理します。個別の内容を公表したりするなど、ご迷惑をおかけすることは一切ございませんので、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

なお、後日改めて、ヒアリング調査をお願いする場合がございますので、併せてご協力をお願い申し上げます。

平成30年10月

名取市長 山田 司郎



《ご記入にあたってのお願い》

- 1 記入は団体の代表の方をお願いします。代表の方が記入できない場合は、事務局、関係者の方をお願いいたします。
- 2 回答内容については、団体メンバーの総意（決定事項）でなくても結構です。団体の方針を踏まえた記入者（代表者など）のご意見等でも構いません。
- 3 回答は、あてはまる番号を○で囲んでください。設問ごとに「○は1つ」「○はいくつでも」など、それぞれ指定されていますので、ご注意ください。
- 4 ご記入いただいた調査票は、同封の返信用封筒にて、10月31日（水）までにご返送ください。



計画づくりに
貴団体の声を！

《問い合わせ先》

名取市 健康福祉部 社会福祉課 庶務係
電話 022-724-7106

貴団体について

貴団体について、それぞれの項目ごとにあてはまる内容をご記入、ご回答ください。

(1) 団体名																
(2) 代表者／責任者	役職：	氏名：														
(3) 記入者	役職：	氏名：														
(4) 電話番号	()															
(5) FAX 番号	()															
(6) メールアドレス	@															
(7) 団体の種別 (○は1つ)	<table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%;">1. 行政区長会</td> <td style="width: 50%;">6. 地域おこし団体</td> </tr> <tr> <td>2. 民生委員児童委員協議会</td> <td>7. 高齢者団体</td> </tr> <tr> <td>3. 地区福祉委員会</td> <td>8. ボランティア団体</td> </tr> <tr> <td>4. 障がい者関係団体</td> <td>9. その他</td> </tr> <tr> <td>5. 子ども関係団体</td> <td style="text-align: right;">()</td> </tr> </table>		1. 行政区長会	6. 地域おこし団体	2. 民生委員児童委員協議会	7. 高齢者団体	3. 地区福祉委員会	8. ボランティア団体	4. 障がい者関係団体	9. その他	5. 子ども関係団体	()				
1. 行政区長会	6. 地域おこし団体															
2. 民生委員児童委員協議会	7. 高齢者団体															
3. 地区福祉委員会	8. ボランティア団体															
4. 障がい者関係団体	9. その他															
5. 子ども関係団体	()															
(8) 会員数	名															
(9) 活動年数	年															
(10) 主な活動エリア (○はいくつでも)	<table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%;">1. 名取市内全域を対象</td> <td style="width: 50%;">8. 愛島地区</td> </tr> <tr> <td>2. 増田地区</td> <td>9. 高館地区</td> </tr> <tr> <td>3. 増田西地区</td> <td>10. ゆりが丘・みどり台地区</td> </tr> <tr> <td>4. 名取が丘地区</td> <td>11. 相互台地区</td> </tr> <tr> <td>5. 閑上地区</td> <td>12. 那智が丘地区</td> </tr> <tr> <td>6. 下増田地区</td> <td>13. 名取市外</td> </tr> <tr> <td>7. 館腰地区</td> <td style="text-align: right;">()</td> </tr> </table>		1. 名取市内全域を対象	8. 愛島地区	2. 増田地区	9. 高館地区	3. 増田西地区	10. ゆりが丘・みどり台地区	4. 名取が丘地区	11. 相互台地区	5. 閑上地区	12. 那智が丘地区	6. 下増田地区	13. 名取市外	7. 館腰地区	()
1. 名取市内全域を対象	8. 愛島地区															
2. 増田地区	9. 高館地区															
3. 増田西地区	10. ゆりが丘・みどり台地区															
4. 名取が丘地区	11. 相互台地区															
5. 閑上地区	12. 那智が丘地区															
6. 下増田地区	13. 名取市外															
7. 館腰地区	()															

※団体名及び代表者名／責任者名、記入者名を公表することはありません。

再び、全ての方に

問8 地域の福祉活動を活性化するために、貴団体が協力できることはどんなことですか。

(○はいくつでも)

- | |
|-------------------------|
| 1. 新しいニーズの把握 |
| 2. 専門知識を持った人材の派遣 |
| 3. 地域福祉活動への積極的な参加 |
| 4. 団体の活動としての福祉活動サービスの提供 |
| 5. 住民への地域福祉意識の啓発 |
| 6. その他 () |
| 7. 特にない |

問9 地域福祉に関して、地域としての役割や地域の人が協力して取り組むことについて、貴団体は特にどのようなことが必要だと思いますか。(○は5つまで)

- | | |
|----------------|----------------|
| 1. 災害や防災対策 | 9. 教育や子育ての支援 |
| 2. 生きがいづくり | 10. 高齢者への支援 |
| 3. 日常生活の協力支援 | 11. 障がい者への支援 |
| 4. 見守り活動等の相互援助 | 12. 青少年の健全育成支援 |
| 5. 世代間の交流 | 13. 生活困窮者への支援 |
| 6. 自然保護や地域美化活動 | 14. その他 () |
| 7. 安全や治安への取り組み | 15. 特にない |
| 8. 健康づくりへの支援 | 16. わからない |

問10 ボランティア活動の輪を広げるために、貴団体は今後どのようなことが特に重要だと考えますか。(○はいくつでも)

- | |
|--------------------------|
| 1. 活動の内容を知らせる広報を充実する |
| 2. 地域での活動を調整する人材を育成する |
| 3. 地域での学習・研修の機会や内容の充実を図る |
| 4. 資金面の援助を充実する |
| 5. 学校などでの福祉教育を充実する |
| 6. 地域の福祉の実態を市民に伝える |
| 7. その他 () |
| 8. わからない |

他の関係機関等との連携について

問11 貴団体が活動を行う上で、連携している地域の他の団体・機関を教えてください。

(○はいくつでも)

1. 市役所	12. NPO やボランティアグループ
2. 社会福祉協議会	13. 老人クラブ
3. 行政区長	14. 商店街
4. 自治会・町内会	15. 介護福祉施設・障がい福祉施設
5. 子ども会	16. 医療機関
6. 当事者団体	17. 警察・消防
7. 民生委員・児童委員	18. 弁護士・司法書士
8. 保育所・認定こども園・幼稚園	19. 企業
9. 小学校・中学校	20. 商工会
10. 高校・専門学校・大学	21. その他 ()
11. PTA	22. 特にない

問12 貴団体ではコミュニティソーシャルワーカー*について知っていますか。(○は1つ)

1. 名称も活動内容も知っている
2. 名称は知っているが、活動内容はよく知らない
3. 名称も活動内容も全く知らない

用語の説明

コミュニティソーシャルワーカー	<p>日常的に地域の状況を把握し、住民の活動の支援や様々な機関・団体のネットワークづくりを通して、地域の福祉課題の解決を進める人のことです。</p> <p>名取市では、現在配置されておられません。</p>
-----------------	--

問13 貴団体ではコミュニティソーシャルワーカーとの関わりを必要と感じますか。(○は1つ)

1. 必要と感じる	-----▶ 問13-1へ
2. 必要と感じない	-----▶ 問14へ
3. わからない	

問13で「1. 必要と感じる」と回答した方に

問13-1 貴団体ではコミュニティソーシャルワーカーとどのような連携の仕方を望みますか。

(○はいくつでも)

1. 会議などでアドバイスをしてくれる
2. 社会福祉協議会などにおいていつでも相談に乗ってくれる
3. 地域に出向いて相談に乗ってくれる
4. 個別具体の事業や活動に対して支援や協力をしてくれる
5. 研修会などの講師の役割をしてくれる
6. コーディネーターとして、各種調整をしてくれる
7. その他()
8. わからない

今後の福祉行政のあり方について

再び、全ての方に

問14 現在、行政が行っている福祉サービスの水準について、貴団体のお考えに近いものを選んでください。(○は1つ)

- | | | |
|---------------|-------|-----------------|
| 1. 充実している | →問15へ | 3. 充実していない部分がある |
| 2. ある程度充実している | →問15へ | 4. 充実していない |
| | | 5. わからない →問15へ |

問14で「3. 充実していない部分がある」、「4. 充実していない」と回答した方に

問14-1 どの分野の福祉サービスが充実していないとお考えですか。(○はいくつでも)

- | | |
|------------------------|------------------|
| 1. 子どもに関する福祉 | 8. 身体障がい者に関する福祉 |
| 2. ひとり親家庭に関する福祉 | 9. 知的障がい者に関する福祉 |
| 3. 高齢者に関する福祉 | 10. 精神障がい者に関する福祉 |
| 4. 認知症の人に関する福祉 | 11. 生活困窮者に関する福祉 |
| 5. 病気療養中の人に関する福祉 | 12. その他 |
| 6. 寝たきりの人に関する福祉 | () |
| 7. 閉じこもりや引きこもりの人に関する福祉 | |

再び、全ての方に

問15 困ったときに助けあえるまちとは、どのようなまちだと思いますか。(○は3つまで)

1. 困ったときにどんな問題でも相談できるところがある
2. 困ったときの相談先や有償無償サービスなどの情報提供が充実している
3. 隣近所の交流や助け合いが活発である
4. 町内会・自治会を中心に地域福祉活動が活発である
5. 地域ごとにいろいろなボランティア活動が活発に行われている
6. 困っている人を（有料で）助ける事業（NPO など）がある
7. ボランティア育成制度など、相互に助け合う制度がある
8. 熱心な地域リーダーがいて、福祉活動をリードしている
9. ボランティアグループ・団体や地域団体などの連絡・連携が図られている
10. 福祉活動の相談、調整・交流を担当する専門職員が充実している
11. ボランティア活動への支援が充実している
12. 学校教育や社会教育で福祉教育が充実している
13. その他（)
14. わからない

問16 地域での福祉活動を推進していくうえで、住民と行政との関係はどうあるべきだとお考えですか。(○は1つ)

1. 福祉サービスの充実のために、住民も行政も協力し合い、ともに取り組むべきである
2. 家庭や地域をはじめ住民同士で助け合い、手の届かない部分は行政が援助すべきである
3. 行政が担当すべきだが、手の届かない部分は住民が協力すべきである
4. 福祉サービスは行政が担当すべきで、住民はあまり協力することはない
5. わからない

問17 地域における住民の福祉活動を推進していく上で、貴団体が行政に期待することを教えてください。(〇はいくつでも)

1. 学校などでの福祉教育の充実
2. 介護や障がいなどの福祉課題についての情報発信や勉強会の実施
3. 住民達が健康を維持するための方法の周知
4. 地域の人達が気軽に集まって交流することができる場所の拡充
5. 定年を迎えても地域で活躍できる場の提供
6. 在宅福祉を支えるサービスの充実
7. 道路の段差解消や手すり、ベビーベッド付きトイレなどのバリアフリーのまちづくり
8. 相互の助け合いを念頭に置いた、市民一人ひとりの意識を改革していくための啓蒙
9. ボランティア団体などの活動資金獲得のためのノウハウ支援(クラウドファンディング等)
10. 困った時に、いつでも・誰でも相談できる柔軟な相談窓口の設置
11. 権利擁護など個人の自立を支援するサービスの充実
12. 福祉に携わる専門知識を持った人材の育成
13. その他 ()
14. 特にない

最後に

問18 地域福祉や福祉全般についてご希望やご意見等がありましたら、自由にお書きください。

お忙しいところ調査にご協力いただき、誠にありがとうございました。

名取市
地域福祉に関するアンケート調査
報告書

平成 31 年 1 月

調査主体：名取市 健康福祉部 健康福祉課

〒981-1292 宮城県名取市増田字柳田 80 番地

TEL 022-724-7106 / FAX 022-384-2101

集計機関：株式会社サーベイリサーチセンター東北事務所

〒980-0811 宮城県仙台市青葉区一番町 2 丁目 4-1

TEL 022-225-3871 / FAX 022-225-3866